

# 数量公開図書

工事名称 北郊団地個別改善工事(その2)

工事場所 帯広市西14条南1丁目1番地1

設計年月 令和6年5月

## ※注意事項

本設計書は参考数量として取り扱い、数量の相違については、各々の判断で入札価格に反映させてください。

## 設計説明書

1. 施工理由 本工事は、北郊団地個別改善工事(その2)を行うもの。
2. 工期 契約上の着工日から令和6年11月29日まで
3. 仕様書 別紙「特記仕様書」による。
4. 構造・規模  
2号棟 鉄筋コンクリート造 地上5階 塔屋1階  
延床面積 3,363.88㎡  
建築面積 706.52㎡  
集会室棟 鉄筋コンクリート造 平屋建  
延床面積 79.92㎡  
建築面積 83.70㎡
5. 工事内容  
1, 住戸内手摺設置、段差解消 2号棟  
2, 住戸誘導支援システム 2号棟  
3, 共用部手摺設置、段差解消 集会室

### 計画概要

- (1) 施設名称 北郊団地(R-2号棟、集会室棟)
- (2) 履行場所 帯広市西14条南1丁目1番地1
- (3) 施設用途 市営住宅、集会所

---

- ( 工事価格 ) \_\_\_\_\_ )
- ( \_\_\_\_\_ )
- ( \_\_\_\_\_ )

















2号棟/住戸内					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設	住戸内 1LDK-A	1	式		
直接仮設	住戸内 1LDK-B	1	式		
直接仮設	住戸内 2LDK	1	式		
直接仮設	住戸内 3LDK	1	式		
計					
手摺設置	住戸内 1LDK-A	1	式		
手摺設置	住戸内 1LDK-B	1	式		
手摺設置	住戸内 2LDK	1	式		
手摺設置	住戸内 3LDK	1	式		
計					
段差解消	住戸内 1LDK-A	1	式		
段差解消	住戸内 1LDK-B	1	式		
段差解消	住戸内 2LDK	1	式		
段差解消	住戸内 3LDK	1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					























































# 北郊団地個別改善工事（その2）

---

## 特記仕様書

令和 6 年 5 月

帯広市都市環境部都市建築室住宅営繕課

● 共通事項特記仕様書

- I 工事概要及び範囲
- II 各工事

● 第1章 一般共通事項

○ 新営工事特記仕様書

- 第2章 仮設工事
- 第3章 土工事
- 第4章 地業工事
- 第5章 鉄筋工事
- 第6章 コンクリート工事
- 第7章 鉄骨工事
- 第8章 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事
- 第9章 防水工事
- 第10章 石工事
- 第11章 タイル工事
- 第12章 木工事
- 第13章 屋根工事及びとい工事
- 第14章 金属工事
- 第15章 左官工事
- 第16章 建具工事
- 第17章 カーテンウォール
- 第18章 塗装工事
- 第19章 内装工事
- 第20章 ユニット及びその他工事
- 第21章 その他

● 改修工事特記仕様書

- 第2章 仮設工事
- 第3章 防水改修工事
- 第4章 外壁改修工事
- 第5章 建具改修工事
- 第6章 内装改修工事
- 第7章 塗装改修工事
- 第8章 耐震改修工事
- 第9章 環境配慮改修工事
- 第10章 屋根工事
- 第11章 その他

○ 建具工事特記仕様書

- 第2章 建具工事

● 共通事項特記仕様書

- I 工事概要及び範囲
- II 各工事

● 第1章 一般共通事項

● 電気設備工事特記仕様書

- 工事概要
- 電気設備共通事項
- 電力設備工事
- 発電設備工事
- 通信・情報設備工事
- 映像・音響設備工事
- 構内配電線路設備・構内通信線路設備
- 環境配慮改修工事
- 機器取り付け高さ
- 太陽光発電設備工事特記仕様書 ( ○ 高圧連系用 ○ 低圧連系用 )
  - 太陽光発電設備共通事項
  - 工事概要

I | 工事概要及び範囲

1. 工事場所 帯広市西14条南1丁目1番地1  
 2. 工事範囲 ※ 下記●は、工事対象範囲を示す。

	名称	構造種別・階数	数量	単位	備考
●	北郊団地(R-2号棟)	RC造・5階建	3,363.88	m2	40戸
●	北郊団地(集会室)	RC造・平屋建	79.92	m2	
○					
○					

3. 建設工事に係る資材の再資源化に関する法律の対象の有無 ○ 有 ● 無  
 4. 指定部分工事  
 (1) 工事範囲  
 (2) 指定工期 契約上の着工日より 令和 年 月 日まで  
 5. 別途工事  
 6. 施工区分 (分離発注の場合のみ記入)  
 ※ 下記●は、工事対象範囲を示す。

項目	工種				備考
	建築	電気	暖房	衛生	
躯体の設備配管用のスリーブ、箱抜等及びバルク等の充填		○	○	○	補強は建築
上記の補強	○				
設備機器用天井、壁、床下地の開口及び開口補強	○				埋込電灯、スピーカー、ファン等
設備機器用天井、壁、床仕上材の切込		○	○	○	補強は建築
設備用天井、床点検口	○				
防火戸用煙感知器、自動閉鎖装置		○			
設備機器用基礎	○	○	○	○	
バルコニー・ルーフ等 排水金物	○			○	配管は衛生
流し台、ユニットバスの排水トラップ	○				接続は衛生
木製建具枠の取付け	○				建具枠のレールの欠込は建築
換気扇等取付枠	○	○	○	○	
同上 防雪フード	○		○		
外壁面入排気ガラリ及び防風板	○		○		
水道検針盤		○	○	○	
灯油集中盤への配線接続		○	○	○	

## Ⅱ 各 工 事

1. 図面(閲覧用設計書を含む)及び、この特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書 令和4年版(各工事編)」(以下「標準仕様書」という。)、 「公共建築改修工事標準仕様書 令和4年版(各工事編)」(以下、改修標準仕様書」という。)、 「建築物解体工事共通仕様書 令和4年版」(以下「解体共通仕様書」という。 )及び「北海道建設部土木工事共通仕様書(令和4年10月版)」による。
2. 特記事項の適用については次による。
  - (1) 章は○印を、項目は ▷ 印を塗りつぶしたものを適用する。
  - (2) 特記事項は○印を塗りつぶしたものを適用し、塗りつぶしのない場合は \* 印をつけたものを適用する。
  - (3) 特記事項で○印を塗りつぶしたものと、 ⊙ 印のつけたものがある場合は、共に適用する。
  - (4) 特記事項に記載の ( ) 内表示番号は、標準仕様書の該当項目、該当図又は該当表を示す。
3. この特記仕様書に施工部位の記載のないものは図面によるものとする。
4. 本工事における工事監理業務委託の有無 ○ 有 \* 無
5. 石綿含有建材の事前調査  
あらかじめ関係法令に基づき、次により、石綿含有建材の事前調査を行う。
  - (1) 調査範囲に係る既存の設計図書の貸与をする。
  - (2) 調査は、既存の設計図書、石綿含有建材の調査報告書等の書面調査及び現地での目視調査により確認し、調査結果を取りまとめ、監督員に提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置く。また、関係法令等に基づき、官公署へ報告を行う。  
なお、分析調査を行う場合は「建材中の石綿含有率の分析方法について」(平成18年8月21日付け基発第0821002号、最終改正 令和3年12月22日付け基発1222第17号)に基づき、定性分析又は定量分析を行うこととする。
  - (3) 調査結果を監督員に報告する。
6. 関係法令等
  - (1) 受注者は、工事の施工に当たり、周辺環境の保全に努めるとともに適用を受ける関係法令等を遵守し、必要に応じて次の関係法令等に従い手続き等を行い、適切に施工すること。
    - ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下「廃棄物処理法」という。)
    - ・ 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(以下「建設リサイクル法」という。)
    - ・ 資源の有効な利用の促進に関する法律(以下「資源有効利用促進法」という。)
    - ・ ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法(以下「PCB特別措置法」という。)
    - ・ 特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律(以下「フロン回収破壊法」という。)
    - ・ ダイオキシン類対策特別措置法
    - ・ 労働安全衛生法
    - ・ 大気汚染防止法
    - ・ 騒音規制法
    - ・ 振動規制法
    - ・ 水質汚濁防止法
    - ・ 石綿障害予防規則
    - ・ 特定化学物質障害予防規則
    - ・ 建築基準法
    - ・ 環境基本法
    - ・ 土壌汚染対策法
    - ・ 建設副産物適正処理推進要綱
  - (2) 受注者は、「建設工事公衆災害防止対策要綱 建築工事等編」及び「建築物の解体工事における外壁の崩落等による公衆災害防止対策に関するガイドライン」を遵守し、災害防止に努めること。



7. 工事に係る留意事項及び施工条件は、次のとおりとする。

- ① 工事工程表の作成については、工事担当員及び施設管理者と十分打合せを行う事。
- ② 資材等の搬入搬出は利用状況を確認し、さらに近隣の住民の安全を確認する事。
- ③ 資材置き場として、共用ホール及びコモンスペースの一部を確保しているが、使用する際には監督員と協議すること。また、カラーコーン等で養生すること。  
仮設便所等を敷地内に設置するときは、その位置について監督員と協議すること。
- ④ 工事用車両は原則敷地内に駐車せず、近隣に適宜確保すること。
- ⑤ 工事日は入居者と調整の上、工事前に余裕をもって通知する事。
- ⑥ 工事期間中は、各住戸に住民が居住している為、安全を最優先で施工を行う事。
- ⑦ 集会室外壁の吹付タイル及び下地調整材について、アスベスト含有建材とみなす（建築年代より判断）。これに係る作業にあつては、法令遵守及び本特記仕様書第9章に準拠して適切に措置すること。
- ⑧ 住戸内の工事は作業場所及び通行する場所について原則適切に養生すること。
- ⑨ 住民の家具等を移動する場合は必ず住民の了承を得てから移動すること。

● 第 1 章 一般共通事項

項 目	特 記 事 項														
<p>▶ 1. 地元材等の優先使用</p> <p>▶ 2. 環境への配慮</p>	<p>本工事に使用する主要資材は、地元資材及び道産資材、北海道認定リサイクル製品を使用するよう努めること。（木材及び木材製品は除く。）</p> <p>受注者は本工事において、次の(1)から(4)を遵守すること。</p> <p>(1) 化学物質を放散させる建築材料等（※1）          本工事に使用する建築材料等は、測定対象化学物質を含有していないものを基本とし、安全データシート（SDS）や成分組成表により確認を行うほか、次のア. からウ. を満たすものとする。</p> <p>ア. ホルムアルデヒド放散建築材料に指定されている材料は、JIS又はJASに定められたF☆☆☆☆を使用する。ただし、F☆☆☆の材料がない場合は監督員と協議すること。</p> <p>イ. 接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用している環境対応型（配慮型）のものとする。</p> <p>ウ. 家具、建具類及び二次製品は、測定対象化学物質を含有しないか含有が極めて少ないものとする。</p> <p>※1 化学物質を放散する建築材料等          合板／木質系フローリング／構造用パネル／集成材／単板積層材／MDF／パーティクルボード／その他の木質建材／ユリア樹脂板／壁紙／保温材／緩衝材／断熱材／接着剤／塗料／仕上材料／表面処理用木材保存（防腐・防蟻）剤</p> <p>(2) 環境物品等の調達          本工事の資材等に係る環境物品等の調達は、北海道グリーン購入基本方針に基づく現行の環境物品等調達方針により行うよう努める。          上記における同調達方針として、資材（材料及び機材を含む）のこん包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮したものを優先的に選択・使用するよう努めること。</p> <p>(3) 工事中の留意事項</p> <p>ア. 換気の励行          工事期間中は、室内や足場内等の通風、換気を十分に行い、室内に放散された化学物質を室外に放出させること。</p> <p>イ. 施設利用者にシックハウスを発症した場合の措置          工事期間中に当該施設利用者がシックハウス症候群となった場合は、監督員に速やかに報告するとともに、監督員、施設管理者と連携を図りながら原因究明に努めること。          また、施設管理者へ建築材料等の情報提供やVOC測定を行うなど監督員と協議の上、必要な措置を行うこと。</p> <p>(4) 室内空気中の化学物質の濃度測定          室内空気中の化学物質の濃度を測定し、厚生労働省の指針値以下であることを確認の上、報告すること。</p> <p>【測定対象化学物質の種類及び指針値】</p> <table border="1" data-bbox="574 1780 1396 2024"> <thead> <tr> <th>測定対象化学物質</th> <th>厚生労働省の指針値（25℃の場合）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>* ホルムアルデヒド</td> <td>0.08ppm（100μg/m<sup>3</sup>）</td> </tr> <tr> <td>* トルエン</td> <td>0.07ppm（260μg/m<sup>3</sup>）</td> </tr> <tr> <td>* キシレン</td> <td>0.05ppm（200μg/m<sup>3</sup>）</td> </tr> <tr> <td>* エチルベンゼン</td> <td>0.88ppm（3,800μg/m<sup>3</sup>）</td> </tr> <tr> <td>* スチレン</td> <td>0.05ppm（220μg/m<sup>3</sup>）</td> </tr> <tr> <td>○ パラジクロロベンゼン(学校施設)</td> <td>0.04ppm（240μg/m<sup>3</sup>）</td> </tr> </tbody> </table>	測定対象化学物質	厚生労働省の指針値（25℃の場合）	* ホルムアルデヒド	0.08ppm（100μg/m <sup>3</sup> ）	* トルエン	0.07ppm（260μg/m <sup>3</sup> ）	* キシレン	0.05ppm（200μg/m <sup>3</sup> ）	* エチルベンゼン	0.88ppm（3,800μg/m <sup>3</sup> ）	* スチレン	0.05ppm（220μg/m <sup>3</sup> ）	○ パラジクロロベンゼン(学校施設)	0.04ppm（240μg/m <sup>3</sup> ）
測定対象化学物質	厚生労働省の指針値（25℃の場合）														
* ホルムアルデヒド	0.08ppm（100μg/m <sup>3</sup> ）														
* トルエン	0.07ppm（260μg/m <sup>3</sup> ）														
* キシレン	0.05ppm（200μg/m <sup>3</sup> ）														
* エチルベンゼン	0.88ppm（3,800μg/m <sup>3</sup> ）														
* スチレン	0.05ppm（220μg/m <sup>3</sup> ）														
○ パラジクロロベンゼン(学校施設)	0.04ppm（240μg/m <sup>3</sup> ）														

	<p>濃度測定 ○ 行う ● 行わない</p> <p>測定箇所 ( ) 箇所 ※測定する位置は、図示による。</p> <p>測定回数 * 1回 ○ 2回</p> <p>測定時期 ※ 測定を行う時期は、監督員の指示による。</p> <p>測定方式 拡散法（パッシブ方式）または厚生労働省が示す標準的な測定方法（アクティブ方式）により実施すること。</p> <p>分析方法 厚生労働省の示している分析方法による。 （測定時の平均室温が20度に満たない場合は、厚生労働省が示す温度、湿度による補正（ホルムアルデヒド）を行うこと。）</p>
▶ 3. 地域材の優先使用	<p>本工事に使用する木材または木材を原料とする資材を使用する場合は、地元（管内）木材を優先的に使用することとし、使用した材料の種類、産地等を監督員に報告すること。</p>
▶ 4. 合法木材の使用	<p>木材又は木材を原料とする資材を使用する場合は、間伐材や合法性の証明された材を使用すること。</p> <p>また、木材の合法性の証明は、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」（平成18年2月林野庁）に準拠し、資材納入業者から証明を受けるとともに、証明書類を工事完了年度から起算して5年間保存すること。</p>
▶ 5. 特別な材料の工法	<p>設計図書等に指定されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。</p>
▶ 6. 品質計画	<p>建築基準法に定められた区分等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 風 速 ( <math>V_0 = 30 \text{ m/s}</math> )</li> <li>・ 地表面粗度区分 ( ○ I ○ II ● III ○ IV )</li> <li>・ 垂直積雪量 ( 130 cm )</li> </ul>
▶ 7. 工事写真	<p>工程写真及び完成写真は、帯広市営繕工事写真撮影要領による。</p>
▶ 8. 技能士	<p>(1) 技能士の適用は次の職種とし、従事する技能士の氏名・職種及び資格を記載した書面により監督員に報告すること。</p> <p>ただし、作業の軽微なものは、監督員との協議により省略することができる。</p> <p>なお、施工計画書等の記載事項や添付資料（資格証明等）により、選定技能士の内容が確認できる場合も「技能者選定通知書」の提出を省略できる。</p> <p>&lt;職種&gt;</p> <p>型枠施工・鉄筋施工・防水施工・内装仕上げ施工・サッシ施工・ガラス施工・表装・塗装・建築板金・石材施工・建築大工・とび・左官・ブロック建築・タイル張り・エーエルシーパネル施工・カーテンウォール施工・造園・樹脂接着剤注入施工・コンクリート圧送施工・冷凍空気調和機器施工・配管・熱絶縁施工・枠組壁建築、厨房設備施工、自動ドア施工、バルコニー施工、ウェルポイント施工、建具製作、畳製作</p> <p>(2) 技能士は、職業能力開発促進法による1級、2級若しくは単一等級の資格を有し、地域技能士会の発行する資格証明書、又は技能検定合格書の写し、或いは技能士手帳の写しを上記（1）の書面に添付すること。</p> <p>(3) 技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業するとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。</p>

▶ 9. 施工中の安全確保及び環境保全等	<p>受注者は、標準仕様書に定められた安全確保及び環境保全等のほか、特に次の事項に留意し、工事現場の事故防止に努めること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 労働者の安全衛生教育の徹底すること。</li> <li>(2) 工事現場の安全パトロールの励行すること。</li> <li>(3) 建設機械器具などの危害防止処置を徹底すること。</li> <li>(4) 第三者に災害を及ぼしてはならない。</li> <li>(5) 公害防止に努めること。</li> <li>(6) 公道の汚染防止に努めること。</li> <li>(7) 善良な管理者の注意をもってしても、災害又は公害の発生の恐れがある場合の処置は、監督員と協議すること。</li> </ol>																											
▶ 10. 交通安全管理	<p>受注者は、工事の施工中の交通事故防止のため交通安全管理に努め、次の事項を遵守すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 工事施工中の安全管理（交通誘導員の配置日及び人数を含む）について、工事着手に先立ち作成する総合施工計画書で計画すること。        なお、計画は資材搬出入運行路線・点検体制・その他車両運行に係る安全対策等について道路管理者等関係機関と十分な事前協議を行い、以後も常に連絡を密にとりながら適切な処置を講じること。</li> <li>(2) 常に下請負人も含め工事施工中の交通安全管理状況の把握に努め、管理状況を適宜監督員に報告すること。</li> <li>(3) 工事に関連して交通事故が発生したときは速やかに監督員に連絡した後、書面により報告すること。</li> <li>(4) 運搬には、許可業者を選定するなどして、過積載又は過労運転等に伴う交通事故防止に努めること。</li> <li>(5) 建設機械（ブルドーザー、バックホ等）は、排出ガス対策型を使用し、かつ、低騒音・低振動型の車両を使用すること。</li> </ol>																											
▶ 11. 工事完成時の提出図書等	<p>工事が完成した時は、帯広市営繕工事現場管理要領により、書類を整理のうえ、イージーキャビネット（A4版）に収納し提出すること。完成図の製本は専門業者によるものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 完成図       <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="text-align: center;">* 作成する</td> <td style="text-align: center;">○ 作成しない</td> </tr> <tr> <td>・ 縮小版製本（A3二つ折り）</td> <td style="text-align: center;">● 2部</td> <td style="text-align: center;">○ 3部</td> </tr> <tr> <td>・ 100%製本</td> <td style="text-align: center;">1部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 別途工事分完成図について</td> <td style="text-align: center;">○ まとめる</td> <td style="text-align: center;">● まとめない</td> </tr> <tr> <td>・ 電子データ（完成図JWW・PDF）（完成写真PDF）</td> <td colspan="2">CD-R等による提出</td> </tr> <tr> <td>・ 設計原図の貸与</td> <td style="text-align: center;">* 有り</td> <td style="text-align: center;">○ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ CADデータの貸与</td> <td style="text-align: center;">* 有り</td> <td style="text-align: center;">○ 無し</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">※CADデータの貸与有りの場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">* 完成図のCADデータ及びPDFデータ</td> </tr> </table> </li> <li>(2) 保全に関する資料（提出部数 * 1部 ○ ___部）</li> <li>(3) 保守に関する指導案内書（機器取扱説明書）        各設備の機能が十分発揮しうよう、主要機器を含めた装置の取扱説明及び保守についての事項を記載したものとする。        指導案内書 A4判カラーを標準とする 2部（住宅営繕課1＋施設1）        同上データ CD-R等による 1式</li> <li>(4) その他、必要とする書類については、監督員の指示による。</li> </ol>		* 作成する	○ 作成しない	・ 縮小版製本（A3二つ折り）	● 2部	○ 3部	・ 100%製本	1部		・ 別途工事分完成図について	○ まとめる	● まとめない	・ 電子データ（完成図JWW・PDF）（完成写真PDF）	CD-R等による提出		・ 設計原図の貸与	* 有り	○ 無し	・ CADデータの貸与	* 有り	○ 無し	※CADデータの貸与有りの場合			* 完成図のCADデータ及びPDFデータ		
	* 作成する	○ 作成しない																										
・ 縮小版製本（A3二つ折り）	● 2部	○ 3部																										
・ 100%製本	1部																											
・ 別途工事分完成図について	○ まとめる	● まとめない																										
・ 電子データ（完成図JWW・PDF）（完成写真PDF）	CD-R等による提出																											
・ 設計原図の貸与	* 有り	○ 無し																										
・ CADデータの貸与	* 有り	○ 無し																										
※CADデータの貸与有りの場合																												
* 完成図のCADデータ及びPDFデータ																												
▶ 12. 高度技術・創意工夫	<p>受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する事項について工事完了時まで所定の様式により提出することができる。</p>																											
▶ 13. 電力基本料金	<p>本受電から引渡しまでの電力基本料金 * 本工事 ○ 別途</p>																											

▶ 14. 発生材の処理等

発生材の処理等は次により、「建設リサイクル法」、「資源有効利用促進法」、「廃棄物処理法」等の関係法令及び「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理すること。

処分を行った場合は、処分数量確定のため、その施設の許可書等（写し）、受入伝票又はマニフェスト伝票等（写し）を監督員に提出すること。

明示している処分場所については、受入可能な施設のうち、積算上運搬費等も含めて一番安価な処理施設としているが、処理施設場所を指定するものではない。

受注者の提示する処理施設と積算上の処理施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、異なる処理施設となった理由が受注者の責によるものでないと判断される場合は、設計変更の対象として扱う。

なお、下記の内容を変更する場合は、別途、監督員と協議をする。

- (1) 発生材のうち、引き渡しを要する範囲は次による。監督員の指示する方法及び位置に堆積、整理し所定の発生材報告書により監督員に報告すること。

引き渡しを要する範囲： \_\_\_\_\_

- (2) 受注者が処分する有価物の範囲は次による。

有価物の範囲： \_\_\_\_\_

なお、有価物は、次の登録又は許可業者で処分すること。

7. 廃棄物再生事業者登録（知事登録）

1. 金属くず商許可業者（警察許可）

また、処分を行った場合は、その施設の許可書（写し）と受入伝票又はマニフェスト伝票等、及び許可書等の写しを監督員に提出すること。

- (3) 特別管理型産業廃棄物

種 類	
処理方法	
処分場所	受入先：
	片道運搬距離 (      km)
種 類	
処理方法	
処分場所	受入先：
	片道運搬距離 (      km)

- (4) 再資源化を図るもの（特定建設資材廃棄物）

種 類	コンクリート塊
場 所	受入先：
	片道運搬距離 (      km)
種 類	アスファルト・コンクリート塊
場 所	受入先：
	片道運搬距離 (      km)
種 類	建設発生木材
場 所	受入先： (有)タナベ
	片道運搬距離 (    6.7 km)

※ 設計上、特定建設資材廃棄物は発生しない場合で、受注者の都合により実際に特定建設資材を発生させ、廃棄物として処分する場合は、当該特定建設資材廃棄物の再資源化等実施方法の確定後に、監督員の確認を受けること。

(5) 再資源化を図るもの（特定建設資材廃棄物以外）

種類	
処理区分	<input type="radio"/> 縮減 <input type="radio"/> 現場で使用
場所	受入先：
	片道運搬距離 ( ) km

(6) その他の発生材

種類	廃プラ
処理区分	<input checked="" type="radio"/> 中間処理 <input type="radio"/> 最終処分
処分場所	受入先： (株)岩佐
	片道運搬距離 ( 7.8 km)
種類	
処理区分	<input type="radio"/> 中間処理 <input type="radio"/> 最終処分
処分場所	受入先：
	片道運搬距離 ( ) km
種類	
処理区分	<input type="radio"/> 中間処理 <input type="radio"/> 最終処分
処分場所	受入先：
	片道運搬距離 ( ) km

(7) 建設廃棄物の収集・運搬は、産業廃棄物収集運搬業の許可を受けた者とする。

当該運搬車には、次に掲げる表示を行い、環境省令で定める書面を備え付けること。

産業廃棄物収集運搬車	
業者名	( ○ ○ ○ ○ ○ )
許可番号	× × × × ×

(8) 「建設リサイクル法」対象工事及び「資源有効利用促進法」で定められた次の資材の搬入、副産物の搬出がある工事は、工事着手時に再生資源利用・利用促進計画書を提出し、提出時にその内容を説明するとともに、書面又は映像（デジタルサイネージ）により工事現場の見やすい場所へ掲示し、可能な限りインターネットの利用により公表するよう努めなければならない。

また、工事完了時に再生資源利用・利用促進実施書を提出し、監督員から請求があった時は、当該実施状況を報告すること。

資源有効利用促進法で定められた一定規模以上の工事  
(次表の一つでも該当するもの)

・再生資源利用計画書

次のような建築資材を搬入する工事

土 砂	500 m <sup>3</sup> 以上
砕 石	500 t 以上
加熱アスファルト混合物	200 t 以上

・再生資源利用促進計画書

次のような指定副産物を搬出する建設工事

土 砂	500 m <sup>3</sup> 以上
コンクリート塊	合計
アスファルト・コンクリート塊	200 t 以上
建設発生木材	

▷ 15. 特殊な建築副産物

(1) 施工調査計画

特殊な建設副産物の施工調査は、次による。 (7.1.3)

なお、分析調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督員と協議する。

▷ 16. 特殊な建設副産物の回収及び処分

7. 使用状況について、設計図書及び目視により製造所名、製造年、型式、種類、数量等を調査する。

4. 分析調査

○ 行う                      ○ 行わない

特殊な建設副産物の回収及び処分は、次による。 (7.3.1)

(1) フロン

7. 冷媒

関係法令等に従い、登録を受けた回収業者。

処理区分	* 回収
場所	業者名等：
	住 所：
	片道運搬距離 ( km)

4. 建材用断熱材フロン

処理区分	* 焼却
場所	業者名等：
	住 所：
	片道運搬距離 ( km)

(2) ハロン

ハロン消火設備のハロン容器は、ハロン消火設備設置業者等に処理を委託。

処理区分	* 処理
場所	業者名等：
	住 所：
	片道運搬距離 ( km)

(3) イオン化式感知器

製造業者に処理を委託。

処理区分	* 処理
場所	業者名等：
	住 所：
	片道運搬距離 ( km)

(4) 六ふっ化硫黄ガス

製造業者に回収を委託。

種類	○ 絶縁開閉器      ○ 絶縁変圧器等の受変電機器
処理区分	* 処理
場所	業者名等：
	住 所：
	片道運搬距離 ( km)

(5) PFOS (ペルフルオロ (オクタン-1-スルホン酸))

種類	○ 泡消火剤      ○ その他 ( )
処理区分	○ 中間処理      ○ 最終処分
場所	業者名等：
	住 所：
	片道運搬距離 ( km)

(6) その他の特殊な建設副産物

種類	○
処理区分	○ 処理      ○ その他の処理方法 ( )
場所	業者名等：
	住 所：
	片道運搬距離 ( km)
	【                      】 (総合) 振興局管内
	住 所：
片道運搬距離 ( km)	

▶ 17. 北海道循環資源利用促進税	本工事で発生する産業廃棄物が、道内の最終処分場に直接搬入される場合、又は中間処理場に搬入される場合でも残さ等が発生し、最終処分場に搬出される場合は、循環税が課税されるので適正に処理すること。
▷ 18. 自主施工期間の施工条件	<p>自主施工期間中は、低温時施工により品質管理上支障の起こす恐れのない工種は、これを積極的に活用できる。</p> <p>ただし、支障の起こす恐れのある次の工種は、工法等を監督員と十分協議の上、施工するものとする。</p> <p>&lt;工種&gt; コンクリート・屋外防水・屋上防水・タイル・左官・塗装・緑化工事その他これに類する工事</p>
▶ 19. 季節労働者などの雇用	工事施工に際しては、職業安定機関と密接な連携を図り、季節労働者などの雇用の拡大に努める。
▶ 20. 下請負人等への支払いの適正化	下請負人及び資材業者に対する支払いは現金払いとし、やむを得ず手形払いとする時は、当該手形期間を短く(90日以内)するよう努める。
▶ 21. 火災保険等	<p>工事着手から完成引渡までの間を契約金額に相当する保険等に参加するものとし、取扱いは次による。</p> <p>(1) 付保する保険 工事の内容により、火災保険、建設工事保険、組立保険等の1以上の保険を付保する。 なお、受注者自ら上記の保険に追加して付する特約等については、これを妨げるものではない。</p> <p>(2) 保険金 原則として請負代金額とする。</p> <p>(3) 保険の期間 保険の加入期間は原則として工事着手日から完成引渡しまでの間とする。 工事着手日 ~ 実際の工事のための準備工事(現場事務所等の建設又は測量を開始すること)の初日をいう。 完成引渡し ~ 工期に14日追加した日とする。</p> <p>(4) 対象外工事 次に掲げる工事は、対象外工事として保険を付さない事ができる。 (ア) 解体、撤去、分解又は片づけ工事 (イ) 外構工事</p> <p>(5) 保険契約の変更 保険契約締結後に請負代金額の変更又は工期延長等があった場合は、相応の保険契約を変更しなければならない。</p> <p>(6) 保険証券等の提出 保険契約を締結(変更を含む)した場合は、当該保険証券等の写しを工事着手の前に、監督員へ提出しなければならない。</p> <p>(7) 協議 この取扱いにより難しい事項については、必要に応じて受注者は、発注者と協議するものとする。</p>
▶ 22. 法定外の労災保険の付保	<p>本工事の受注者は、下記に従い、法定外の労災保険に付さなければならない。</p> <p>(1) この特記仕様書における「法定外の労災保険」とは、従業員等が業務上の災害によって身体の障害(後遺障害、死亡を含む)を被った場合に、法定労災保険の給付に上乘せして雇用者が従業員等又はその遺族に支払う金額に対し、保険会社が雇用者に保険金を支払うことを定める契約を言う。</p>



	<p>(2) 受注者は、本工事の契約工期を包含する保険期間による「法定外の労災保険」（以下、「法定外労災保険」という。）を締結しなければならない。本工事に係る契約締結時において「法定外労災保険」の契約を締結していない場合は、工事着工の前に「法定外労災保険」を締結すること。</p> <p>(3) 受注者は「法定外労災保険」の保険証券の写し又は加入証明書の原本を工事着手の前に、監督員へ提出しなければならない。</p> <p>(4) 契約書第23条に基づき本工事の工期を変更したことにより、工期が「法定外労災保険」の保険適用外に及んだ場合、受注者は速やかに変更後の工期による保険期間の変更又は保険の追加契約を行い、変更又は追加して契約した「法定外労災保険」の保険証券の写し又は加入証明書の原本を監督員へ提出しなければならない。</p> <p>(5) 本工事で求める「法定外労災保険」については、保険契約に定める保険金額の多寡や特約の有無等の契約内容は問わず、保険契約の事実のみを求めるものとする。</p>
<p>▷ 23. 墜落制止用器具（フルハーネス型）の使用</p>	<p>労働安全衛生法令で定める、墜落制止用器具（フルハーネス型）の使用が原則とされる作業については、墜落制止用器具（フルハーネス型）を使用すること。</p>
<p>▶ 24. 現場環境改善</p>	<p>魅力ある建設工事を推進するため、工事現場の環境改善に努める。</p>
<p>▷ 25. 快適トイレの設置</p>	<p>本工事は、「快適トイレ設置工事」の対象工事である。</p> <p>(1) 受注者が当該工事の現場に仮設トイレを設置する場合は、建設現場を男女ともに働きやすい職場環境へと改善することを目的に、快適トイレの設置を検討すること。</p> <p>(2) 快適トイレとは、次のア.及びイ.の各項目を全て満たすものとする。ウ.については必須ではないが、装備していればより快適になると思われる項目なので、設置を検討すること。</p> <p>ア. 快適トイレに求める標準仕様</p> <p>(ア) 洋式（洋風）便器</p> <p>(イ) 水洗機能（簡易水洗、し尿処理装置付き含む）</p> <p>(ウ) 臭い逆流防止機能（フラッパー機能：必要に応じて消臭剤等活用し臭い対策をとること）</p> <p>(エ) 容易に開かない施錠機能（二重ロック等：二重ロックの備えがなくても容易に開かないことを製造者が説明出来るもの）</p> <p>(オ) 照明設備（電源がなくても良いもの）</p> <p>(カ) 衣類掛け等のフック付、又は荷物置き場設備機能（耐荷重5kg以上）</p> <p>イ. 快適トイレとして活用するために備える付属品</p> <p>(ア) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示</p> <p>(イ) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫</p> <p>(ウ) サニタリーボックス</p> <p>(エ) 鏡付きの洗面台</p> <p>(オ) 便座除菌シート等の衛生用品</p> <p>ウ. 推奨する仕様、付属品</p> <p>(ア) 便房内寸法900×900mm以上（半畳程度以上）</p> <p>(イ) 擬音装置</p> <p>(ウ) 着替え台</p> <p>(エ) フラッパー機能の多重化</p> <p>(オ) 窓など室内温度の調整が可能な設備</p> <p>(カ) 小物置き場等（トイレトペーパー予備置き場）</p>

	<p>(3) 快適トイレの設置にあたっては、次に留意する。</p> <p>7. 男女別で各1基ずつ設置することを原則とする。ただし、女性が現場にいない場合はこの限りではない。      なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ2基/現場まで、一体型で1基/現場までとする。</p> <p>1. 具体的な実施内容や設置時期については、工事着手前の施工計画書提出時に、(2)の項目を満たすことを確認できる資料（見積書を含む）を監督員に提出し、規格・設置基数等の詳細について、協議のうえ決定すること。</p> <p>ウ. 手配が困難な場合は、監督員と協議のうえ設置しないことができる。</p>
▶ 26. 建設業退職金共済制度	<p>工事現場には「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。</p>
▶ 27. 工事標識	<p>受注者は、着工後速やかに公衆の見やすい場所に工事標識を掲示する。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <p style="text-align: center;">工 事 名</p> <p style="text-align: center;">工 期 自 令 和 年 月 日 至 令 和 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">発 注 者 帯 広 市</p> <p style="text-align: center;">監 理 帯 広 市 都 市 環 境 部 都 市 建 築 室 住 宅 営 繕 課</p> <p style="text-align: center;">受 注 者</p> </div> <p style="text-align: center;">1,800</p>
▶ 28. 工事实績情報の登録	<p>注1 黒文字・丸ゴシック カラー鉄板（白）タルキ下地</p> <p>受注者は、受注時、変更時及び完了時に（10日以内）工事实績情報システム（CORINS）に基づき、「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けた後に、（財）日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない（ただし、請負代金額500万円以上2,500万円未満の工事については、受注時のみ登録するものとする。）。また、同センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督員に提出しなければならない。（対象工事：請負代金額500万円以上の全工事）</p>
▶ 29. 施工体制台帳の整備	<p>建設業法に基づく施工体制台帳を作成し、施工管理体制に関する事項を監督員に提出しなければならない。また、公衆の見やすい場所に施工体系図を掲示すること。</p>
▶ 30. 共同企業体編成表の提出	<p>本工事を共同企業体で受注した場合は、契約締結後5日以内に共同企業体編成表作成のうえ監督員に提出しなければならない。</p>
▶ 31. 完成施設事後調査実施	<p>帯広市工事請負契約に定める「契約不適合責任」期間内に、完成施設事後調査実施方針に基づき下記調査を行う。</p> <p>○ 一次調査      ※ 一次調査及び二次調査</p>
▶ 32. 暴力団員等による不当介入を受けた場合の対応	<p>(1) 受注者は、暴力団員等による不当要求又は工事（業務）妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否しなければならない。</p> <p>また、不当介入があった時点で速やかに警察に通報するとともに、捜査上必要な協力を行わなければならない。</p> <p>(2) 受注者は、前記により警察へ通報を行った際には、速やかにその内容を監督員に報告しなければならない。</p> <p>(3) 受注者は、暴力団員等による不当介入を受けたことにより、工程に遅れが生じる等の被害が発生した場合は、監督員と協議するものとする。</p>

▶ 33. 特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律への対応

▶ 34. 週休2日工事

受注者は、「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」に基づき、保険への加入又は保証金の供託を行うこと。

- (1) 本工事は、「週休2日工事」の対象工事であり、当初予定価格は4週8休以上の達成を前提とした経費の補正を行っている。
- (2) 受注者は、週休2日による施工を希望する場合、契約後、発注者と協議を行い、協議が整った場合に週休2日による施工を行うことができる。
- (3) 週休2日とは、対象期間において、土日・祝日に関わらず、週休2日（4週8休）以上の現場閉所を行うことをいう。  
対象期間は、工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完成日（各種仮設物を撤去し、現場の清掃を完了した日）までの期間をいう。なお、年末年始6日間、夏期休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間等）は含まない。
- (4) 現場閉所とは、巡回パトロール、保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場が閉所された状態をいう。なお、降雨、降雪などによる予定外の現場閉所日についても現場閉所日に含めるものとする。
- (5) 週休2日（4週8休）以上とは、対象期間内の現場閉所日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が、28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。
- (6) 週休2日の確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日による施工を実施する受注者は、その趣旨に沿った休日の取得に努めるものとする。
- (7) 週休2日の実施の確認方法は、次によるものとする。
  7. 工事着手前
    - ・ 受注者は、週休2日の計画工程表を施工計画書に添付し発注者へ提出する。
    - ・ 分離・分割発注した工事の受注者は、受注者間で協力し、工事の進捗に影響が出ないように調整したうえで現場閉所の予定日を決定する。
    - ・ 受注者は、現場閉所の予定日を明示した計画工程表（任意様式とし、他の書類と兼ねることができる。）を監督員へ提出する。
  7. 工事着手後
    - ・ 監督員は、適宜、対象期間内の現場閉所の状況を確認する。
    - ・ 監督員は、現場閉所の状況の確認に当たっては、新たな書類作成等により事務負担が増大しないよう留意し、既存の書類の活用に努める。
- (8) 発注者が必要に応じ週休2日の実施状況の聞き取り等を行う場合には、受注者は協力するものとする。
- (9) 受注者が週休2日による施工を希望しない場合又は現場閉所の達成状況の結果、4週8休に満たない場合は、労務費（工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）の補正について、履行状況に応じた設計変更を行う。
  7. 現場の閉所状況
  - (7) 4週8休以上  
現場閉所率が28.5%（8日/28日）以上の場合
  - (イ) 4週7休以上4週8休未満

▷ 35. 防寒養生

- 現場閉所率が25.0%（7日/28日）以上28.5%未満の場合
- (ウ) 4週6休以上4週7休未満
- 現場閉所率が21.4%（6日/28日）以上25.0%未満の場合
- (10) 各経費の補正は対象期間全体に対する週休2日の達成状況により決定するものとするが、建設業の働き方改革を推進する観点から、受注者は1か月ごとに4週8休以上の現場閉所が達成できるよう努めるものとする。
- (11) 「週休2日工事」について、受注者を対象としたアンケート調査の依頼があった場合は協力するものとする。
- (12) その他の事項については、帯広市週休2日工事実施要領によるものとする。
- 防寒養生は、次の範囲とする。
- (1) 養生期間  
12月16日から3月15日を原則とする。  
ただし、12月16日以前と3月15日以降において品質確保の観点から防寒養生の実施が必要となる期間については設計変更できるものとする。  
なお、寒中コンクリートの養生期間については、第6章コンクリート工事の期間
- (2) 養生方法
7. 仮囲  上家仮囲 ( \* 単管足場+コンパネ+シート程度 )  
 側仮囲 ( \* ビニールシート  コンパネ )
1. 採暖  外部採暖  内部採暖

▶ 36. 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間

請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、受注者が申出た日とし、工事工程表、総合施工計画書、工事打合せ記録簿いずれかで示すこと。  
不明な点については、監督員と協議すること。

● 第 2 章 仮 設 工 事

記載のない限り1.1.1等の3つの数字は、公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）の章・節・項を示す

項 目	特 記 事 項																													
▷ 1. 騒音・粉じん等の対策	(1) 防音パネル (2. 1. 3) ○ 設ける（設置範囲：図示） * 設けない (2) 防音シート ○ 設ける（設置範囲：図示） * 設けない																													
▷ 2. 足場等	(1) 内部足場： ○ 脚立足場 ○ 枠組棚足場 (2. 2. 1) ○ ローリングタワー (2) 外部足場： ○ 設置する  足場を設ける場合には、「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省平成21年4月策定）の「（別紙）手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、全ての作業床について手すり、中棧及び幅木の機能を有するものを設置しなければならない。 (3) 災害防止 (2. 2. 1) ○ ネット状養生シート（ ○ 防災Ⅰ類 ○ 防災Ⅱ類） ○ 養生防護棚（ ○ 金網張 ○ 金網式養生枠 ） ○ 養生シート（ ○ 防災Ⅰ類 ○ 防災Ⅱ類） (4) 材料、撤去材等の運搬方法 (表2. 2. 1) ○ A種（二本構りフト等） ○ B種（トラッククレーン等） ○ C種（既存E V利用） ○ D種（既存階段） ○ E種（登り桟橋等）																													
▶ 3. 養生	(1) 既存部分・既存家具・既存設備等の養生： (2. 3. 1) * 行わない ● 行う 養生方法 * ビニルシート ○ _____ (2) 既存ブラインド、カーテン等の養生及び保管場所等 * 行わない ○ 行う 養生の方法 * ビニルシート ○ _____ 保管場所 _____ (3) 固定された備品、机・ロッカー等の移動： * 行わない ○ 行う 移動場所 _____																													
▷ 4. 仮設間仕切り等	(1) 仮設間仕切り等の種別 (2. 3. 2 表2. 3. 1) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>下 地</th> <th>材 質</th> <th>充填材</th> <th>塗 装</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ A種</td> <td>○ 木下地</td> <td>* セッコウボード（*9.5 ○）</td> <td>厚さ mm</td> <td>○ 片面</td> </tr> <tr> <td>○ B種</td> <td>* 軽量鉄骨</td> <td>○ 合板（*9.0 ○）</td> <td>—</td> <td>* 無し</td> </tr> <tr> <td>* C種</td> <td>○ 単管下地</td> <td>○ 全面シート</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">仮設扉</td> <td>* 木製扉</td> <td>* 合板張り程度</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>○ 鋼製扉</td> <td>○ 片面フラッシュ程度</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	種別	下 地	材 質	充填材	塗 装	○ A種	○ 木下地	* セッコウボード（*9.5 ○）	厚さ mm	○ 片面	○ B種	* 軽量鉄骨	○ 合板（*9.0 ○）	—	* 無し	* C種	○ 単管下地	○ 全面シート	—	—	仮設扉	* 木製扉	* 合板張り程度	—	—	○ 鋼製扉	○ 片面フラッシュ程度	—	—
種別	下 地	材 質	充填材	塗 装																										
○ A種	○ 木下地	* セッコウボード（*9.5 ○）	厚さ mm	○ 片面																										
○ B種	* 軽量鉄骨	○ 合板（*9.0 ○）	—	* 無し																										
* C種	○ 単管下地	○ 全面シート	—	—																										
仮設扉	* 木製扉	* 合板張り程度	—	—																										
	○ 鋼製扉	○ 片面フラッシュ程度	—	—																										
▶ 5. 監督員事務所及び備品等	(2) 設置箇所：図示 (1) 監督員事務所 (2. 4. 1) ○ 設ける * 設けない ( * 10㎡ ○ 20㎡ ○ 35㎡ ○ 65㎡ ○ 100㎡ ) 程度 (2) 設備、備品は次に掲げるものの中から監督員との協議による。																													
▶ 6. 工事用便所	* 設ける ○ 設けない																													
▶ 7. 工事用水	構内既存の施設 ○ 利用できる（ * 有償 ○ 無償） * 利用できない																													

<p>▶ 8. 工事用電力</p> <p>▷ 9. 指定仮設</p> <p>▷ 10. 交通誘導警備員</p>	<p>構内既存の施設 ○ 利用できる ( * 有償 ○ 無償 ) * 利用できない</p> <p>* 仮設計画図による。</p> <p>建設機械及び車両等の出入りの際には、出入口に交通誘導警備員を配置し、一般通行者及び一般車両の安全を確保すること。</p> <p>なお、配置位置及び交通誘導警備員の区分は、次による。</p> <p>配置位置：図示 警備員詰所：( ○ 設ける * 設けない )</p> <p>表 工事現場の位置と交通誘導警備員区分</p> <table border="1"> <tr> <td>工事現場の出入り口を設ける道路(路線)</td> <td>交通誘導警備員区分</td> </tr> <tr> <td>市街地(DID)内の路線</td> <td rowspan="2">交通誘導警備員A</td> </tr> <tr> <td>北海道(各方面)公安委員会告示による認定路線</td> </tr> <tr> <td>上記以外の路線</td> <td>交通誘導警備員B</td> </tr> </table> <p>市街地内の路線及び認定路線の場合は、交通誘導警備業務を行う場所ごとに交通誘導警備員Aを1人以上配置する。</p> <p>交通誘導警備員Aを配置できない場合で、やむを得ず受注者自らが交通誘導を行う場合は、監督員と協議すること。</p>	工事現場の出入り口を設ける道路(路線)	交通誘導警備員区分	市街地(DID)内の路線	交通誘導警備員A	北海道(各方面)公安委員会告示による認定路線	上記以外の路線	交通誘導警備員B
工事現場の出入り口を設ける道路(路線)	交通誘導警備員区分							
市街地(DID)内の路線	交通誘導警備員A							
北海道(各方面)公安委員会告示による認定路線								
上記以外の路線	交通誘導警備員B							
<p>▶ 11. 清掃員</p>	<p>建設機械及び車両等の出入りの際には、適宜作業員を配置し、敷地外の道路等を泥等で汚した場合には、速やかに清掃を行うこと。</p>							

● 第 3 章 防水改修工事

項 目	特 記 事 項
▷ 1. 降雨等に対する養生方法	3.1.3(5)(7)～(9)による。(3.1.3)
▷ 2. ルーフドレン回りの処理	改修用ドレン (3.2.5) (POAS、POAS I、POD、POD I、POS、POS I、POX工法の場合) * 設ける ○ 設けない
▷ 3. 既存下地の処理	(1) 補修箇所の形状、長さ、数量等 * 図示 (3.2.6) (2) POS工法及びPOSI工法(機械的固定工法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の補修及び処置 (3.2.6) * 改修標準仕様書 3.2.6(4)(9)(g)①～③による ○ _____
▷ 4. 既存防水層表面の仕上げ塗装	(3) 架台回り等の取付け部及び防水層末端部等の納まり部の処理 (3.2.6) * 図示 ○ 監督員と協議 * 除去する ○ 除去しない (3.2.6) (M4AS、M4AS I、M4C、M4D I、L4X工法の場合)
▷ 5. 断熱材	各断熱工法で使用使用する断熱材は、ノンフロン仕様とする。
▷ 6. アスファルト防水	(1) 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (3.3.2) * 改修標準仕様書 表3.3.3から表3.3.9による ○ 図示 (2) 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (3.3.2) * 改修標準仕様書 表3.3.3から表3.3.9による ○ 図示

(3) 押え金物の材質及び形状寸法 (3.3.2)  
 材質： \* アルミニウム製 ○ \_\_\_\_\_  
 形状： \* L-30×15×2.0mm程度 ○ \_\_\_\_\_

(4) 屋根保護防水断熱工法の断熱材の種類及び厚さ： (3.3.2)

断熱材	厚さ(mm)
* 押出法 <sup>ホ</sup> リスレンフォーム断熱材 断熱材3種bA(スキン層付き) (JIS A 9521)	○ 30 ○ 50 ○ 100

(5) 屋根露出防水断熱工法の断熱材の種類及び厚さ (3.3.2)

断熱材	厚さ(mm)
JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく次の発泡プラスチック断熱材	○ 30 ○ 50 ○ 100
* ○ ビーズ <sup>ド</sup> 法 <sup>ホ</sup> リスレンフォーム (JIS記号 _____・スキン層等の区分 _____)	
○ 押出法 <sup>ホ</sup> リスレンフォーム (JIS記号 _____・スキン層等の区分 _____)	
○ 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に準ずるもの (JIS A 9521)	

(6) 絶縁用シート (3.3.2)

7. 屋根保護防水密着工法又は屋根保護防水絶縁工法  
 \* ポリエチレンフィルム 厚0.15mm以上 ○ \_\_\_\_\_  
 4. 屋根保護防水密着断熱工法又は屋根保護防水絶縁断熱工法  
 \* フラットヤーンクロス (70g/m<sup>2</sup>程度) ○ \_\_\_\_\_

(7) 保護コンクリート (8.11.1)

7. 設計基準強度(Fc) \* 18N/mm<sup>2</sup> ○ \_\_\_\_\_ N/mm<sup>2</sup>  
 4. スランプ： \* 15cm ○ 18cm

(8) 立上り部保護： \* 設けない } ○ コンクリート (3.3.2)  
 ○ 設ける } ○ 普通れんが及び化粧れんが  
 ○ 乾式

(9) 種別及び工程 (3.1.4)(表3.1.1)(3.3.3)(表3.3.3~10)

施工部位	工 法	種 別	立上り部における保護工法
	○ P1B	○ B-1 * B-2 (表3.3.3)	適用： ○ 設けない
	○ P1BI	○ BI-1 * BI-2 (表3.3.4)	○ 設ける
	○ P2AI	○ AI-1 * AI-2 ○ AI-3 (表3.3.5)	工法： ○ 図示
	○ P2A	○ A-1 * A-2 ○ A-3 (表3.3.6)	○ _____
施工部位	工 法	種 別	仕上塗料
	○ M4C	○ C-1 * C-2 ○ C-3 ○ C-4 (表3.3.7)	種類： ○ _____
	○ M3D ○ POD	○ D-1 * D-2 (表3.3.8)	使用量： ○ _____

	<input type="radio"/> P O D I <input type="radio"/> M 3 D I <input type="radio"/> M 4 D I	<input type="radio"/> D I - 1      * D I - 2 (表3.3.9)	* 製造所の仕様による
施工部位	工 法	種 別	保護層
	<input type="radio"/> P 1 E <input type="radio"/> P 2 E	<input type="radio"/> E - 1      * E - 2 <input type="radio"/> E - 1 ☆ (表3.3.10) <small>(☆は表3.3.10の工程3を行う場合)</small>	<input type="radio"/> 設ける <input type="radio"/> 設けない

- (10) 既存の保護層並びに防水層の立上り部撤去  
\* 改修標準仕様書 表3.1.1による     行わない
- (11) 脱気装置の種類及び設置数量  
(M3D、POD、PODI、M3DI、M4DI工法の場合)  
\* アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による  
 \_\_\_\_\_
- (12) 屋根露出防水絶縁断熱工法におけるルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置： (3.3.4)  
\* 図示     \_\_\_\_\_
- (13) 平場の保護コンクリートの厚さ (3.3.5) (表8.1.5)  
7. こて仕上げ  
\* 80mm以上     \_\_\_\_\_  
床面の仕上がり平坦さ     a種     b種     c種  
4. 床タイル張り等仕上げ  
\* 60mm以上     \_\_\_\_\_
- (14) 保護層等の屋上排水溝： (3.3.5)  
 設けない     設ける (図示)
- ▷ 7. 改質アスファルトシート防水 (1) 種別及び工程 (3.1.4) (表3.1.1) (3.4.2~3) (表3.4.1~3)

施工部位	工 法	種 別	材 質	仕上塗材
	<input type="radio"/> M 4 A S (表3.4.1)	<input type="radio"/> A S - T 1 <input type="radio"/> A S - T 2 <input type="radio"/> A S - J 2	* R種	* シルバー
	<input type="radio"/> M 3 A S <input type="radio"/> P O A S (表3.4.2)	<input type="radio"/> A S - T 3 <input type="radio"/> A S - T 4 <input type="radio"/> A S - J 1 <input type="radio"/> A S - J 3 ☆		
	<input type="radio"/> M 3 A S I <input type="radio"/> M 4 A S I <input type="radio"/> P O A S I (表3.4.3)	<input type="radio"/> A S I - T 1 <input type="radio"/> A S I - J 1	<input type="radio"/> N種	<input type="radio"/> カラー

☆ A S - J 3 は P O A S 工法の場合のみ

※ 仕上塗料の種類及び使用量 (表3.4.1~3)

7. 種類： \_\_\_\_\_

4. 使用量 \_\_\_\_\_

\* 改質アスファルトシートの製造所の仕様による

\_\_\_\_\_

(2) 改質アスファルトシートの種類及び厚さ： (3.4.2)

\* 公共建築改修工事標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

\_\_\_\_\_

(3) 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質 (3.4.2)

アスファルトシートの種類及び厚さ：

\* 公共建築改修工事標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

\_\_\_\_\_



- (4) 押え金物の材質及び形状寸法：  
 7. 材質 \* アルミニウム製 ○ \_\_\_\_\_  
 4. 形状 \* L-30×15×2.0mm程度 ○ \_\_\_\_\_

- (5) 断熱材 (3.4.2)  
 \* JIS A9521 (建築用断熱材) に基づく次の発砲プラスチック断熱材

種類	厚さ(mm)
* ビーズ法 <sup>ホ</sup> ポリスチレンフォーム (JIS記号 _____ ・スジ層等の区分 _____)	○ 30
* 押出法 <sup>ホ</sup> ポリスチレンフォーム (JIS記号 _____ ・スジ層等の区分 _____)	○ 50
○ 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に準ずるもの(JIS A 9521)	○ 100

- (6) M3AS、POAS、M3ASI、M4ASI、POASI (3.4.3)  
 SI工法の脱気装置の種類及び設置数量

\* 改質アスファルトシートの製造所の仕様による  
 ○ \_\_\_\_\_

- (7) M3ASI、M4ASI、POASI工法における防湿 (3.4.3)  
 層シートの設置：

○ 設ける ○ 設けない

▷ 8. 合成高分子系ルーフィングシート防水

- (1) 種別及び工程 (3.1.4 表3.1.1 3.5.2~4 表3.5.1~3)

施工部位	工法	種別	厚さmm	仕上塗材
	○ POS	○ S-F1	* 1.2 ○	* シルバー
		○ S-F2	* 2.0 ○ 1.5	○ カラー
	○ S4S (表3.5.1)	○ S-M1	* 1.5 ○	* シルバー
		○ S-M2	* 2.0 ○ 1.5	○ カラー
	○ POSI	○ SI-F1	* 1.2 ○	* シルバー
		○ SI-F2	* 1.5 ○	○ カラー
○ S4SI (表3.5.2)	○ SI-M1	* 1.5 ○	* シルバー	
	○ SI-M2	* 1.5 ○	○ カラー	
	○ S3S (表3.5.1)	○ S-F1	* 1.2 ○	* シルバー
		○ S-F2	* 2.0 ○ 1.5	○ カラー
	○ S3SI (表3.5.2)	○ SI-F1	* 1.2 ○	* シルバー
		○ SI-F2	* 1.5 ○	○ カラー
	○ M4S (表3.5.1)	○ S-M1	* 1.5 ○	* シルバー
		○ S-M2	* 2.0 ○ 1.5	○ カラー
	○ M4SI (表3.5.2)	○ SI-M1	* 1.5 ○	* シルバー
		○ SI-M2	* 1.5 ○	○ カラー
○ P1S (表3.5.3)	○ S-C1	* 1.0 ○		

- (2) 既存防水層 (立上り部等) の撤去 (POS (機械), POSI (機械), M4S, M4SI, S4S (機械), S4SI (機械) の場合) (3.1.4)

\* ルーフィング類の製造所の仕様による ○ 行わない

- (3) ルーフィングシート (JIS A 6008) の種類及び厚さ： (3.5.2)

\* 表3.5.1~表3.5.3による

○ \_\_\_\_\_

- (4) 固定金具の材質及び寸法形状  
 材料 \* 防錆処理した鋼板 ○ ステンレス鋼板  
 ○ 片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの  
 ○ \_\_\_\_\_  
 寸法形状 \* 厚さ0.4mm以上  
 ○ \_\_\_\_\_
- (5) 絶縁用シート及び可塑剤移行防止用シートの材質 (3.5.2)  
 \* 発泡ポリエチレンシート ○ \_\_\_\_\_
- (6) 脱気装置の種類及び設置数量： (3.5.3)  
 \* ルーフィングシートの製造所の仕様による  
 ○ \_\_\_\_\_
- (7) 断熱材の種類及び厚さ (3.5.2)

7. 機械的固定工法 (JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材)

種類	厚さ(mm)
* ビーズ法 <sup>ホ</sup> リスレンフォーム (JIS記号 _____ ・スキン層等の区分 _____)	○ 30
* 押出法 <sup>ホ</sup> リスレンフォーム (JIS記号 _____ ・スキン層等の区分 _____)	○ 50
○ 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号で透湿係数を除くJIS A 9521の規格に準ずるもの	○ 100

4. 接着工法 (JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材)

種類	厚さ(mm)
* ビーズ法 <sup>ホ</sup> リスレンフォーム (JIS記号 _____ ・スキン層等の区分 _____)	○ 30
* 押出法 <sup>ホ</sup> リスレンフォーム (JIS記号 _____ ・スキン層等の区分 _____)	○ 50
○ 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号で透湿係数を除くJIS A 9521の規格に準ずるもの	○ 100
○ ポリエチレンフォーム断熱材の場合は密度及び熱伝導率がJIS A 9521に準ずるもの	

- (8) S-M2及びS I-M2で立上りが接着工法の場合の立上りシートの厚さ (標準仕様書 表9.4.1,表9.4.2)  
 \* 1.5mm ○ \_\_\_\_\_ mm
- (9) 仕上塗料の種類及び使用量 (表3.5.1~2)  
 7. 種類： \* 非歩行用仕様 ○ \_\_\_\_\_  
 4. 使用量  
 \* ルーフィングシートの製造所の仕様による  
 ○ \_\_\_\_\_
- (10) S-M2及びS I-M2の防湿用フィルムの設置 (表3.5.2)  
 \* 図示 ○ \_\_\_\_\_
- (11) S-C1の工程4の保護モルタルの塗厚 (表3.5.2)  
 ○ \_\_\_\_\_ mm
- (12) プレキャストコンクリート下地の場合の目地処理 (接着工法) (3.5.4)  
 \* 図示 ○ \_\_\_\_\_
- (13) プレキャストコンクリート下地の入隅部の増張り (S-F1又はS I-F1の場合) (3.5.4)  
 \* 図示 ○ \_\_\_\_\_

▷ 9. 塗膜防水

(14) 一般部のルーフィングシートの張付け（機械式固定工法の場合） (3.5.4)

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法

- \* 適用する
- 適用しない

(15) 立上り部の保護モルタルの塗厚（屋内保護密着工法の場合）

\* 7mm以下 ○ \_\_\_\_\_ mm (3.5.4)

(1) ウレタンゴム系高伸長形塗膜防水の種別及び工程

(3.1.4) (表3.1.1) (3.6.3) (表3.6.1)

施工箇所	工法	種別	脱気装置の種類及び設置数量	仕上塗材
	○ P O X	* X-1 ○ X-2	* 主材料の製造所の仕様による ○ _____	* シルバー
	○ L 4 X	○ X-1 * X-2		○ カラー

※ 仕上塗料の種類及び使用量 (表3.6.1)

- 7. 種類 \_\_\_\_\_
- 4. 使用量 \_\_\_\_\_
- \* 主材料の製造所の仕様による
- \_\_\_\_\_

(2) ウレタンゴム系高強度形塗膜防水の種別及び工程

(3.1.4) (表3.1.1) (3.6.3) (表3.6.3)

施工箇所	工法	種別	脱気装置の種類及び設置数量	仕上塗材
	○ P O X	* X-1H ○ X-2H	* 主材料の製造所の仕様による ○ _____	* シルバー
	○ L 4 X	○ X-1H * X-2H		○ カラー

※ 仕上塗料の種類及び使用量 (表3.6.1)

- 7. 種類 : \_\_\_\_\_
- 4. 使用量 \_\_\_\_\_
- \* 主材料の製造所の仕様による
- \_\_\_\_\_

(3) ゴムアスファルト系塗膜防水工法の種別及び工程

(3.1.4) (表3.1.1) (3.6.3) (表3.6.3)

施工箇所	工法	種別	工程	保護層の仕様
	○ P 1 Y ○ P 2 Y	* Y-2	○ _____	○ 保護コンクリート ○ 保護モルタル

▷ 10. シーリング

(1) 改修工法等

(3.1.4) (表3.1.2)

施工箇所	改修工法
	シーリング充填工法
	シーリング再充填工法
	拡幅シーリング再充填工法
	ブリッジ工法

(2) シーリング材の種類及び施工箇所

(3.7.2)

下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による

施工箇所	シーリング材の種類

(3) シーリング材の目地寸法

\* 図示

(3.7.3)

	<p>(4) 接着性試験 (3.7.8)  * 行う ( * 簡易接着性試験 ○ 引張接着性試験)  ○ 行わない</p>
▷ 11. とい	<p>(1) といその他の材種： (3.8.2)(表3.8.1)  ○ 配管用鋼管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 ○ _____</p> <p>(2) とい受金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔 (3.8.2)(表3.8.2)  * 表3.8.2による ○ _____  7. 多雪区域の場合の軒どいの取付間隔 (0.5m以下)  ○ 適用する ○ 適用しない</p> <p>(3) 防露材のホルムアルデヒド放散量： (3.8.2)  * F☆☆☆☆ ○ _____</p> <p>(4) 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法： (3.8.3)  * 図示 ○ _____</p> <p>(5) 鋼管製といの防露巻き： (3.8.3)  * 改修標準仕様書 表3.8.4による ○ _____</p> <p>(6) たてどい受金物の取付け： * 図示 ○ _____ (3.8.3)</p> <p>(7) ルーフドレンの取付け： (3.8.3)  * 水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填  ○ _____</p>
▷ 12. アルミニウム製笠木	<p>(1) 部材の種類 (3.9.2 表3.9.1)  ○ 250形 ○ 300形 ○ 350形 ○ その他 (図示)</p> <p>(2) 板材折曲げ形の笠木本体幅及び板厚 (3.9.2)  ○ 笠木本体幅 _____ mm 板厚*2.0mm ○ _____ mm</p> <p>(3) 表面処理の種別 (3.9.2 表5.2.2)  ○ AB-1種 ○ AB-2種 ○ AC-1種 ○ AC-2種  ○ BA-1種 ○ BA-2種 ○ BB-1種 ○ BB-2種  ○ BC-1種 ○ BC-2種 ○ C種</p> <p>(4) 既存笠木等の撤去及び新規アルミニウム製笠木の下地補修工法 (3.9.3)  * 図示 ○ _____</p> <p>(5) 板材折曲げ形の取付方法： (3.9.3)  * 図示 ○ _____</p> <p>(6) 笠木の固定金具の工法等： (3.9.3)  建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法  * 適用する  ○ 適用しない</p>
▷ 13. 保証	<p>防水工事の保証期間は、( * 10年 ○ 年)とする。</p>

第 4 章 外壁改修工事

第 5 章 建具改修工事

項 目	特 記 事 項
▶ 1. 改修工法 ※図示	<p>(1) ○ かぶせ工法 ○ 撤去工法 (5.1.3)  ※ 両方適用の場合の区分は、図示</p> <p>(2) 新規に建具を設置する場合 (5.1.3)  壁部分の開口の開け方、新規建具周囲の補修工法並びに範囲  * 図示</p>

- ▷ 2. 防火戸 (1) 防火戸の指定： (5.1.4)  
 適用する  
適用箇所（\* 建具表による  \_\_\_\_\_）  
 適用しない  
(2) ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動： (5.1.4)  
\* 建具表による  \_\_\_\_\_

- ▷ 3. 見本の製作等 (1) 建具見本の製作： \* 行わない (5.1.5)  
 行う（建具表により指定する。）  
(2) 特殊な建具の仮組： \* 行わない (5.1.5)  
 行う（建具表により指定する。）

- ▷ 4. 取付け調整等 (1) ブラインドボックス等の再使用 \* 行わない (5.1.6)  
 行う（建具表により指定する。）  
(2) 防犯建物部品： \* 適用する (5.1.7)  
 適用しない

- ▷ 5. アルミニウム製建具 (1) 外部に面するアルミニウム製建具の性能等級等 (5.2.2) (表5.2.1)

種 別	* A種	<input type="radio"/> B種	<input type="radio"/> C種
枠の見込寸法 (mm)	* 70 (注) <input type="radio"/> 100	* 70 (注) <input type="radio"/> 100	<input type="radio"/>
耐 風 圧 性	S-4	S-5	S-6
気 密 性	A-3		A-4
水 密 性	W-4		W-5

(注) 形式が引違い・片引き・上げ下げ窓で複層ガラスを使用する場合のA種、B種の枠の見込みは100mmとする。

- (2) 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性能の等級 \* 図示  
(3) 断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 \* 図示  
(4) 外部に面するアルミニウム製建具の断熱性能による等級

(16.2.2)

種 類	枠見込寸法 (mm)	断熱性能による等級
引き違い	<input type="radio"/> 70	<input type="radio"/>
引き違い	<input type="radio"/> 100	<input type="radio"/>
開 き	<input type="radio"/> 70	<input type="radio"/>
開 き	<input type="radio"/> 100	<input type="radio"/>
F I X	<input type="radio"/> 70	<input type="radio"/>
	<input type="radio"/> 100	

- (5) アルミニウム製建具の表面処理 (5.2.4 表5.2.2)

建 具 部 位	種 別
外部に面する 建具	種別： * BB-1種 <input type="radio"/> BB-2種 <input type="radio"/> 色： <input type="radio"/> ブラウン系 <input type="radio"/> ブラック ( * 標準色 <input type="radio"/> 特注色 )
	種別： * BC-1種 <input type="radio"/> BC-2種 色： <input type="radio"/> ブラウン系 <input type="radio"/> ブラック <input type="radio"/> ステンカラー ( * 標準色 <input type="radio"/> 特注色 )

- (6) 結露水の処理方法 \* 図示  \_\_\_\_\_ (5.2.4)  
(7) 水切り板、ぜん板等の加工組立 (5.2.5)  
\* 図示  \_\_\_\_\_  
(8) 網戸等を設置する場合の防虫網の材質 (5.2.3)  
 ガラス繊維入り合成樹脂製  
\* 合成樹脂製  ステンレス (SUS316)  
(9) 線径 \* 0.25mm以上  \_\_\_\_\_ mm以上

▷ 6. 樹脂製建具

- (10) 網目 \* 16~18メッシュ ○ \_\_\_\_\_メッシュ
- (1) 外部に面する樹脂製建具の性能等級等 (5.3.2) (表5.3.1)
- | 種 別         | ○ A種          | ○ B種          | ○ C種          |
|-------------|---------------|---------------|---------------|
| 枠の見込み寸法(mm) | * 建具表による<br>○ | * 建具表による<br>○ | * 建具表による<br>○ |
| 耐風圧性        | S-4           | S-5           | S-6           |
| 気密性         | A-4           |               |               |
| 水密性         | W-4           | W-5           |               |
- (2) 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性能の等級 (5.3.2)  
○ T-1 ○ T-2
- (3) 断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 (5.3.2) (表5.3.2)
- \* 外部に面する樹脂製建具の断熱性の等級  
○ 適用する (○ H-4 ○ H-5 ○ H-6  
○ H-7 ○ H-8 )  
○ 適用しない  
○ \_\_\_\_\_
- (4) ガラス: \* 複層ガラス ○ 単板ガラス ○ 三重ガラス (5.3.3)
- (5) 表面色 ○ 標準色 (白) ○ 特注色 \_\_\_\_\_ (5.3.4)
- (6) 水切り板、ぜん板等の加工組立 (5.3.5) (5.2.5)  
\* 図示 ○ \_\_\_\_\_
- (7) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 (5.3.2)  
○ N-1 ○ N-2 ○ N-3

▷ 7. 鋼製建具

- (1) 簡易気密型ドアセット (5.4.2) (表5.4.1)  
○ 適用する ○ 適用しない
- (2) 耐風圧性 (外部) (5.4.2) (表5.2.1)  
○ S-4 ○ S-5 ○ S-6
- (3) 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性能の等級 (5.4.2) (5.2.2)  
\* 図示
- (4) 断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 (5.4.2) (5.2.2)  
\* 図示
- (5) 耐震ドアとする場合の面内変形追随性の等級 (5.4.2)  
\* 図示
- (6) 鋼板類の厚さ \* 表5.4.2による (5.4.4)  
○ 図面による

▷ 8. 鋼製軽量建具

- (1) 簡易気密型ドアセット (5.5.2)  
○ 適用する (A-3) ○ 適用しない
- (2) 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性能の等級 (5.5.2) (5.2.2)  
\* 図示
- (3) 断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 (5.5.2) (5.2.2)  
\* 図示
- (4) 耐震ドアとする場合の面内変形追随性の等級 (5.5.2)  
\* 図示
- (5) 召合せ、縦小口包み板等の材質 (5.5.3)  
○ ステンレス鋼板 \* 鋼板 ○ アルミニウム合金
- (6) 鋼板類の厚さ \* 表5.5.1による (5.5.4)

▷ 9. ステンレス製建具

- (1) 性能値等 (建具符号は建具表による)
- (2) 耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級  
\* 建具表による ○
- (3) 耐風圧性 (外部) ○ S-4 ○ S-5 ○ S-6
7. ステンレス鋼板 (5.6.3)

▷ 10. 木製建具

4. \* SUS304、SUS430J1L、SUS443J1 ○ \_\_\_\_\_  
 (4) 表面仕上げ \* HL ○ 鏡面 (5.6.4)  
 (5) 曲げ加工 \* 普通曲げ ○ 角出し曲げ (5.6.5)  
 (1) 建具材の含水率の種別 (5.7.2)  
 \* A種 ○ B種  
 (2) フラッシュ戸の表面材の合板の種類 (5.7.2) (表5.7.1)

合板の種類	表面材の品質等
○ 普通合板	接着の程度 * 水掛り箇所を1類、その他2類以上 ○ 板面の品質 * 広葉樹1等 ○
○ 天然木化粧合板	接着の程度 * 水掛り箇所を1類、その他2類以上 ○
○ 特殊加工化粧合板	接着の程度 * 水掛り箇所を1類、その他2類以上 ○
○ ミディアムデンシティファイバーボード (MDF)	表裏面の状態による区: ( ) 曲げ強さによる区: ( ) 接着剤による区分 ( ) 難燃性による区分 ( )

- (3) 工法 (5.7.4)

7. かまち戸の材料 \* 16.7.2 表16.7.2による。  
○ 図示

4. ふすまの材料、枠及びくつずりの材料は図面による  
 7. かまち戸、ふすま、戸ふすま、紙張り障子の見込み寸法  
 \* 表5.7.7による  
 ○ 図示

▷ 11. 建具用金物

4. ふすまの縁の仕上げ: 表5.7.10による (5.7.4)  
 (1) 材質、形状及び寸法 (5.8.2) (表5.8.1)

7. 金物の種類及び見え掛り部の材質:  
 \* 建具表による  
 ※ 建具表で指示のない建具金物は、表5.8.1による。  
 4. 金属製建具及び樹脂製建具に使用する丁番:  
 \* 表5.8.2~3による  
 ○ \_\_\_\_\_

- (2) 取付け施工 (5.8.3)

- 取っ手類の取付け高さ(床仕上げ面からの高さ)  
 \* 建具表による  
 ○ 建具製造所の仕様による

- (3) マスターキー (5.8.4)

- 製作する \* 製作しない  
 ○ 既存のマスターキーに合わせる

- (4) 鍵 \* 3本1組 ○ \_\_\_\_\_ (5.8.4)

- (5) 鍵箱 ○ 無し ○ 有り (5.8.4)

▷ 12. 自動ドア開閉装置

- (1) 引き戸用駆動装置の性能 (5.9.2)

- SSLD-1 ○ SSLD-2  
 ○ DSLD-1 ○ DSLD-2  
 防錆の適用 ○ 適用する ○ 適用しない

- (2) 車椅子使用者用便房出入口に設置される引き戸用駆動装置の性能 (5.9.2)

- \* 表5.9.2による ○ 図示

	防錆の適用	<input type="radio"/> 適用する	<input type="radio"/> 適用しない	
	(3) 引き戸用検出装置の性能			(5. 9. 2)
	* 表5. 9. 3による		<input type="radio"/> 図示	
	防錆の適用	<input type="radio"/> 適用する	<input type="radio"/> 適用しない	
	(4) 戸の開閉方式は、建具表による。			(5. 9. 2)
	(5) 引き戸用検出装置の種類			(5. 9. 2)
	* 光線(反射)センサー		<input type="radio"/> 熱線センサー	
	<input type="radio"/> その他 _____			
	(6) 凍結防止措置			(5. 9. 2)
	* 行う(適用箇所は建具表による)	<input type="radio"/> 行わない		
▷ 13. 自閉式上吊り引戸装置	(1) 性能等			(5. 10. 3)
	* 表5. 10. 1による			
	<input type="radio"/> _____			
▷ 14. 重量シャッター	(1) シャッターの種類			(5. 11. 2)
	<input type="radio"/> 管理用シャッター	<input type="radio"/> 外壁用防火シャッター		
	<input type="radio"/> 屋内用防火シャッター	<input type="radio"/> 防煙シャッター		
	(2) 耐風圧強度			(5. 11. 2)
	管理用シャッター	_____ Pa		
	外壁用防火シャッター	_____ Pa		
	(3) 開閉方式			(5. 11. 2 表5. 11. 1)
	* 電動式(手動併用)	<input type="radio"/> 手動式		
	(4) 安全装置			(5. 11. 2)
	7. 急降下制動装置等の設置			
	設置箇所 * 図示			
	4. 障害物感知装置の設置			
	設置箇所 * 図示			
	ウ. 煙感知器連動機構若しくは熱感知器連動機構又は手動閉鎖装置により閉鎖する屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターに設ける装置			
	* 危害防止装置			
	<input type="radio"/> 可動座板式			
	※ 危害防止装置又は可動座板式は「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」(昭和48年12月28日 建設省告示第2563号)に定める基準に適合するもの			
	設置箇所 * 図示			
	(5) シャッターケース(管理用シャッター)			(5. 11. 2)
	<input type="radio"/> 設ける	<input type="radio"/> 設けない		
	(6) 注意喚起装置			
	<input type="radio"/> 音声発生装置	<input type="radio"/> 注意灯の設置		
	<input type="radio"/> シャッターへの危険表示	<input type="radio"/> シャッターの下降位置の表示		
	(7) 吹雪止め 吹き込み防止用サイドシール(3方)を設ける			
	(8) 鋼板の種類及びめっきの付着量			(5. 11. 3)
	種類	<input type="radio"/> JIS G 3302	<input type="radio"/> JIS G 3312	
	付着量	* Z12又はF12	<input type="radio"/> _____	
▷ 15. 軽量シャッター	(1) 開閉形式による種類	* 手動式		(5. 12. 2)(表5. 12. 1)
		<input type="radio"/> 電動式(手動併用)		
	(2) 耐風圧強度:	_____ Pa		(5. 12. 2)
	(3) スラットの材質の種類			(5. 11. 3)
	<input type="radio"/> JIS G 3312	めっき付着量	* Z06又はF06	<input type="radio"/> _____
	<input type="radio"/> JIS G 3322	めっき付着量	* AZ90	<input type="radio"/> _____



▶ 16. オーバーヘッドドア	(4) スラットの種類	○ インターロッキング形 (5.12.4) ○ オーバーラッピング形 (5.13.1~5)																								
	セクション材料による区分	<table border="1"> <tr> <th>セクション材料による区分</th> <th>耐風圧区分 (Pa)</th> <th>開閉方式による区分</th> <th>収納形式による区分</th> <th>ガイドレールに使用する材料</th> </tr> <tr> <td>* スチールタイプ</td> <td>○ 125</td> <td>* バランス式</td> <td>○ スタンダード形</td> <td>○ 溶融亜鉛めっき鋼板</td> </tr> <tr> <td>○ アルミニウムタイプ</td> <td>○ 100</td> <td>○ チェーン式</td> <td>○ ローヘッド形</td> <td>○ ステンレス鋼板</td> </tr> <tr> <td>○ ファイバーグラストタイプ</td> <td>○ 75</td> <td>○ 電動式</td> <td>○ ハイリフト形</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○ 50</td> <td></td> <td>○ パーチカル形</td> <td></td> </tr> </table>	セクション材料による区分	耐風圧区分 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールに使用する材料	* スチールタイプ	○ 125	* バランス式	○ スタンダード形	○ 溶融亜鉛めっき鋼板	○ アルミニウムタイプ	○ 100	○ チェーン式	○ ローヘッド形	○ ステンレス鋼板	○ ファイバーグラストタイプ	○ 75	○ 電動式	○ ハイリフト形		○	○ 50		○ パーチカル形
セクション材料による区分	耐風圧区分 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールに使用する材料																						
* スチールタイプ	○ 125	* バランス式	○ スタンダード形	○ 溶融亜鉛めっき鋼板																						
○ アルミニウムタイプ	○ 100	○ チェーン式	○ ローヘッド形	○ ステンレス鋼板																						
○ ファイバーグラストタイプ	○ 75	○ 電動式	○ ハイリフト形																							
○	○ 50		○ パーチカル形																							
▶ 17. ガラス	(1) ガラスの種類及び厚さは建具表による。	(5.14.2)																								
	(2) ガラス留め材 (防火戸以外)																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当</th> <th>建具の種類</th> <th>材 種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>アルミニウム製建具</td> <td>* シーリング材 ○ 建築用ガスケット</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>鋼製建具</td> <td>* シーリング材</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>ステンレス製建具</td> <td>* シーリング材</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>鋼製軽量建具</td> <td>* シーリング材</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>木製建具</td> <td>* 押縁</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>樹脂製建具</td> <td>* 建築用ガスケット</td> </tr> </tbody> </table>	該当	建具の種類	材 種	○	アルミニウム製建具	* シーリング材 ○ 建築用ガスケット	○	鋼製建具	* シーリング材	○	ステンレス製建具	* シーリング材	○	鋼製軽量建具	* シーリング材	○	木製建具	* 押縁	○	樹脂製建具	* 建築用ガスケット				
該当	建具の種類	材 種																								
○	アルミニウム製建具	* シーリング材 ○ 建築用ガスケット																								
○	鋼製建具	* シーリング材																								
○	ステンレス製建具	* シーリング材																								
○	鋼製軽量建具	* シーリング材																								
○	木製建具	* 押縁																								
○	樹脂製建具	* 建築用ガスケット																								
▶ 18. ガラスブロック積み	(3) 板ガラスをはめ込む溝の大きさ	(5.14.3) * 建具の製造所の仕様による ○ 図示																								
	(1) 表面形状	* 図示 (5.14.5)																								
	呼び寸法	* 図示																								
	厚 さ	* 図示																								
	(2) 壁用金属枠、補強材	: 図示 (5.14.5)																								
	(3) 力骨の材質、寸法、形状	(5.14.5) * ステンレス鋼(SUS304)、径5.5mmはしご形状複筋及び単筋 ○ 図示																								
	(4) 化粧目地モルタル	色 _____ (5.14.5)																								
	(5) シーリングの種類	* 図示 (5.14.5)																								
	(6) 金属製化粧カバーの材質、寸法、形状	(5.14.5) * 図示																								
	(7) 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法	(5.14.5) * 適用する ○ 適用しない																								
(8) ガラスブロックの目地幅の寸法 :	(5.14.5)																									
7. 平積み	* 8mm以上15mm以下 ○ _____																									
4. 曲面積み	* 曲率半径をガラスブロックの幅寸法の10倍以上とし、外側15mm以下、内側6mm以上 ○ _____																									
(9) 伸縮調整目地の位置 :	(5.14.5) * 幅6mm以下ごとに10~25mm ○ 図示																									
(10) 目地部の力骨の補強方法 :	(5.14.5) * ガラスブロック製作所の仕様 ○ 図示																									

● 第 6 章 内装改修工事

項 目	特 記 事 項
▶ 1. 他の部位との取合い等	(6.1.3) (1) 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁及び床の改修範囲 * 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

● 図示

- (2) 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲  
\* 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

● 適用しない

- (3) 既存天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 (6.1.3)  
\* 既存のまま

● 適用しない

▷ 2. 既存床の撤去及び下地補修

- (1) 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ○ 図示 (6.2.2)  
(2) 合成樹脂塗床材の除去等 ○ 機械的除去工法 (6.2.2)  
○ 目荒し工法  
(3) 改修後の床の清掃範囲： ○ 改修端部より1m程度 (6.2.2)  
○ 図示

▷ 3. 既存壁の撤去及び下地補修

- (1) 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修  
\* モルタル塗替え工法 (4.3.10) のモルタル塗り (6.3.2)  
○

▶ 4. 木下地等

- (1) 木材の含水率 (6.5.2) (表6.5.1)

7. 部位	種 別	
下地材	* A種 (15%以下)	○ B種 (20%以下)
造作材	* A種 (15%以下)	○ B種 (18%以下)

1. ホルムアルデヒド放散量 \* F☆☆☆☆ ○

- (2) 製材 (6.5.2)

7. JAS 1083-5による下地用製材

施工箇所	等級	寸法(mm)	保存処理	含水率
手摺下地	* 2級 ○	図示		* A種 ○ B種
	* 2級 ○			* A種 ○ B種
	* 2級 ○			* A種 ○ B種

4. JAS 1083-2による造作用製材

施工箇所	等級	寸法(mm)	保存処理	含水率
見え掛り面	* 上小節 ○			* A種 ○ B種
見え掛り面以外	○ 上小節 * 小節			* A種 ○ B種

ウ. JAS 1083-6による広葉樹製材

施工箇所	等級	寸法(mm)	保存処理	含水率
	* 1等 ○			* 10%以下
	* 1等 ○			* 10%以下
	* 1等 ○			* 10%以下

エ. JAS 1083 (製材) 以外の製材 (6.5.2) (表6.5.2)

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	含水率
		* A種 ○ B種	○ 適用する ○ 適用しない	* A種 ○ B種
		* A種 ○ B種	○ 適用する ○ 適用しない	* A種 ○ B種
		* A種 ○ B種	○ 適用する ○ 適用しない	* A種 ○ B種

- (3) JAS乾燥認定工場から出荷された木材は、出荷証明書を、その他の工場から出荷された木材は、北海道林産物検査会が発行する検査証明書を提出すること。

- (4) カラマツの使用範囲は、束・母屋・土台・大引きとする。

(5) 造作用集成材等

(6.5.2)

7. 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材等

施工箇所	品名	樹種	見付け材面	寸法(mm)	見付け材面の品質
手摺下地	下地用集成材	イブ・トド	1面	図示	* 1等 ○ 2等
敷居	敷居	イブ・トド	1面	図示	* 1等 ○ 2等
			面		* 1等 ○ 2等

4. 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	厚さ(mm)	見付け材面	寸法(mm)	見付け材面の品質
		化粧薄板:		面		* 1等 ○ 2等
		芯材:		面		* 1等 ○ 2等
		化粧薄板:		面		* 1等 ○ 2等
		芯材:		面		* 1等 ○ 2等
		化粧薄板:		面		* 1等 ○ 2等
		芯材:		面		* 1等 ○ 2等

ウ. 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材等

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率
			* 1等 ○ 2等	* 15%以下 ○
			* 1等 ○ 2等	* 15%以下 ○
			* 1等 ○ 2等	* 15%以下 ○

エ. 「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率
	化粧薄板:			* 1等 ○ 2等	* 15%以下
	芯材:			* 1等 ○ 2等	○
	化粧薄板:			* 1等 ○ 2等	* 15%以下
	芯材:			* 1等 ○ 2等	○
	化粧薄板:			* 1等 ○ 2等	* 15%以下
	芯材:			* 1等 ○ 2等	○

(6) 造作用単板積層材

(6.5.2)

7. JAS 0701の造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質 (化粧加工)	防虫処理
			○ 有り 加工: ○ 天然木化粧加工 ○ 塗装加工 ○ 無し (等級: )	○ 適用する ○ 適用しない
			○ 有り 加工: ○ 天然木化粧加工 ○ 塗装加工 ○ 無し (等級: )	○ 適用する ○ 適用しない

4. JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質 (化粧加工)	含水率	防虫処理
		○ 有り 加工: ○ 天然木化粧加工 ○ 塗装加工 ○ 無し ( )	* 14%以下 ○	○ 適用する ○ 適用しない
		○ 有り 加工: ○ 天然木化粧加工 ○ 塗装加工 ○ 無し ( )	* 14%以下 ○	○ 適用する ○ 適用しない

ウ. JAS 3079による直交集成板

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	強度等級	種別	接着性能
	○ 異等級構成	○	○	○	○ A種	○ B
	○ 同一等級構成	○	○	○	○ B種	○ C

<input type="radio"/> 異等級構成	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> A種	<input type="radio"/> B
<input type="radio"/> 同一等級構成	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> B種	<input type="radio"/> C

(7) 合板等

(6.5.2)

7. 「合板の日本農林規格」による普通合板

施工箇所	品名	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理
		* 5.5 <input type="radio"/>		* 1類 <input type="radio"/> 2類	広葉樹 * 2等 <input type="radio"/> 1等 針葉樹 * C-D <input type="radio"/>	<input type="radio"/> 適用する <input type="radio"/> 適用しない
		* 5.5 <input type="radio"/>		* 1類 <input type="radio"/> 2類	広葉樹 * 2等 <input type="radio"/> 1等 針葉樹 * C-D <input type="radio"/>	<input type="radio"/> 適用する <input type="radio"/> 適用しない

イ. 「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	品名	厚さ (mm)	単板の樹種名	保存処理	板面の品質	等級	接着の程度	防虫処理	強度等級
		* 12.0 <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	* C-D <input type="radio"/>	* 2級 <input type="radio"/> 1級	<input type="radio"/> 特類 * 1類	<input type="radio"/> 適用する <input type="radio"/> 適用しない	<input type="radio"/> 適用する ( ) <input type="radio"/> 適用しない
		* 12.0 <input type="radio"/>		<input type="radio"/> <input type="radio"/>	* C-D <input type="radio"/>	* 2級 <input type="radio"/> 1級	<input type="radio"/> 特類 * 1類	<input type="radio"/> 適用する <input type="radio"/> 適用しない	<input type="radio"/> 適用する ( ) <input type="radio"/> 適用しない

ウ. 「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	品名	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
		<input type="radio"/> 12.0 <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> 特類 * 1類	<input type="radio"/> 適用する <input type="radio"/> 適用しない
		<input type="radio"/> 12.0 <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> 特類 * 1類	<input type="radio"/> 適用する <input type="radio"/> 適用しない

エ. 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> 1類 <input type="radio"/> 2類	<input type="radio"/> 適用する <input type="radio"/> 適用しない
	<input type="radio"/>		<input type="radio"/> 1類 <input type="radio"/> 2類	<input type="radio"/> 適用する <input type="radio"/> 適用しない

オ. 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	品名	厚さ (mm)	単板の樹種名	化粧加工の方法	接着の程度	防虫処理
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> オールレイ <input type="radio"/> プリント <input type="radio"/> 塗装等 <input type="radio"/>	<input type="radio"/> 1類 <input type="radio"/> 2類	<input type="radio"/> 適用する <input type="radio"/> 適用しない
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> オールレイ <input type="radio"/> プリント <input type="radio"/> 塗装等 <input type="radio"/>	<input type="radio"/> 1類 <input type="radio"/> 2類	<input type="radio"/> 適用する <input type="radio"/> 適用しない

カ. JIS A 5908によるパーティクルボード

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)
		* 13タイプ <input type="radio"/>	<input type="radio"/> MR1 (M) <input type="radio"/> MR2 (P)	<input type="radio"/>	* 15 <input type="radio"/>
		* 13タイプ <input type="radio"/>	<input type="radio"/> MR1 (M) <input type="radio"/> MR2 (P)	<input type="radio"/>	* 15 <input type="radio"/>

キ. JAS 0360による構造用パネル

施工箇所	品名	寸法 (mm)


ク. JIS A 5905によるミディアムデンシティーファイバーボード(MDF) (6.5.2)

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
		○	○	○	○
		○	○	○	○

(8) 接合具等 (6.5.3)

7. 釘等

造作材の化粧面の釘打ち \* 隠し釘打ち ○ \_\_\_\_\_

4. 諸金物 (6.5.3)

形状、寸法及び材質 \* 表6.5.3～表6.5.5による ○ 図示

ウ. 接着剤 (6.5.3)

ホルムアルデヒド放散量 \* F☆☆☆☆ ○

(9) 木れんがの接着工法に使用する接着剤 (6.5.4)

ホルムアルデヒド放散量 \* F☆☆☆☆ ○ \_\_\_\_\_

(10) 防腐・防蟻・防虫処理 (6.5.5)

7. 表面処理用防腐剤は監督員の承諾するものとする。

4. 防腐・防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材  
適用部位 ( \_\_\_\_\_ )

ウ. 薬剤の加圧注入処理等による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分		
	○ K2	○ K3	○ K4
	○ K2	○ K3	○ K4

4. 附属書A(規定)に基づく表面処理用木材保存剤による処理

適用	薬剤の種類	適用部材
○ 適用する		
○ 適用しない		
○ 適用する		
○ 適用しない		

ウ. 薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法
	* 薬剤の製造所の仕様による ○
	* 薬剤の製造所の仕様による ○

カ. 薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理

適用部位 ( \_\_\_\_\_ ) ○ \_\_\_\_\_

キ. 合板等の加圧注入処理等による防腐・防蟻処理

適用部位 ( \_\_\_\_\_ )  
保存処理の性能区分 \* K3 ○ \_\_\_\_\_

ク. 防虫処理

適用部位 ( \_\_\_\_\_ )  
保存処理の性能区分 ○ K1 ○ \_\_\_\_\_

(11) 鉄筋コンクリート造等の内部間仕切軸組及び床組 (6.5.6)

間仕切軸組に用いる木材

○ 杉 ○ 松 ○ \_\_\_\_\_

床組に用いる木材

○ 杉 ○ 松 ○ \_\_\_\_\_

※ 土間スラブ等の場合の土台、転ばし大引き等は「ひのき」又は6.5.5による保存処理木材とする

▷ 5. 軽量鉄骨天井下地

- (12) 窓、出入口その他 (6. 5. 7)  
 窓、出入口その他に用いる木材  
 適用部位 吊元枠、水掛りの下枠及び敷居 \* ひのき ○ \_\_\_\_\_  
 その他 ○ 松 ○ 杉
- (13) 床板張り (6. 5. 8)  
 縁甲板及び上がりがまちに用いる木材  
 ○ ひのき ○ \_\_\_\_\_
- (14) 壁及び天井下地 (6. 5. 9)  
 壁及び天井下地に用いる木材  
 ○ 杉 ○ 松 ○ \_\_\_\_\_

- (1) 材料  
 7. 野縁等の種類 (6. 6. 2 表6. 6. 1)

施工部位	野縁等の種類
屋内	* 19形
	○ 25形
屋外	○ 19形
	* 25形

- (2) 形式及び寸法 (6. 6. 3) (表6. 6. 2)

7. 野縁受け、つりボルト及びインサートの間隔

屋内	* 900mm程度 周辺部の端から150mm以内
屋外	○

1. 野縁の間隔

屋内	* 表6. 6. 2による
屋外	○

- (3) 工法

7. 既存の埋込みインサートを使用する場合

つりボルトの引張試験

箇所数	確認する強度
* 3箇所(当該階)	* 400N程度
○	○

1. あと施工アンカーの確認試験

○ 実施する(引張試験) \* 6. 6. 4(1)(ウ)による

○ 実施しない

- (4) つりボルトの間隔が900mmを超える場合 (6. 6. 4)

補強方法 \* 図示 ○ \_\_\_\_\_

- (5) 天井ふところが3. 0mを超える場合 (6. 6. 4)

補強方法 \* 図示 ○ \_\_\_\_\_

- (6) 天井下地材における耐震性を考慮した補強 (6. 6. 4)

補強箇所 \* 図示

補強方法 \* 図示 (6. 6. 4)

- (7) 屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強

補強箇所 \* 図示

補強方法 \* 図示

▷ 6. 軽量鉄骨壁下地

- (1) スタッド、ランナ等の種類 (6. 7. 3) (表6. 7. 1)

施工部位	スタッドの高さ による区分	種類
	高さ2. 7m以下	* 50形 ○
	高さ4. 0m以下	* 65形 ○
	高さ4. 0m超~4. 5m以下	* 90形 ○
	高さ4. 5m超~5. 0m以下	* 100形 ○

- (2) スタッドの高さが5. 0mを超える場合 : \* 図示 (6. 7. 3) (表6. 7. 1)

▷ 7. ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り

(3) 出入口及びこれに準じる開口部の補強 (6.7.4)  
 \* 6.7.4による ○ 図示

(1) 材料 (6.8.2) (6.8.3)  
 7. ビニル床シート (JIS A 5705)

施工箇所	種類の記号	色柄	厚さ(mm)	工法
	* FS	○ マーブル	* 2.0	○ 突付け
	○	○ フレーン	○ 2.5	* 熱溶接
	* FS	○ マーブル	* 2.0	○ 突付け
	○	○ フレーン	○ 2.5	* 熱溶接

イ. ビニル床タイル (JIS A 5705) (6.8.2)

施工箇所	種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)
	* KT	○ マーブル	○ 300×300	* 2.0
	○	○ フレーン	○ 450×450	○ 2.5
	* KT	○ マーブル	○ 300×300	* 2.0
	○	○ フレーン	○ 450×450	○ 2.5

ウ. 特殊機能床材 (6.8.2)

(ア) 帯電防止床シート

施工箇所	種類	性能 (体積抵抗値)	厚さ(mm)
		Ω 以下	
		Ω 以下	

(イ) 帯電防止床タイル

施工箇所	種類	性能	寸法(mm)	厚さ(mm)
			×	
			×	

(ウ) 視覚障害者用床タイル (6.8.2)

区分	施工箇所	種類	寸法(mm)
屋外		○ 塩化ビニル系	○ 300×300
		○ レジンコンクリート系	○
		○ 磁器質タイル	
屋内		○ 塩化ビニル系	○ 300×300
		○ 磁器質タイル	○

※ 色は周囲の床材と識別しやすいものとする

(エ) 耐動荷重性床シート (6.8.2)

施工箇所	種類	厚さ(mm)

(オ) 防滑性床シート (6.8.2)

施工箇所	種類	厚さ(mm)

(カ) 防滑性床タイル (6.8.2)

施工箇所	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)
		×	
		×	

イ. ビニル幅木 : (6.8.2)

材質の種類 ○ 軟質 ○ 硬質  
 厚さ (mm) \* 1.5 以上 ○ \_\_\_\_\_  
 高さ (mm) \* 60 ○ 75 ○ 100

オ. ゴム床タイル : (6.8.2)

色柄 ○ \_\_\_\_\_

種類 ○ 単層品 ○ 積層品  
 厚さ(mm) ○ 3.0 ○ 4.5 ○ 6.0 ○ 9.0  
 寸法(mm) ○ \_\_\_\_\_

か. 接着剤 (6.8.2)

(7) ホルムアルデヒド放散量 \* F☆☆☆☆ ○

(イ) 施工箇所の下地が、セメント系及び木質系以外の場合の接着剤の施工箇所 (表6.8.1)  
 (表6.8.2)

施工箇所 ○ \_\_\_\_\_

(ウ) 施工箇所の下地 (6.8.3)  
 モルタル塗り下地、セルフレベリング材塗り下地及び木下地  
 以外の下地の工法

工法 ○ \_\_\_\_\_

▷ 8. カーペット敷き (1) 織じゅうたん (JIS L 4404) (6.9.2) (6.9.3) (表6.9.1) (表6.9.2)

該当	種別	織り方	パイルの形状	色柄	パイル糸の種類	帯電性
○	○ A種	○ ウィルトン	○ ループ	* 模様のない無地	A種の場合 そ毛糸	○ 適用する性能 * 人体帯電圧 3.0kv以下
	○ B種	○ ダブルフェース	○ カット	○	B種、C種 の場合	○
	* C種	○ アクシミンスター	○ 併用		紡毛糸	○ 適用しない

接合方法 \* ヒートボンド工法 ○ つづり縫い  
 (6.9.2) (6.9.3) (表6.9.1) (表6.9.2)

(2) タフテッドカーペット (JIS L 4404)

該当	パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法
○	○ ループ ○ カット ○ 併用		○ 適用する性能 * 人体帯電圧 3.0kv以下 ○ ○ 適用しない	○ 全面接着 ○ グリッパー

(3) タイルカーペット (JIS L 4406) (6.9.2)

該当	種類	パイルの形状	寸法	総厚さ
○	* 第一種 ○ 第二種	* ループ ○ カット ○ 併用	* 500mm角 ○	* 6.5mm ○

(4) 下敷き材: \* 第2種2号 ○ \_\_\_\_\_ (6.9.2)

\* 呼び厚さ8mm ○ \_\_\_\_\_

(5) 見切り、押さえ金物の材質、種類、形状 \* 図示 (6.9.2)

(6) 接着剤 (6.9.2)

ホルムアルデヒド放散量 \* F☆☆☆☆ ○ \_\_\_\_\_

(7) タイルカーペット全面接着工法の敷き方 (6.9.3)

平場 \* 市松敷き ○ 模様流し ○ \_\_\_\_\_

階段部分 \* 模様流し ○ 市松敷き ○ \_\_\_\_\_

▷ 9. 合成樹脂塗床 (1) 弾性ウレタン樹脂系塗床 (6.10.2) (6.10.3) (表6.10.4)

施工部位	区分	仕上げの種類	厚さ(mm)
	* 水系 ○ 無溶剤系 ○ 溶剤系	* 平滑 ○ 防滑 ○ つや消し	



▶ 10. フローリング張り

	* 水系 ○ 無溶剤系 ○ 溶剤系	* 平滑 ○ 防滑 ○ つや消し	
--	-------------------------	------------------------	--

(2) エポキシ樹脂系塗床 (6.10.2) (6.10.3) (表6.10.2, 5~7)

施工部位	区分	工法	仕上げの種類	厚さ(mm)
	* 水系 ○ 無溶剤系 ○ 溶剤系	○ 薄膜流しのべ ○ 厚膜流しのべ ○ 樹脂モルタル	○ 平滑 ○ 防滑	
	* 水系 ○ 無溶剤系 ○ 溶剤系	○ 薄膜流しのべ ○ 厚膜流しのべ ○ 樹脂モルタル	○ 平滑 ○ 防滑	

(3) 塗床材のホルムアルデヒド放散量 (6.10.2)

\* F☆☆☆☆ ○ \_\_\_\_\_

(1) 単層フローリング (6.11.2~7) (表6.11.1) (表6.11.3) (表6.11.5)

品名	樹種	工法	厚さ(mm)	仕上げ塗装
○ フローリング ボード1等	* なら ○	○ 釘留め (根太張り) ○ 釘留め (直張り) ○ 接着	○ _____(mm) ○ 図示	○ 塗装品 ○ 無塗装品
○ フローリング ブロック1等	○ なら ○	○ 接着	○ _____(mm) ○ 図示	○ 塗装品 ○ 無塗装品

(2) 複合フローリング (6.11.2~7) (表6.11.2) (表6.11.4) (表6.11.6)

樹種	種別	工法	厚さ(mm)	仕上げ塗装
* なら ○ さくら ○ ひのき、まつ	○ A種 ○ B種 * C種	○ 釘留め (根太張り) ○ 釘留め (直張り) ○ 接着	○ _____(mm) ○ 図示	○ 塗装品 ○ 無塗装品

(3) 特殊フローリング

品名	表面材の材種	仕上げ塗装
○ 屋内体育館アリーナ床 (JIS A 6519)	* なら	
○ 柔剣道場の床 (JIS A 6519)	* なら	

※ 塗装の凡例

素地 : 素地のまま W : 生地のまま、ワックス塗り

○ SW : オイルステinlessワックス塗り(オイルイン2回、ワックス1回)

UCB : ウレタン樹脂ワニス塗りB種(2回塗り)

(4) フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 : (6.11.2)

\* F☆☆☆☆ ○ \_\_\_\_\_

(5) 接着工法におけるフローリング裏面の緩衝材 : (6.11.5)

\* 合成樹脂発泡シート ○ \_\_\_\_\_

(6) 現場塗装仕上げ (6.11.6)

- 適用する
- 適用する施工箇所
- 下地調整
- 塗装の種類
- 適用しない
- 図示
- する ○ しない
- \* ウレタン樹脂ワニス塗り
- オイルインの上、ワックス塗り
- 生地のままワックス塗り

▷ 11. 畳敷き

- (1) 普通畳の種別  
 A種  B種  C種 \* D種  
 D種の場合の畳床  KT-I  KT-II \* KT-III  
 KT-K  KT-N

- (2) 柔道畳  
 畳床は、JIS A 5901（畳床）の2級品とし、畳表は、柔道用レザー表地（裏地ビニロン使用）とする。

▶ 12. せっこうボード、その他ボード及び合板張り

- (1) せっこうボード及びその他のボードの種類、厚さ  
 \* 図示 (6.13.2~3)

- (2) 合板類、MDF、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放散量： (6.13.2)

\* F☆☆☆☆  \_\_\_\_\_

- (3) 普通合板の規格 (6.13.2)

表板の樹種名	板面の品質	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理
生地、透明塗料塗り * ラワン程度 ● 既存に合わせる 不透明塗料塗り * しな程度 <input type="radio"/>	<input type="radio"/>	● 4	* 1類 <input type="radio"/> 2類	* 適用する <input type="radio"/> 適用しない

- (4) 天然木化粧合板の規格 (6.13.2)

化粧板の樹種名	接着の程度	厚さ(mm)	防虫処理
<input type="radio"/>	<input type="radio"/> 1類 <input type="radio"/> 2類	<input type="radio"/>	* 適用する <input type="radio"/> 適用しない

- (5) 特殊加工化粧合板の規格 (6.13.2)

化粧加工の方法	表面性能	接着の程度	厚さ(mm)	防虫処理
<input type="radio"/> オーバーレイ <input type="radio"/> プリント <input type="radio"/> 塗装等	<input type="radio"/> Fタイプ <input type="radio"/> FWタイプ <input type="radio"/> Wタイプ <input type="radio"/> SWタイプ	<input type="radio"/> 1類 <input type="radio"/> 2類	<input type="radio"/>	* 適用する <input type="radio"/> 適用しない

- (6) 合板類の張付けの種別： A種 \* B種 (6.13.3)

- (7) せっこうボードの目地工法の種類  
 \* 突付け工法  継目処理工法  目透し工法

▷ 13. 壁紙張り

- (1) 材料 (6.14.2)

壁紙の施工部位・種類・防火性能

\* 図示

- (2) ホルムアルデヒド放散量 \* F☆☆☆☆  規制対象外

- (3) 素地ごしらえの種別 (6.14.3)

珪藻土・せっこうプラスター面 \* B種  A種

コンクリート・ALC面 \* B種  A種

せっこうボード面、その他のボード面 \* B種  A種

▷ 14. モルタル塗り

- (1) 材料 (6.15.3)

現場調合材料  既調合材料

- (2) 既製目地材 (6.15.3)

設ける

施工箇所 ( ) 形状 ( \* 図示  \_\_\_\_\_ )

設けない

- (3) 下地処理 (6.15.5)

壁面の場合で、仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処理

- 処理方法 \* 図示 ○ \_\_\_\_\_
- ▷ 15. タイル張り
- (4) 床の目地 (6. 15. 6)  
 ○ 設ける (種類 \* 押し目地 ○ \_\_\_\_\_)  
 \* 目地割2m2程度、最大目地間隔3m程度  
 ○ \_\_\_\_\_  
 ○ 設けない
- (1) 伸縮調整目地の位置 (6. 16. 2)  
 床タイル \* 縦・横とも4m以内ごと ○ 図示  
 床タイル以外 \* 図示 ○ \_\_\_\_\_
- (2) セメントモルタルによるタイル張り (6. 16. 3)  
 再生材利用タイルの使用 \* 使用する ○ 使用しない

施工箇所	用途による区分	タイルの形状、寸法 (mm)	きじ	うわぐすり		役物		色		耐凍害性		耐滑り性
				施釉	無釉	有	無	標準	特注	有	無	
		×		○	○	○	○	○	○	○	○	○
		×		○	○	○	○	○	○	○	○	○
		×		○	○	○	○	○	○	○	○	○

試験張り ○ 行う ○ 行わない  
 見本焼き ○ 行う ○ 行わない  
 既調合モルタル \* 既調合モルタルの製造所の仕様による  
 ○ \_\_\_\_\_

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理の方法  
 \* 目荒し工法 (6. 15. 5(3)による)  
 ○ \_\_\_\_\_

- (3) 壁タイル張り (6. 16. 3(5)(ウ))

タイルの種類	タイルの大きさ	工 法
○ 内装タイル	○ 小口平	○ 密着張り ○ 改良圧着張り
	○ 二丁掛	
	○ 100角	
○ ユニットタイル (内装タイル以外)	○ 50二丁以外	○ マスク張り ○ モザイクタイル張り

- (4) 有機系接着剤によるタイル張り (6. 16. 2) (6. 16. 4)  
 再生材利用タイルの使用 \* 使用する ○ 使用しない

施工箇所	用途による区分	タイルの形状、寸法 (mm)	きじ	うわぐすり		役物		色		耐凍害性		耐滑り性
				施釉	無釉	有	無	標準	特注	有	無	
		×		○	○	○	○	○	○	○	○	○
		×		○	○	○	○	○	○	○	○	○
		×		○	○	○	○	○	○	○	○	○

試験張り ○ 行う ○ 行わない  
 見本焼き ○ 行う ○ 行わない  
 接着剤のホルムアルデヒド放散量  
 \* F☆☆☆☆ ○ \_\_\_\_\_

- ▷ 17. セルフレベリング材塗り (6. 17. 2) (6. 17. 3)

施工箇所	種 類	塗 厚
	○ せっこう系	○ 10 mm
	○ セメント系	○ mm
	○ せっこう系	○ 10 mm
	○ セメント系	○ mm

項 目	特 記 事 項																																											
▶ 1. 材料 ▷ 2. 下地調整 ▶ 3. 木部塗装	(1) 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (7.1.3) * F☆☆☆☆ ○ _____ (1) 塗替えてRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 (7.2.1~7) * 劣化部分は除去し、活膜部分は残す ○ _____ (7.2.2~7) (表7.2.1~7) (7章各節) <table border="1" data-bbox="580 524 1382 1339"> <thead> <tr> <th>該当</th> <th>塗装の種類</th> <th>種別(塗り回数)</th> <th>下地調整</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">○</td> <td rowspan="2">合成樹脂 調合ペイント 塗り (SOP)</td> <td>新規(屋外) ○ A種 ○ B種</td> <td>不透明塗料塗り * RA種 ○ RB種</td> </tr> <tr> <td>新規(屋内) ○ A種 ○ B種</td> <td>透明塗料塗り ○ RA種 * RB種</td> </tr> <tr> <td>塗料の種類 * 1種 ○ 2種</td> <td>塗替 ○ A種 ○ B種 ○ C種</td> <td>○ RA種 ○ RB種 ○ RC種</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>フタル酸樹脂エナ メル塗り (FE)</td> <td></td> <td>* RC種</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC)</td> <td>○ A種 ○ B種</td> <td>○ RA種 * RB種</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>クリヤーラッカー 塗り (CL)</td> <td>○ A種 ○ B種</td> <td>○ RA種 * RB種</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>オイルステイン 塗り (OS)</td> <td></td> <td>* RB種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○</td> <td rowspan="2">つや有り合成樹脂 エマルジョンペイント塗り (EP-6)</td> <td>新規 * A種 ○ B種</td> <td>* RA種 ○ RB種</td> </tr> <tr> <td>○ A種 * B種 ○ C種</td> <td>○ RA種 * RB種 ○ RC種</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>木材保護塗料塗り (WP) 屋外</td> <td>○ A種 * B種</td> <td>○ RA種 * RB種 ○ RC種</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>水性反応硬化形 ウレタンクリア 塗り (WUC)</td> <td>シーラー ● あり 塗り回数 ● 2回 ○ 3回</td> <td>○ RA種 * RB種 ○ RC種</td> </tr> </tbody> </table>	該当	塗装の種類	種別(塗り回数)	下地調整	○	合成樹脂 調合ペイント 塗り (SOP)	新規(屋外) ○ A種 ○ B種	不透明塗料塗り * RA種 ○ RB種	新規(屋内) ○ A種 ○ B種	透明塗料塗り ○ RA種 * RB種	塗料の種類 * 1種 ○ 2種	塗替 ○ A種 ○ B種 ○ C種	○ RA種 ○ RB種 ○ RC種	○	フタル酸樹脂エナ メル塗り (FE)		* RC種	○	ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC)	○ A種 ○ B種	○ RA種 * RB種	○	クリヤーラッカー 塗り (CL)	○ A種 ○ B種	○ RA種 * RB種	○	オイルステイン 塗り (OS)		* RB種	○	つや有り合成樹脂 エマルジョンペイント塗り (EP-6)	新規 * A種 ○ B種	* RA種 ○ RB種	○ A種 * B種 ○ C種	○ RA種 * RB種 ○ RC種	○	木材保護塗料塗り (WP) 屋外	○ A種 * B種	○ RA種 * RB種 ○ RC種	●	水性反応硬化形 ウレタンクリア 塗り (WUC)	シーラー ● あり 塗り回数 ● 2回 ○ 3回	○ RA種 * RB種 ○ RC種
該当	塗装の種類	種別(塗り回数)	下地調整																																									
○	合成樹脂 調合ペイント 塗り (SOP)	新規(屋外) ○ A種 ○ B種	不透明塗料塗り * RA種 ○ RB種																																									
		新規(屋内) ○ A種 ○ B種	透明塗料塗り ○ RA種 * RB種																																									
	塗料の種類 * 1種 ○ 2種	塗替 ○ A種 ○ B種 ○ C種	○ RA種 ○ RB種 ○ RC種																																									
○	フタル酸樹脂エナ メル塗り (FE)		* RC種																																									
○	ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC)	○ A種 ○ B種	○ RA種 * RB種																																									
○	クリヤーラッカー 塗り (CL)	○ A種 ○ B種	○ RA種 * RB種																																									
○	オイルステイン 塗り (OS)		* RB種																																									
○	つや有り合成樹脂 エマルジョンペイント塗り (EP-6)	新規 * A種 ○ B種	* RA種 ○ RB種																																									
		○ A種 * B種 ○ C種	○ RA種 * RB種 ○ RC種																																									
○	木材保護塗料塗り (WP) 屋外	○ A種 * B種	○ RA種 * RB種 ○ RC種																																									
●	水性反応硬化形 ウレタンクリア 塗り (WUC)	シーラー ● あり 塗り回数 ● 2回 ○ 3回	○ RA種 * RB種 ○ RC種																																									
▷ 4. 鉄部塗装	(1) 鉄鋼面 (7章各節) <table border="1" data-bbox="580 1505 1382 1877"> <thead> <tr> <th>該当</th> <th>塗装の種類</th> <th>種別</th> <th>錆止塗り種別</th> <th>錆止塗料種別</th> <th>下地調整</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">○</td> <td rowspan="4">合成樹脂 調合ペイント 塗り (SOP)</td> <td rowspan="2">新規 ○ A種 * B種</td> <td>見え掛り * A種 ○ B種 ○ C種</td> <td rowspan="2">* A種 ○ B種</td> <td rowspan="2">* RA種 ○ RB種</td> </tr> <tr> <td>見え隠れ * A種 ○ B種 ○ C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">塗替 ○ A種 * B種 ○ C種</td> <td>○ A種 ○ B種 * C種 ○ 無し</td> <td>○ RA種 * RB種 ○ RC種</td> </tr> </tbody> </table>	該当	塗装の種類	種別	錆止塗り種別	錆止塗料種別	下地調整	○	合成樹脂 調合ペイント 塗り (SOP)	新規 ○ A種 * B種	見え掛り * A種 ○ B種 ○ C種	* A種 ○ B種	* RA種 ○ RB種	見え隠れ * A種 ○ B種 ○ C種	塗替 ○ A種 * B種 ○ C種	○ A種 ○ B種 * C種 ○ 無し	○ RA種 * RB種 ○ RC種																											
該当	塗装の種類	種別	錆止塗り種別	錆止塗料種別	下地調整																																							
○	合成樹脂 調合ペイント 塗り (SOP)	新規 ○ A種 * B種	見え掛り * A種 ○ B種 ○ C種	* A種 ○ B種	* RA種 ○ RB種																																							
			見え隠れ * A種 ○ B種 ○ C種																																									
		塗替 ○ A種 * B種 ○ C種	○ A種 ○ B種 * C種 ○ 無し	○ RA種 * RB種 ○ RC種																																								

○	フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)			* A種 ○ B種	* RC種	
○	つや有り合成樹脂 イラジョンペイント塗り (EP-G) 屋内	新規 ○ A種 * B種	見え掛り	* A種 ○ B種 ○ C種	○ A種 * B種	* RA種 ○ RB種 ○ RC種
			見え隠れ	○ A種 * B種 ○ C種		* RA種 ○ RB種 ○ RC種
		塗替		○ A種 ○ B種 * C種 ○ 無し	○ RA種 * RB種 ○ RC種	
○	耐候性塗料塗り (DP) 屋外	新規 * A種			* A種 ○ B種	* RA種
			上塗り塗料等級 ○ 1級 ○ 2級 ○ 3級	塗替		* A種 ○ B種
○						

(2) 垂鉛めっき鋼面

(7章各節)

該当	塗装の種類	種別	錆止塗り種別	錆止塗料種別	下地調整
○	合成樹脂 調合ペイント 塗り (SOP)  塗料の種別 * 1種 ○ 2種	新規	* A種	屋内 * A種 ○ B種	* RA種 ○ RB種
		○ A種 * B種	○ B種 ○ C種		
		塗替	○ A種 ○ B種 * C種 ○ 無し	屋外 * A種 ○ B種	○ RA種 * RB種 ○ RC種
○	フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)			* A種 ○ B種	* RC種
○	つや有り合成樹脂 イラジョンペイント塗り (EP-G) 屋内	新規	○ A種 ○ B種 * B種 ○ C種	* C種	○ RA種 ○ RB種 ○ RC種
		塗替	○ A種 ○ B種 * B種 ○ C種 ○ 無し		○ RA種 * RB種 ○ RC種
○	耐候性塗料塗り (DP) 屋外	新規	* A種 * B種	* A種 ○ B種	* RA種
		上塗り塗料等級 ○ 1級 ○ 2級 ○ 3級	塗替	* A種 * C種	* A種 ○ B種
○					

(3) 鋼製建具面

該当	塗装の種類	種別	錆止塗り種別	錆止塗料種別	下地調整
	合成樹脂 調合ペイント 塗り (SOP)	新規	* A種	屋内 * A種 ○ B種	* RC種
		○ A種	○ B種		
		* B種	○ C種		

○	塗料の種類 * 1種 ○ 2種	塗替 * A種 ○ B種 ○ C種	○ A種 ○ B種 * C種 ○ 無し	屋外 * A種 ○ B種	○ RA種 * RB種 ○ RC種
○	フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)			* A種 ○ B種	* RC種
○	耐候性塗料塗り (DP) 屋外	新規 * A種	* A種		* RA種
	上塗り塗料等級 ○ 1級 ○ 2級 ○ 3級	塗替 * A種	* C種		○ RA種 ○ RB種 ○ RC種
○					

▷ 5. モルタル面及びせっこう  
    プaster面の塗装

(7章各節)

該当	塗装の種類	種別(塗り回数)	下地調整
○	アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)	○ A種 * B種	* 乾燥、汚れ、付着物の除去 ○ ○ モルタル面 RB種
○	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	新規 ○ A種 * B種 塗替 ○ A種 * B種 ○ C種	○ RA種 * RB種 ○ RA種 * RB種 ○ RC種
○	合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	新規 ○ A種 * B種 塗替 ○ A種 * B種 ○ C種	○ RA種 * RB種 ○ RA種 * RB種 ○ RC種
○	合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)	新規 ○ A種 * B種 塗替 ○ A種 * B種 ○ C種	○ RA種 * RB種 ○ RA種 * RB種 ○ RC種
○			

(1) 塗替えの場合のしめ止め (EP-G・EP) (7.9.2) (7.10.2)

\* 表7.9.1の工程1の下塗りをしめ止めシーラーとする

○

▷ 6. コンクリート面、ALC  
    パネル面及び押出成形  
    セメント板面の塗装

(7章各節)

該当	塗装の種類	種別(塗り回数)	下地調整
○	アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)	○ A種 * B種	乾燥、汚れ、付着物の除去 コンクリート面: * RB種 押出成形セメント板: * RB種
○	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	新規 ○ A種 * B種	○ RA種 * RB種
		塗替 ○ A種 * B種 ○ C種	○ RA種 * RB種 ○ RC種

○	合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	新規	○ A種 * B種	○ RA種 * RB種
		塗替	○ A種 * B種 ○ C種	○ RA種 * RB種 ○ RC種
	合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)	新規	○ A種 * B種	○ RA種 * RB種
		塗替	○ A種 * B種 ○ C種	○ RA種 * RB種 ○ RC種
○	耐候性塗料塗り (DP)	○ A-1種 * B-1種 ○ C-1種	○ RA種 * RB種 ○ RC種	
		○ A-2種 * B-2種 ○ C-2種	○ RA種 ○ RB種 * RC種	
○				

(1) 塗替えの場合のしみ止め (EP-G・EP) (7.9.2) (7.10.2)  
 \* 表7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする  
 ○ \_\_\_\_\_

▷ 7. 石こうボード面及びその他のボード面の塗装 (7章各節)

該当	塗装の種類	種別(塗り回数)	下地調整
○	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	新規	○ RA種 * RB種
		塗替	○ RA種 * RB種 ○ RC種
○	合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	新規	○ RA種 * RB種
		塗替	○ RA種 * RB種 ○ RC種
○	合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)	新規	○ RA種 * RB種
		塗替	○ RA種 * RB種 ○ RC種
○			

(1) 塗替えの場合のしみ止め (EP-G・EP) (7.9.2) (7.10.2)  
 \* 表7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする  
 ○ \_\_\_\_\_

○ 第 8 章 耐震改修工事

● 第 9 章 環境配慮改修工事

項 目	特 記 事 項
▶ 1. 石綿含有建材の除去工事	<p>施工調査 (9.1.1)          建材の石綿含有調査は、次による。          受注者は施工調査の結果を書面により監督員へ報告すると共に、「石綿事前調査結果報告システム」による労働基準監督署及び大気汚染防止法所管部局への報告手続き(申請)を行うこと。          調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督員と協議する。</p> <p>(1) 受注者調査範囲 (9.1.1)          ○ 分析調査箇所及び調査部位 * 図示          分析方法 * JIS A 1481-2(建材製品中の含有率測定方法-第2部：試料採取及び石綿含有の有無を判定するための訂正分析方法)とする。</p>

○ \_\_\_\_\_

● 発注者分析調査済：含有建材及び調査済部位は図示による。  
 分析結果 ● 石綿含有(みなし) ○ 石綿非含有  
 分析方法は、JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。

○ 既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与 \* 貸与 ○ 無

▷ 2. 除去工事共通事項

(2) 石綿含有建材除去後の仕上げ ● 図示 (9.1.1)

(3) 石綿粉じん濃度測定 \* 行う ● 行わない

測定方法 ○ 図示 ○ \_\_\_\_\_

測定時期 ○ 図示 ○ \_\_\_\_\_

測定場所 ○ 図示 ○ \_\_\_\_\_

測定箇所数 ○ 図示 ○ \_\_\_\_\_

(1) 処理を行う吹付け材の種類及び処理方法

種類 \_\_\_\_\_

処理方法 \* 除去 ○ 封じ込め ○ 囲い込み  
 (処理を行う範囲は図示)

(2) 処理を行う保温材等の種類及び処理方法

種類 \_\_\_\_\_

処理方法 \* 除去 ○ 封じ込め ○ 囲い込み  
 (処理を行う範囲は図示)

▷ 3. 石綿含有吹付け材の除去等

(1) 石綿含有吹付け材の除去方法 (9.1.3)

\* 9.1.3による

○ \_\_\_\_\_

(2) 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置及び梱包 (9.1.3)

① 飛散防止 \* 湿潤化 ○ 固化

② 梱包 \* 密封処理(二重袋梱包) ○ \_\_\_\_\_

(3) 除去した石綿含有吹付け材等の処分方法

○ 埋立処分

\* 管理型最終処分場 場所 \_\_\_\_\_

○ \_\_\_\_\_ 場所 \_\_\_\_\_

○ 中間処理

\* 無害化処理施設 場所 \_\_\_\_\_

○ \_\_\_\_\_ 場所 \_\_\_\_\_

▷ 4. 石綿含有保温材等の除去

(1) 石綿含有保温材等の除去方法 (9.1.4)

除去方法 ○ 切断又は破砕 ○ 手ばらし

\_\_\_\_\_

除去方法 ○ 切断又は破砕 ○ 手ばらし

(2) 作業場の隔離 \* 行う ○ 行わない (9.1.4)

▷ 5. 石綿含有成形板等の除去

(1) 石綿含有成形板の種類 (9.1.5)

種類 \_\_\_\_\_

種類 \_\_\_\_\_

種類 \_\_\_\_\_

(2) 石綿含有せっこうボードの石綿含有吹付け材等の処分 (9.1.5)

○ 埋立処分

\* 管理型最終処分場 場所 \_\_\_\_\_

(3) 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有吹付け材等の処分 (9.1.5)

○ 埋立処分

\* 安定型最終処分場 場所 \_\_\_\_\_

○ \_\_\_\_\_ 場所 \_\_\_\_\_



○ 中間処理

\* 無害化処理施設

場所 \_\_\_\_\_

○ \_\_\_\_\_

場所 \_\_\_\_\_

▷ 6. 断熱アスファルト防水改修

工法の種類

(3. 1. 4)

○ P1BI

○ P2AI

○ P0DI

○ T1BI

○ M3DI

○ M4DI

▷ 7. 外断熱改修工事及び断熱・防露改修工事

(1) 共通事項：断熱材はノンフロン仕様とする。

(2) 断熱材（現場発泡を除く）

(9. 2. 2) (9. 3. 2)

適用	保温材料の種類	材料の類別及び品質	厚さ (mm)
○	ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	○ 1号 ○ 2号 ○ 3号 ○ 4号	
○	押出法ポリスチレンフォーム保温材 (スキンなし)	○ 1種b ○ A ○ B ○ C ○ 2種b ○ A ○ B ○ C ○ 3種a ○ A ○ B ○ C ○ D ○ 3種b ○ A ○ B ○ C ○ D	
○	硬質ウレタンフォーム保温材	○ 1種 ○ 2種 ○ 1号 ○ 2号 ○ 3号 ○ 4号	
○	ポリスチレンフォーム保温材	○ 1種 ○ 1号 ○ 2号 ○ 2種 ○ 3種	
○	フェノールフォーム保温材	○ 1種1号 ○ 1種2号 ○ AI ○ BI ○ CI ○ DI ○ EI ○ AII ○ BII ○ CII ○ DII ○ EII ○ 1種3号 ○ AI ○ BI ○ CI ○ DI ○ EI ○ AII ○ BII ○ CII ○ DII ○ EII ○ 2種1号 ○ AI ○ AII ○ 2種2号 ○ AI ○ AII ○ 2種3号 ○ AI ○ AII ○ 3種1号 ○ AI ○ AII	

(3) 外断熱改修

(9. 2. 3) (9. 2. 4)

7. 外装材の種類、防火性能、通気層の有無及び厚さ \* 図示

イ. 既存外壁の処置

仕上げ材撤去

○ 行う

○ 行わない

下地面の清掃

○ 行う ( \_\_\_\_\_ )

○ 行わない

欠損分の改修

○ 行う (工法 \* 図示)

○ 行わない

ウ. 不陸等の下地調整

○ 図示

○ \_\_\_\_\_

エ. 断熱材の施工

○ \_\_\_\_\_

○ 図示

オ. 建築基準法に基づき定める風圧力に対応した工法

\* 適用する 工法 \_\_\_\_\_

○ 適用しない

カ. 外装材の施工

○ \_\_\_\_\_

○ 図示

(4) 断熱・防露改修

7. 施工部位及び部位毎の厚さ

\* 図示

(9. 3. 3)

イ. 断熱材後張り工法において、断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネルの適用

○ 適用あり

(パネルの仕様 \* 図示

○ \_\_\_\_\_)

	(5) 断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 (9.3.2) (9.3.4) * F☆☆☆☆ ○ _____
	(6) 断熱材現場発泡工法に使用する断熱材 (難燃性を有するもの) (9.3.3) 断熱材の種類 * A種1 ○ A種1H ○ _____ (9.5.3) 厚さ (mm) ○ _____
▷ 8. ガラス改修工事	(1) 材料板ガラスの種類及び厚さの組み合わせ (9.4.2) * 図示 ○ _____ (2) 複層ガラスの厚さ * 図示 ○ _____ (9.4.2) (3) 断熱性による区分 * 図示 ○ _____ (9.4.2) (4) 複層ガラスの断熱性・日射遮へい性による区分 (9.4.2) * 図示 ○ _____
▷ 9. 屋上緑化改修工事	(5) 乾燥気体の種類 * 図示 ○ _____ (9.4.2) (1) 芝及び地被類の種類等 * 図示 ○ _____ (9.4.2) (2) 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 (9.4.2) * 図示 ○ _____ (3) 「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日建設省告示第1458号)に基づく風圧力に対応した工法 (9.4.3) * 適用する ○ 適用しない (4) かん水装置 (9.4.3) ○ 設置しない ○ 設置する (種類 _____) (5) 既存保護層等の撤去: ○ 行う ○ 行わない (9.4.3) (6) 新植した芝及び地被類の枯補償の期間 (9.4.4) * 引渡しの日から1年 ○ _____

● 工 事 概 要

項 目	特 記 事 項
▶ 1. 電気工作物の種類	● 一般用電気工作物 ○ 事業用電気工作物(自家用電気工作物)
▶ 2. 工事種目 【一般建物】	

名 称	新 営	改 修	施 工 の 範 囲			備 考
電灯設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
動力設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
電熱設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
雷保護設備	○ 一式	○ 一式				
受変電設備	○ 一式	○ 一式				
電力貯蔵設備	○ 一式	○ 一式				
発電設備	○ 一式	○ 一式				
構内情報通信網設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
構内交換設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
情報表示設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
映像音響設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
拡声設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
誘導支援設備	○ 一式	● 一式	● 配管	● 配線	● 器具付	
テレビ共同受信設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
監視カメラ設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
火災報知設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
中央監視制御設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
防犯入退室管理設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
構内配電線路設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
構内通信線路設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	

▶ 3. 設備概要	<p>本工程対象建築物の設備概要は下記のとおりとする。</p> <p>なお、改修工事にあつては改修工事後の設備概要を示し、本工程の対象となっていない設備については記載していない。</p> <p>引込（電力） ○ 架空 ○ 地中 引込（通信） ○ 架空 ○ 地中</p> <p>受電方式 ○ 低圧受電（○ 電灯 ○ 動力） ○ 高圧受電 _____ K V</p> <p>受電設備 ○ 非常電源専用受電設備 ○ 屋内 ○ 屋外 ○ キュービクル式 ○ 高圧スイッチギア 変圧器 単相 計 _____ K V A 三相 計 _____ K V A</p> <p>自家発電装置 種別 ○ ディーゼル機関 ○ ガス機関 ○ ガスタービン機関 発電機出力 _____ K V A 燃料 ○ 軽油 ○ A 重油 ○ 灯油 ○ ガス</p> <p>その他発電装置 ○ 燃料電池発電装置 ○ 太陽光発電装置 ○ 風力発電装置 系統連系 ○ 有 ○ 無</p>
-----------	---

- 直流電源装置 ○ 鉛蓄電池 ○ CS形  
○ PS形  
○ MSE形  
○ 長寿命MSE形  
○ HSE形  
○ アルカリ蓄電池 ○ ポケット式  
○ 焼結式  
○ 焼結式シール形
- 直流電源装置の用途 ○ 受変電機器制御電源 ○ 非常用照明
- UPS装置 ○ 常時インバータ給電方式簡易形  
○ 常時インバータ給電方式  
○ ラインインタラクティブ方式  
○ 常時商用給電方式  
停電補償時間 \_\_\_\_\_ 分
- UPS装置の用途 ( \_\_\_\_\_ )
- 照明制御装置 ○ 人感センサ  
○ 明るさセンサ ○ タイマ  
○ その他 ( \_\_\_\_\_ )
- 幹線設備 電灯 ○ 単相2線式100V 50Hz  
○ 単相3線式200/100V 50Hz  
動力 ○ 三相3線式200V 50Hz
- 電熱設備 ロードヒーティング ○ 単相100V  
○ 単相200V  
○ 三相200V  
フロアヒーティング ○ 単相100V  
○ 単相200V  
○ 三相200V
- 雷保護設備 受雷部 ○ 突針  
○ 水平導体又はメッシュ導体  
引き下げ導線システム  
○ 引下げ導線  
○ 構造体利用引下げ導線
- 構内情報通信網設備  
インタフェース ○ 100BASE- \_\_\_\_\_ ○ 1000BASE- \_\_\_\_\_  
○ その他 ( \_\_\_\_\_ )
- 機器 ○ L2スイッチ ○ L3スイッチ  
○ ルーター ○ メディアコンバーター  
○ その他 ( \_\_\_\_\_ )
- 構内交換設備  
回線種別 ○ アナログ ○ INS  
○ 専用線 ○ 光  
交換装置 ○ PBX ○ IP-PBX  
○ VoIPサーバー ○ クラウド  
実装数/容量数 局線数 \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_  
内線数 \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_  
電話機 ○ 一般形 ○ 多機能形  
○ 停電用 ○ IP電話機  
電源装置 停電補償時間 \_\_\_\_\_ 分
- 情報表示設備 ○ マルチサイン装置  
○ 出退表示装置  
○ 時刻表示装置 出力回線数 \_\_\_\_\_ 回線

映像音響設備  有  無

拡声設備  Hi形増幅器 増幅器容量 \_\_\_\_\_ W  
 一般放送用  非常放送用  一般非常兼用  
 遠隔操作器 \_\_\_\_\_ 箇所

誘導支援設備  音声誘導装置 ● インターホン  
 その他機器  テレビインターホン  
 外部受付用インターホン  
 トイレ等呼出装置  
 受付呼出装置

テレビ共同受信設備 アンテナ  UHF  
 BS・110°CS  
 CS  
 その他 (AM・FM)

火災報知設備

(1) 自動火災報知設備

受信機 \_\_\_\_\_ 形 \_\_\_\_\_ 級 \_\_\_\_\_ 回線  
 単独盤  複合盤  
 壁掛形  自立形

副受信機 \_\_\_\_\_ 台 \_\_\_\_\_ 回線  
 自動試験機能  遠隔試験機能  
 GP型3級受信機 (住戸内)

発信機 \_\_\_\_\_ 形 \_\_\_\_\_ 級  組込形  露出形

警報ベル  露出形  組込形

総合盤  単独 (  露出  埋込 )  
 消火栓箱組込形 (別途工事) (  電話機組込 )

(2) 自動閉鎖設備  
自動閉鎖装置連動制御器  単独盤  複合盤

(3) 非常警報設備  
 一体型  複合型  
 その他 (  非常ベル  表示灯  起動装置 )

(4) ガス漏れ警報設備 (機械設備のガス漏れ警報設備に係わる工事)  
 電気設備工事で設置  機械設備工事で設置

施工の範囲  配管  配線  
 基台 (警報機は別途)  
 器具付け  
基台は警報出力接点付き、アダプター付きとする。

ガス種別  LPG  都市ガス

中央監視装置  警報盤  
 簡易型監視制御装置  
 監視制御装置

防犯入退室管理設備  センサ  マグネットスイッチ  
 バイブレーションスイッチ  
 パッシブセンサ  
 制御部  キースイッチ  
 暗証番号入力装置  
 磁気カード  
 ICカード  
 機器類は施設管理者リース品である。

共用灯設備

電気方式

- 単相2線式 (  100V  200V ) 50Hz  
照明制御装置  人感センサー  明るさセンサ  
 タイマ

外灯設備

- 架空  地中  
ポール種別  鋼製塗装  アルミ  
 溶融亜鉛メッキ塗装  溶融亜鉛メッキ<sup>®</sup>ポリエステル粉体塗装  
 埋込式  ベースプレート式  
ランプ  LED  
 その他 ( \_\_\_\_\_ )

点滅方式

- 自動式 (  自動点滅器  タイマ )  
 手動式

電波障害防除設備

- 施工方法  架空配線式  地中配線式  
 アンテナ対策  CATV  
受信点  当該施設のテレビアンテナより分岐  
 新設  
 既設電波障害防除施設より分岐

● 電気設備共通事項

項 目	特 記 事 項							
▷ 1. 電気保安技術者	電気主任技術者を補佐し、監督員の承諾を受け電気工作物の保安業務を行う電気保安技術者をおくこと。							
▷ 2. 諸手続	本工事の施工に必要な官公署その他への手続きは、受注者が代行し速やかに行い、費用は全て受注者の負担とする。							
▷ 3. 試運転調整	この工事に必要な試運転調整の費用は全て受注者の負担とする。							
▷ 4. 指定仮設	* なし      ○ 本工事（仮設計画図による）							
▷ 5. 足場及び橋類	別契約の関係受注者の定置する足場、栈橋の類は、無償で使用できる。							
▷ 6. 交通誘導警備員	<p>建設機械及び車両等の出入りの際には、出入口に交通誘導警備員を配置し、一般通行者及び一般車両の安全を図ること。</p> <p>なお、交通誘導警備員の区分、配置位置及び設置日数は、次による。</p> <p>区分： ○ 交通誘導警備員A    ○ 交通誘導警備員B</p> <p>位置： 図面による。      設置日数： _____</p> <p>警備員詰所：（ ○ 設ける      ○ 設けない）</p> <p>表 工事現場の位置と交通誘導警備員区分の考え方</p> <table border="1" data-bbox="639 938 1326 1066"> <thead> <tr> <th>工事現場の出入り口を設ける道路（路線）</th> <th>交通誘導警備員区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市街地（DID）内の路線</td> <td rowspan="2">交通誘導警備員A</td> </tr> <tr> <td>北海道（各方面）公安委員会告示による認定路線</td> </tr> <tr> <td>上記以外の路線</td> <td>交通誘導警備員B</td> </tr> </tbody> </table> <p>市街地内の路線及び認定路線の場合は、交通誘導警備業務を行う場所ごとに交通誘導警備員Aを1人以上配置する。</p> <p>交通誘導警備員Aを配置できない場合で、やむを得ず受注者自らが交通誘導を行う場合は監督員と協議すること。</p>	工事現場の出入り口を設ける道路（路線）	交通誘導警備員区分	市街地（DID）内の路線	交通誘導警備員A	北海道（各方面）公安委員会告示による認定路線	上記以外の路線	交通誘導警備員B
工事現場の出入り口を設ける道路（路線）	交通誘導警備員区分							
市街地（DID）内の路線	交通誘導警備員A							
北海道（各方面）公安委員会告示による認定路線								
上記以外の路線	交通誘導警備員B							
▷ 7. 工事用電力水等 1) 工事用水 2) 工事用電力	<p>構内既存の施設    ○ 利用できる（ * 有償    ○ 無償 ） * 利用できない</p> <p>構内既存の施設    ○ 利用できる（ * 有償    ○ 無償 ） * 利用できない</p>							
▶ 8. 使用機材等	使用する機材は「北海道建設部建築局建築整備課 令和6年度版 設備機材等指定名簿」を参考とする。							
▷ 9. 製品の検査	<p>次の機器は原則、監督員及び検査職員立会のもとに工場検査を行うこと。また、検査機器は出来高対象とする。</p> <p>（ 対象機器： _____ ）</p>							
▶ 10. 参考図	図中参考図の寸法は概略寸法とする。							
▶ 11. 発生材の処理	共通事項特記仕様書による。							
▷ 12. 小型2次電池の処理	JBR Cの回収システムを利用すること。							
▷ 13. イオン化式感知器の処理	共通事項特記仕様書 第1章 16による。							
▷ 14. 概数等発注	<p>(1) 次に示した項目の工事数量は概数であり、必要に応じて設計変更するものとする。</p> <p>なお、設計に対して過大な出来高数量に変更するものではないことに留意すること</p> <p>7. 閲覧用設計書細目別内訳又は別紙明細の備考欄に「概数」又は「概」と表示された項目</p>							

4. 次の項目

- ・ \_\_\_\_\_
- ・ \_\_\_\_\_
- ・ \_\_\_\_\_
- ・ \_\_\_\_\_
- ・ \_\_\_\_\_
- ・ \_\_\_\_\_
- ・ \_\_\_\_\_
- ・ \_\_\_\_\_
- ・ \_\_\_\_\_
- ・ \_\_\_\_\_
- ・ \_\_\_\_\_

- (2) この工事においては、設計変更図書の作成（設計変更図面の作成及び工事数量の算出）を受注者に行わせることができる。
- (3) 概数として取り扱っている事項の施工に当たっては施工前に監督員と協議すること。  
 なお、数量の確認ができない場合を除き、施工前に数量を確定すること。
- (4) 概数として示した仮設工の工事数量は、標準的な工法により算出したものであるため、取り合い等によって新たに必要となる項目についても概数として取り扱うことがある。
- (1) 「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（日本建築センター発行）に基づき、耐震施工を行う。（100kgを超える機器については、計算書を提出すること）

○ 一般の施設    ○ 特定の施設    ○ 甲類    ○ 乙類

▷ 15. 耐震措置

① 局部震度法による建築設備機器（水槽類を除く）の設計用標準水平震度（Ks）

設置場所	耐震安全性の分類			
	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	2.0	1.5	1.5	1.0
屋上及び塔屋	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)
中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
1階及び地下階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

(注) ( ) 内の数値は防振支持機器の場合に適用する  
② 局部震度法による水槽類の設計用標準水平震度（Ks）

設置場所	耐震安全性の分類			
	特定の施設		一般の施設	
	重要水槽	一般水槽	重要水槽	一般水槽
上層階	2.0	1.5	1.5	1.0
屋上及び塔屋				
中間階	1.5	1.0	1.0	0.6
1階及び地下階	1.5	1.0	1.0	0.6

重要機器は、次のいずれかに該当するものをいう。また、一般機器とは重要機器以外をいう。

- イ. 災害応急対策活動に必要な施設等において、施設目的に応じた活動を行うために必要な設備機器
- ロ. 危険物を貯蔵又は使用する施設において、危険物による被害を防止するための設備機器
- ハ. 避難、消火等の防災機能を果たす設備機器
- ニ. 火災、水害、避難の障害等の二次災害を引き起こす恐れのある設備機器



	<p>ホ. その他これらに類する機器  重要水槽とは重要機器として扱う水槽類、一般水槽とは一般機器として扱う水槽類を示す  また、水槽類にはオイルタンク等を含む</p> <p>(2) あと施工アンカーの場合は、監督員と事前協議の上使用すること。</p> <p>次の設備は防災電源（非常電源）として関係法令等に適合したものであること。</p> <p>○ キュービクル等    ○ 蓄電池    ○ 発電装置  ○ 国土交通省仕様品    ○ 製作所標準品</p> <p>金属管の塗装箇所    * 無し  ○ 有り（ _____ ）</p> <p>環境配慮形を使用することを原則とする。  高圧架橋ポリエチレンケーブル  ○ E-Eタイプ（押出成形）    ○ E-Tタイプ（テープ巻）</p> <p>標準仕様書に記載のあるほか下記による。  * J C A A A 1 0 2    * J C A A K 1 1 0 1</p> <p>標準仕様書に記載のあるほか下記による。  * J C A A A 3 0 5</p> <p>標準仕様書に記載のあるほか下記による。  * J C A A K 1 1 0 1</p> <p>標準仕様書に記載のあるほか下記による。  * J C A A K 1 3 0 1</p> <p>図面に特記がある場合を除き標準仕様書の使用区分による。  ● 気密処理を行う。</p> <p>図中に特記がない場合は下記による。  住戸内    ● 合成樹脂製  その他    ○ アルミ合金製    ○ 合成樹脂製  ○ ステンレス製    ○ ネジ止め</p> <p>床ボックスに取付のもの（二重床を除く）は水平高低調整形プレートを用いる。</p> <p>床下ピット等の湿気のある場所に使用するつりボルトは亜鉛メッキ又はステンレス製とする。</p> <p>屋外又はそれに類する場所で使用するボルト、ナット等は亜鉛メッキ又はステンレス製とする。</p> <p>天井内隠蔽部分及び高所取付のプルボックスの蓋に用いるビスは脱落防止ビスとする。</p> <p>(1) 断熱材は可能な限り欠損させないこと。ただしこれによりがたい場合は、同等以上の処理を行う。</p> <p>(2) 断熱処理箇所に使用するインサートは断熱インサートとする。  長さ1m以上の通線を行わない配管には、導入線（樹脂被覆鉄線等）を挿入する。</p> <p>(1) MCCB回路とELCB回路に施工する接地は別接地とする。</p>
▷ 16. 防災電源（非常電源）	
▷ 17. 配分電盤・端子盤類	
▷ 18. 塗装工事	
▶ 19. 電線及びケーブル	
▷ 20. 直線接続材(低圧)	
▷ 21. 直線接続材(高圧)	
▷ 22. 端末処理材(低圧)	
▷ 23. 端末処理材(高圧)	
▶ 24. 位置ボックス	
▶ 25. 配線器具用プレート	
▷ 26. フロアプレート	
▷ 27. つりボルト	
▷ 28. ボルト・ナット等	
▷ 29. プルボックス	
▷ 30. 結露防止	
▷ 31. 呼び線	
▷ 32. その他	

● 機器取り付け高さ			
項目	特記事項		
▶ 1. 機器の取付高さは図示のほか下記を標準とする。			
【一般建物／公営住宅】			
	名称	測定	取付高 (mm)
共電 通力	取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000
	引込開閉器	床上～中心	1,800
電 灯	分電盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)
	スイッチ	〃	1,150
	スイッチ (公住) ※	〃	1,100
	コンセント (一般)	〃	400 (帯広市独自で改定)
	〃 (和室)	〃	200
	〃 (台上)	台上～中心	150
	〃 (土間)	床上～中心	600～1,300 (帯広市独自で改定)
	コンセント (公住) ※	〃	400
	〃 (冷蔵庫用) (公住) ※	床上～中心	1,800
	〃 (給湯器・洗面台用) (公住) ※	〃	1,300
	ブラケット (一般)	〃	2,100～2,500
	〃 (踊場)	〃	2,500
	〃 (鏡上)	鏡上端～中心	150
	動 力	壁掛形制御盤	床上～中心
開閉器箱		〃	1,500
操作スイッチ		〃	1,300
操作スイッチ (公住) ※		〃	1,100
電 話	端子盤	床上～下端	300 (帯広市独自で改定)
	保安器箱	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)
	壁付位置ボックス	〃	400 (帯広市独自で改定)
	〃 (和室)	〃	200
	壁付位置ボックス (公住) ※	〃	400
	壁付インターホン	〃	1,150
	壁付位置ボックス	〃	1,150
	〃 (和室)	〃	200
	壁付インターホン (公住) ※	〃	1,100
壁付位置ボックス (公住) ※	〃	1,100	
時 計 拡 声	壁掛形親時計	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)
	子時計	〃	2,300
	壁掛形スピーカ	〃	2,300
	アッテネーター	〃	1,150
表 示	表示盤	床上～中心	2,300
	表示盤 (公住) ※	〃	1,300
	壁付発信器	〃	1,150
	壁付発信器 (公住) ※	〃	1,100
	ベル・ブザー・チャイム	〃	2,300
	壁付ボタン	〃	1,150
	多目的便所呼出ボタン	〃	400・850 (帯広市独自で改定)
共 同 受 信 機	分配器箱	床上～上端	1,500 (上端1,900以下)
	テレビアウトレット	床上～中心	400 (帯広市独自で改定)
	〃 (和室)	〃	200
	テレビアウトレット (公住) ※	〃	400
火 災 報 知	収容箱	床上～上端	1,500 (上端1,900以下)
	受信機・副受信機	床上～中心	1,300 (帯広市独自で改定)
	受信機 (公住) ※	床上～操作盤	800～1,500
	総合盤	〃	1,300
	発信機	〃	1,300
	電鈴	〃	2,300
	表示灯	〃	2,100 (帯広市独自で改定)

# 北郊団地個別改善工事（その2）

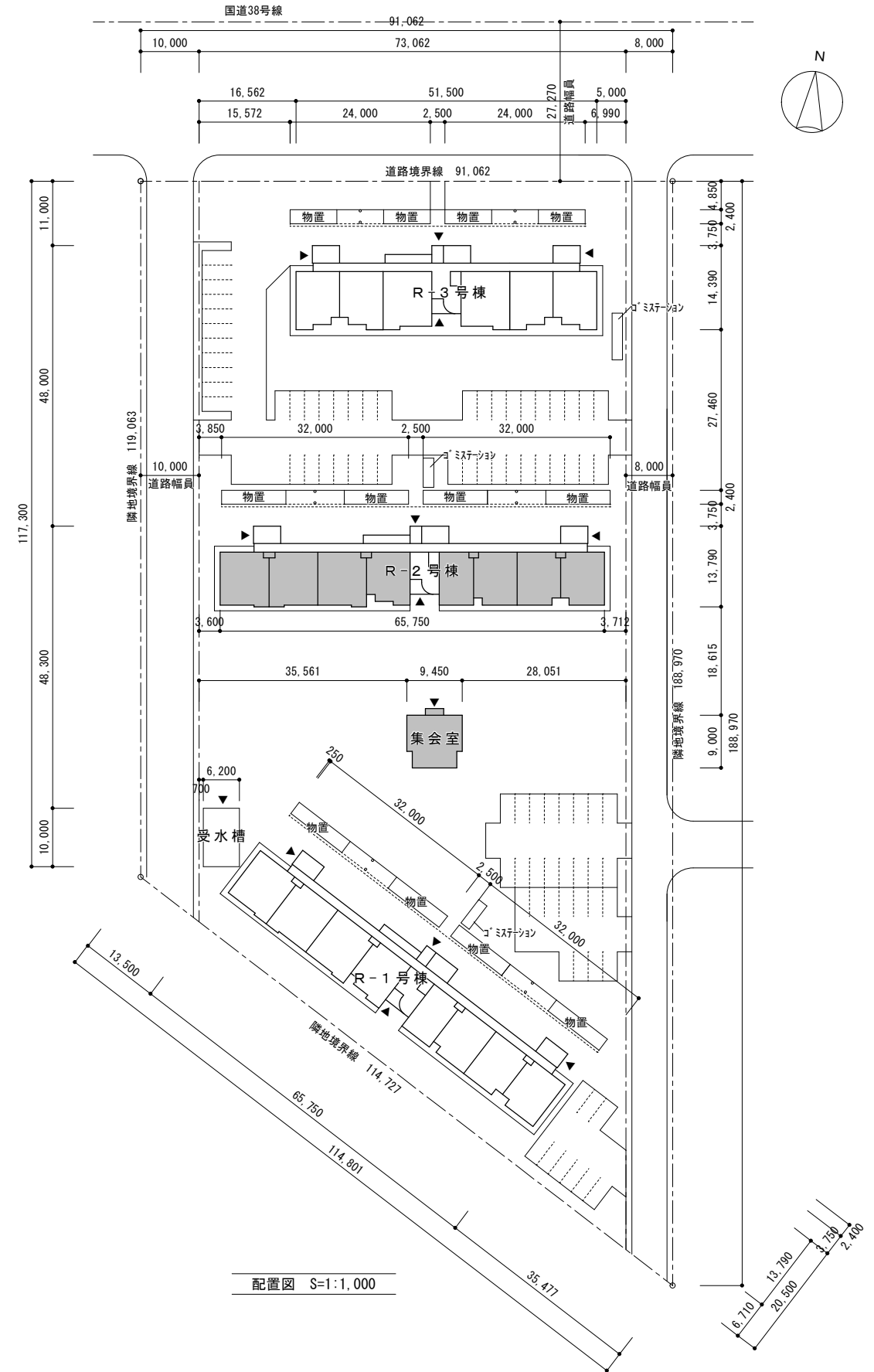
棟名	工事種別	図面番号	図面名	縮尺
R12号棟	建築主体工事	-	特記仕様書	-----
		A-201	建物概要・付近見取図・配置図(R-2号棟・集会室)	A3 1:1,000
		A-202	改修概要・仕上表(R-2号棟)	-----
		A-203	1階平面図(R-2号棟)	A3 1:200
		A-204	2~4階平面図(R-2号棟)	A3 1:200
		A-205	5階平面図(R-2号棟)	A3 1:200
		A-206	撤去・改修平面詳細図(R-2号棟 1LDK-A)	A3 1:100
		A-207	撤去・改修平面詳細図(R-2号棟 1LDK-B)	A3 1:100
		A-208	撤去・改修平面詳細図(R-2号棟 2LDK)	A3 1:100
		A-209	撤去・改修平面詳細図(R-2号棟 3LDK)	A3 1:100
		A-210	外部手摺詳細図-1(R=1号棟)	A3 1:5,50
		A-211	外部手摺詳細図-2(R=1号棟)	A3 1:5,10,50
		A-212	共用ホール手摺詳細図(R-1号棟)	A3 1:5,60
		A-213	階段室(A)詳細図(R-2号棟)	A3 1:5,60
		A-214	階段室(B,C)詳細図(R-2号棟)	A3 1:5,60
		A-215	住戸内手摺詳細図-1(R-2号棟 1LDK-A)	A3 1:5,10,50
		A-216	住戸内手摺詳細図-2(R-2号棟 1LDK-B)	A3 1:5,10,50
		A-217	住戸内手摺詳細図-3(R-2号棟 2LDK)	A3 1:5,10,50
		A-218	住戸内手摺詳細図-4(R-2号棟 3LDK)	A3 1:5,10,50
		A-219	住戸内段差解消詳細図-1(R-2号棟)	A3 1:10,50
		A-220	住戸内段差解消詳細図-2(R-2号棟)	A3 1:10,50
		A-221	住戸内段差解消詳細図-3(R-2号棟)	A3 1:5,10,50
集会室	建築主体工事	A-222	仕上表(集会室)	-----
		A-223	撤去・改修平面詳細図(集会室)	A3 1:100
		A-224	手摺詳細図(集会室)	A3 1:5,10,50
		A-225	段差解消詳細図(集会室)	A3 1:5,10,50
		R12号棟	電気設備工事	E-201
E-202	1階~5階(1LDK-B)撤去・改修平面詳細図(R-2号棟)			A3 1:100
E-203	1階~5階(2LDK)撤去・改修平面詳細図(R-2号棟)			A3 1:100
E-204	1階・2階(3LDK)撤去・改修平面詳細図(R-2号棟)			A3 1:100
E-205	3階・4階・5階(3LDK)撤去・改修平面詳細図(R-2号棟)			A3 1:100
E-206	電気配線展開図(1LDK-A、1LDK-B、2LDK)(R-2号棟)			A3 1:50
E-207	電気配線展開図(3LDK)(R-2号棟)			A3 1:50



工事場所：帯広市西14条南1丁目1番地1

付近見取図

建物概要			
工事名	北郊団地個別改善工事（その2）		
施工場所	帯広市西14条南1丁目1番地1		
	構造	延床面積	建築面積
1号棟（40戸）	RC造5階建	3,363.88㎡	706.52㎡
2号棟（40戸）	RC造5階建	3,363.88㎡	706.52㎡
3号棟（30戸）	RC造5階建	2,772.27㎡	576.10㎡
集会室	RC造平屋建	79.92㎡	83.70㎡



配置図 S=1:1,000

■ : 工事対象範囲を示す

特記

有限会社 福井設計

帯広市緑ヶ丘1条通5丁目6-1  
 1級建築士登録事務所(十)107  
 1級建築士登録番号(275038)  
 1級建築士 坂口 剛

日付 令和5年1月  
 検図 検図 担当 担当 製図

工事名 北郊団地個別改善工事（その2）  
 図面名 建物概要・付近見取図・配置図(R-2号棟・集会室)

A-201  
 A3 1:1,000

■ R-2号棟改修概要 ■

番号	改修概要						
1 (建築)	共用部 手摺の新設 新設箇所：北側スロープ、西側出入口、東側出入口、階段室(A)、(B)、(C)	3 (建築)	各住戸内 床の段差解消 (建具下部) 新設箇所：玄関ホール～居間、居間～洗面脱衣室、洗面脱衣室～便所 居間～和室(6帖)、居間～和室(4.5帖)、居間～洋室	5 (建築)	集会室内部 手摺の新設 新設箇所：玄関	7 (電気)	住戸誘導支援システム1 インターホンの新設 新設箇所：親機 居間、子機 廊下(玄関扉横)
2 (建築)	各住戸内 手摺の新設 新設箇所：玄関ホール、洗面脱衣室、浴室	4 (建築)	集会室外部 手摺の新設 新設箇所：ポーチ	6 (建築)	集会室 床の段差解消 (建具下部) 新設箇所：玄関～ホール、ホール～洋室A、ホール～洋室B、ホール～和室	8 (電気)	住戸誘導支援システム2 非常用押し釦の新設 新設箇所：居間、和室、便所、浴室



住戸タイプ別住戸数	
1LDK-A	5戸
1LDK-B	5戸
2LDK	15戸
3LDK	15戸

R-2号棟 外部仕上表

基礎 (既存のまま)	外壁 (既存のまま)	屋根 (既存のまま)	軒天井 (既存のまま)	ポーチ (既存のまま)	バルコニー (既存のまま)	煙突 (既存のまま)	犬走り (既存のまま)	付属建物
合板型枠コンクリート打放しの上 AEP	合板型枠コンクリート打放しの上 吹付タイル	アスファルト防水絶縁工法D-1 笠木：アルミ製W200	コンクリート打放しの上 吹付タイル	床：コンクリートコテ押え 外壁：合板型枠コンクリート打放しの上 吹付タイル 天井：合板型枠コンクリート打放しの上 VP 手摺：ステンレスφ42.7HL (南北出入口) 北側L=1,900 南側L=2,200 笠木：アルミ製W200, 250, 380	床：防水モルタルコテ仕上 (立上り共) t=20 笠木：アルミ製W200 壁：合板型枠コンクリート打放しの上 吹付タイル 天井：合板型枠コンクリート打放しの上 吹付タイル 天井：合板型枠コンクリート打放しの上 吹付タイル 避難口：アルミ製600*600 避難タラップ：アルミ製 (既製品) 手掛けφ16 W300 掲示板 避難ハシゴ 物干金物 (回転式アルミ製) D380 手摺：アルミ製BL製品	コンクリート打放しの上 吹付タイル 陣笠：アルミ製550*550 L=500 灰出口：鍍鉄製 5号 OP 両面本焼土管230φ 1部断熱2重煙突 L=2,300	軒下化粧砂利敷 t=60 B種 コンクリート製縁石 120*150*600 (目地無し)	棟番号：塗装記入2回塗りOP 400*400*3文字 2か所 (両妻壁) 浴室：UB1216 屋上点検用タラップ：アルミ製 L=4,500 W=400 住戸番号：1か所に3文字 OP (住戸出入口、物置、郵便受) 2*3cm, 3*6cm, 2*3cm程度 ゴミステーション100□11文字 以上既存のまま 樹脂被覆製手摺φ40-φ34 新設

R-2号棟 内部仕上表

室名	床		巾木		壁		天井		備考		
	仕上	H	仕上	H	仕上	天井高	仕上	天井高			
共用部分	共用玄関 廊下 ホール コモンスペース	モルタルコテ押え t=20 既存のまま	コンクリート打放し AEP 既存のまま	100	コンクリート打放しの上内装用吹付タイル 既存のまま	石膏吸音板 t=9 (不燃) 既存のまま 一般内装用吹付タイル 既存のまま	2,300 (ホール) 2,190 (廊下)	石膏吸音板 t=9 (不燃) 既存のまま 一般内装用吹付タイル 既存のまま	2,300 (ホール) 2,190 (廊下)	公団型プラスチック室名札 既存のまま 窓保護手摺(H=400 固定式) 既存のまま 消火器ボックス20か所 既存のまま 緊急通報受 (ステンレス製) 10部*4か所 既存のまま 掲示板 (ステンレス特レーザー貼900*1200) 1か所 既存のまま 壁付連続樹脂被覆製手摺 φ40 新設	
	階段室	モルタルコテ押え t=20 既存のまま	コンクリート打放し AEP 既存のまま	100	コンクリート打放しの上内装用吹付タイル 既存のまま	コンクリート打放しの上リシン吹付 既存のまま	—	石膏吸音板 t=9 (不燃) 既存のまま 複合板 t=36打込み (アンカー併用) 既存のまま	2,250	ノンスリップ=40庄着式 既存のまま 階段表示板 (公団型丸型120φプラスチック) 既存のまま レジスター (プラスチック製150φ) 3か所 アルミフード150φ 既存のまま 壁付連続樹脂被覆製手摺 φ40 新設	
	機械室	押えコンクリート t=100 既存のまま	—	—	複合板 t=36打込み (アンカー併用) 既存のまま	—	—	複合板 t=36打込み (アンカー併用) 既存のまま	—	3t用フック (1か所) 重箱メッキ処理済 既存のまま	
住戸部分	玄関	モルタルコテ押え t=20 既存のまま	青木 既存のまま	60	化粧合板 t=4 既存のまま	化粧石膏ボード t=9 (目スカシ) 既存のまま	2,220	化粧石膏ボード t=9 (目スカシ) 既存のまま	2,220	下駄箱 上がり幅ラワンOL すべて既存のまま	
	ホール	化粧フローア t=12 既存のまま	青木 既存のまま	60	3LDKのみ 化粧合板 t=4 一部撤去、新設	化粧石膏ボード t=9 (目スカシ) 既存のまま	2,150	化粧石膏ボード t=9 (目スカシ) 既存のまま	2,150	樹脂被覆I型手摺 φ34 新設	
	石炭庫	モルタルコテ押え t=20 既存のまま	青木 既存のまま	50	ラワン合板 t=3 既存のまま	コンクリート素地 既存のまま	—	合成樹脂発泡板 t=50 打込 既存のまま	—		
	便所	長尺塩ビシート t=2.5 既存のまま	青木 既存のまま	60	化粧合板 t=4 既存のまま	化粧石膏ボード t=9 (目スカシ) 既存のまま	2,100	化粧石膏ボード t=9 (目スカシ) 既存のまま	2,100	棚板 (W=250 ランバーコアt=15) 小口単板貼 既存のまま ステンレス手摺32φ L=600 既存のまま 段差解消材 新設	
	洗面脱衣室	長尺塩ビシート t=2.5 既存のまま	青木 既存のまま	60	1LDK-B、3LDKのみ 化粧合板 t=4 一部撤去、新設 一部化粧ケイ酸カルシウム 板t=5 既存のまま	化粧ケイ酸カルシウム 板t=5 既存のまま	2,100	化粧ケイ酸カルシウム 板t=5 既存のまま	2,100	給湯機取付板 (300*700 ランバーコア t=18) 既存のまま 樹脂被覆I型手摺 φ34 新設 段差解消材 新設	
	浴室	UB	—	—	—	—	—	—	—	—	内部ステンレス手摺 (メーカー仕様による) シャワー 浴槽一体型 給湯方式 1216 既存のまま 樹脂被覆I型手摺 φ34 新設 2LDK、3LDKのみ浴室まがし樹脂被覆I型手摺 φ34 新設
	台所 (3LDK)	化粧フローア t=12 既存のまま	青木 既存のまま	60	化粧ケイ酸カルシウム 板t=5 既存のまま	石膏吸音板 t=9 (不燃) 既存のまま	2,150	石膏吸音板 t=9 (不燃) 既存のまま	2,150	ステンレス流しL=1,400 コンロ台L=600 ステンレス水切 (ステンレスt=1.0) コンロ台バックガード (ステンレスt=0.5) 給湯機取付板 吊戸棚L=1,200 (吊りボルト9φ) コンロ台上部フード (ステンレスt=0.5) 着色ハンガーボード (ランバーコアt=18 300*700) すべて既存のまま	
	居間 (3LDK)	化粧フローア t=12 既存のまま	青木 既存のまま	60	化粧合板 t=4 既存のまま	コンクリート素地の上コテ塗 既存のまま	2,430	化粧石膏ボード t=9 (目スカシ) 既存のまま	2,325	蓋 (カラー鉄板t=0.4) 既存のまま 換気孔アルミフード150φ 既存のまま レジスター (プラスチック製150φ) 既存のまま FFストーブ用スリッパ 既存のまま 段差解消材 新設	
	台所 (1,2LDK)	化粧フローア t=12 既存のまま	青木 既存のまま	60	化粧ケイ酸カルシウム 板t=5 既存のまま	石膏吸音板 t=9 (不燃) 既存のまま	2,150	石膏吸音板 t=9 (不燃) 既存のまま	2,150	ステンレス流しL=1,400 コンロ台L=600 ステンレス水切 (ステンレスt=1.0) コンロ台バックガード (ステンレスt=0.5) 給湯機取付板 吊戸棚L=1,200 (吊りボルト9φ) コンロ台上部フード (ステンレスt=0.5) 着色ハンガーボード (ランバーコアt=18 300*700) すべて既存のまま	
	居間 (1,2LDK)	化粧フローア t=12 既存のまま	青木 既存のまま	60	2LDKのみ 化粧合板 t=4 一部撤去、新設	コンクリート素地の上コテ塗 既存のまま	2,410	化粧石膏ボード t=9 (目スカシ) 既存のまま 一部石膏吸音板 t=9 (不燃) 既存のまま	2,410	着色ハンガーボード (ランバーコアt=18 300*700) すべて既存のまま レジスター (プラスチック製150φ) 既存のまま FFストーブ用スリッパ 既存のまま 段差解消材 新設	
	洋室	化粧フローア t=12 既存のまま	青木 既存のまま	60	化粧合板 t=4 既存のまま	コンクリート素地の上コテ塗 既存のまま	2,430	化粧石膏ボード t=9 (目スカシ) 既存のまま	2,430	換気孔アルミフード150φ レジスター (プラスチック製150φ) 既存のまま 窓保護手摺H=800 既存のまま 段差解消材 新設	
	押入	シナ合板 t=5.5 既存のまま	雑巾摺 既存のまま	—	ラワン合板 t=3 既存のまま	ラワン合板 t=3 既存のまま	—	ラワン合板 t=3 既存のまま	—	枕棚W=400 既存のまま	
	和室 (南)	タタミ敷き 一部化粧フローア t=12 既存のまま	タタミ寄 既存のまま	—	化粧石膏ボード t=9 既存のまま	化粧石膏ボード t=9 (目スカシ) 既存のまま	2,300	化粧石膏ボード t=9 (目スカシ) 既存のまま	2,300	換気孔アルミフード150φ レジスター (プラスチック製150φ) 既存のまま 窓保護手摺H=800 既存のまま 吊棚W=450 (吊りボルト9φ化粧ネット付全ネジボルトステンレス製) 既存のまま 段差解消材 新設	
	押入	シナ合板 t=5.5 既存のまま	雑巾摺 既存のまま	—	ラワン合板 t=3 既存のまま	ラワン合板 t=3 既存のまま	—	ラワン合板 t=3 既存のまま	—	枕棚W=400 既存のまま	
和室 (北)	タタミ敷き 一部化粧フローア t=12 既存のまま	タタミ寄 既存のまま	—	化粧石膏ボード t=9 既存のまま	化粧石膏ボード t=9 (目スカシ) 既存のまま	2,300	化粧石膏ボード t=9 (目スカシ) 既存のまま	2,300	換気孔アルミフード150φ レジスター (プラスチック製150φ) 既存のまま 窓保護手摺H=800 既存のまま 吊棚W=450 (吊りボルト9φ化粧ネット付全ネジボルトステンレス製) 既存のまま 段差解消材 新設		
押入	シナ合板 t=5.5 既存のまま	雑巾摺 既存のまま	—	ラワン合板 t=3 既存のまま	ラワン合板 t=3 既存のまま	—	ラワン合板 t=3 既存のまま	—	枕棚W=400 既存のまま		
サンルーム	モルタルコテ押え t=20 既存のまま	モルタルコテ押え 既存のまま	—	コンクリート打放しの上内装用吹付タイル 既存のまま	コンクリート打放しの上内装用吹付タイル 既存のまま	—	コンクリート打放しの上内装用吹付タイル 既存のまま	—	物干金物：ビニールコーティング 一般階H=640 最上階H=780 窓保護手摺H=300 ステンレス手摺32φHL仕上 すべて既存のまま		

凡例  
 改修箇所を示す  
 施工済につき本工事対処外

特記				帯広市緑ヶ丘1条通5丁目6-1 1級建築士登録事務所 (〒107) 1級建築士登録番号 (275038) 1級建築士 坂口剛	日付 令和5年1月 <table border="1"> <tr> <td>確認</td> <td>確認</td> <td>担当</td> <td>担当</td> <td>製図</td> </tr> </table>	確認	確認	担当	担当	製図	工事名 北郊団地個別改善工事 (その2) 図面名 改修概要・仕上表 (R-2号棟)	<table border="1"> <tr> <td>図</td> <td>A-202</td> </tr> <tr> <td>尺</td> <td>A3 N/S</td> </tr> </table>	図	A-202	尺	A3 N/S
確認	確認	担当	担当	製図												
図	A-202															
尺	A3 N/S															



1階平面図 (R-2号棟) S=1:200

特記	帯広市緑ヶ丘1条通5丁目6-1 1級建築士登録事務所(十)107 1級建築士登録番号(275038) 1級建築士 坂口剛	日付	令和 5年 1月			工事名	北郊団地個別改善工事(その2)		図面名	1階平面図(R-2号棟)		A-203
		検図	検図	担当	担当		製図	A3 1:200				



2~4階平面図 (R-2号棟) S=1:200

特記	有限会社 福井設計	帯広市緑ヶ丘1条通5丁目6-1 1級建築士登録事務所(十)107 1級建築士登録番号(275038) 1級建築士 坂口剛	日付 令和 5年 1月				工事名 北郊団地個別改善工事(その2)	A-204
			検図	検図	担当	担当		
			図面名 2~4階平面図 (R-2号棟)				A3 1:200	

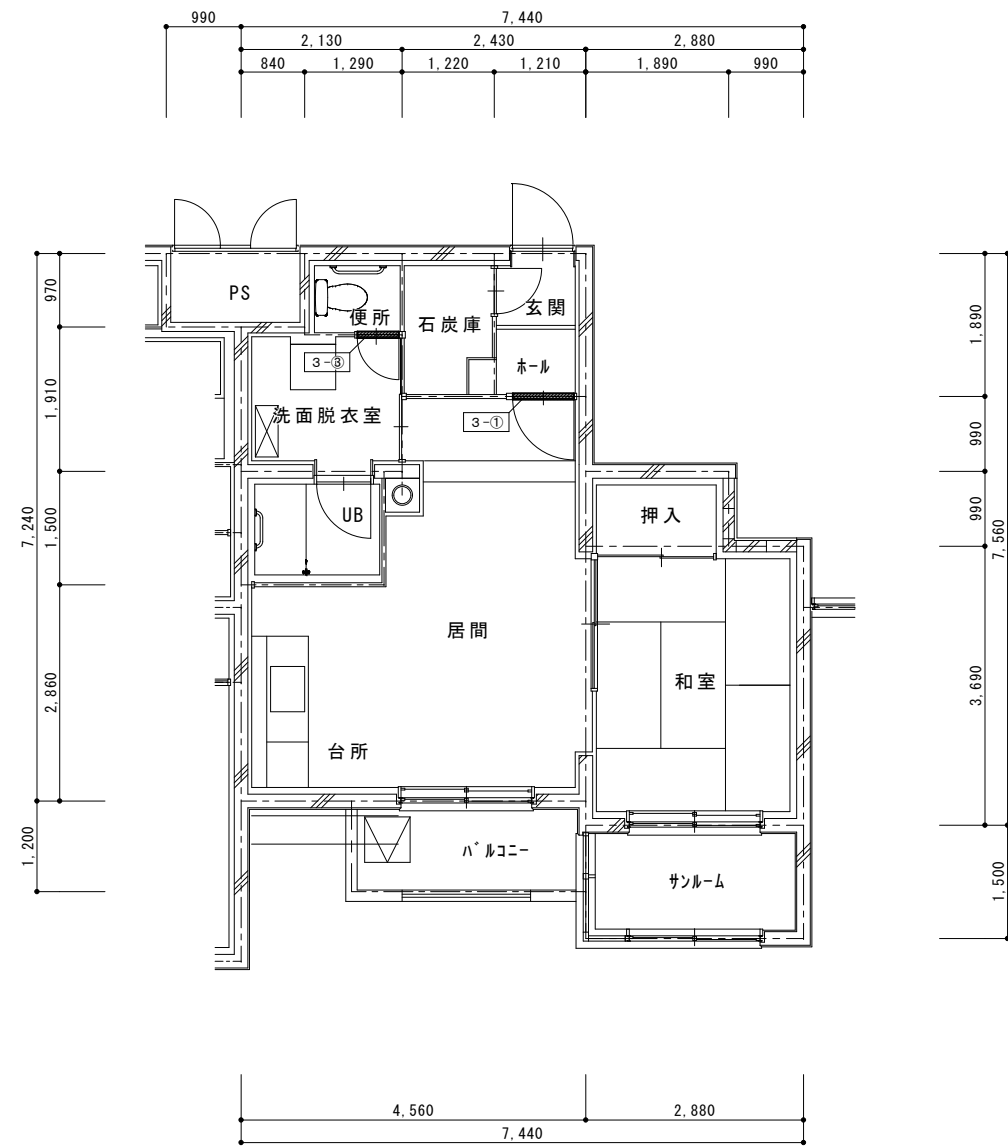


5階平面図 (R-2号棟) S=1:200

特記	帯広市緑ヶ丘1条通5丁目6-1 1級建築士登録事務所(十)107 1級建築士登録番号(275038) 1級建築士 坂口剛	日付	令和 5年 1月			工事名	北郊団地個別改善工事(その2)		図面名	5階平面図 (R-2号棟)		A-205
		検図	検図	担当	担当		製図	図面名		A3 1:200		



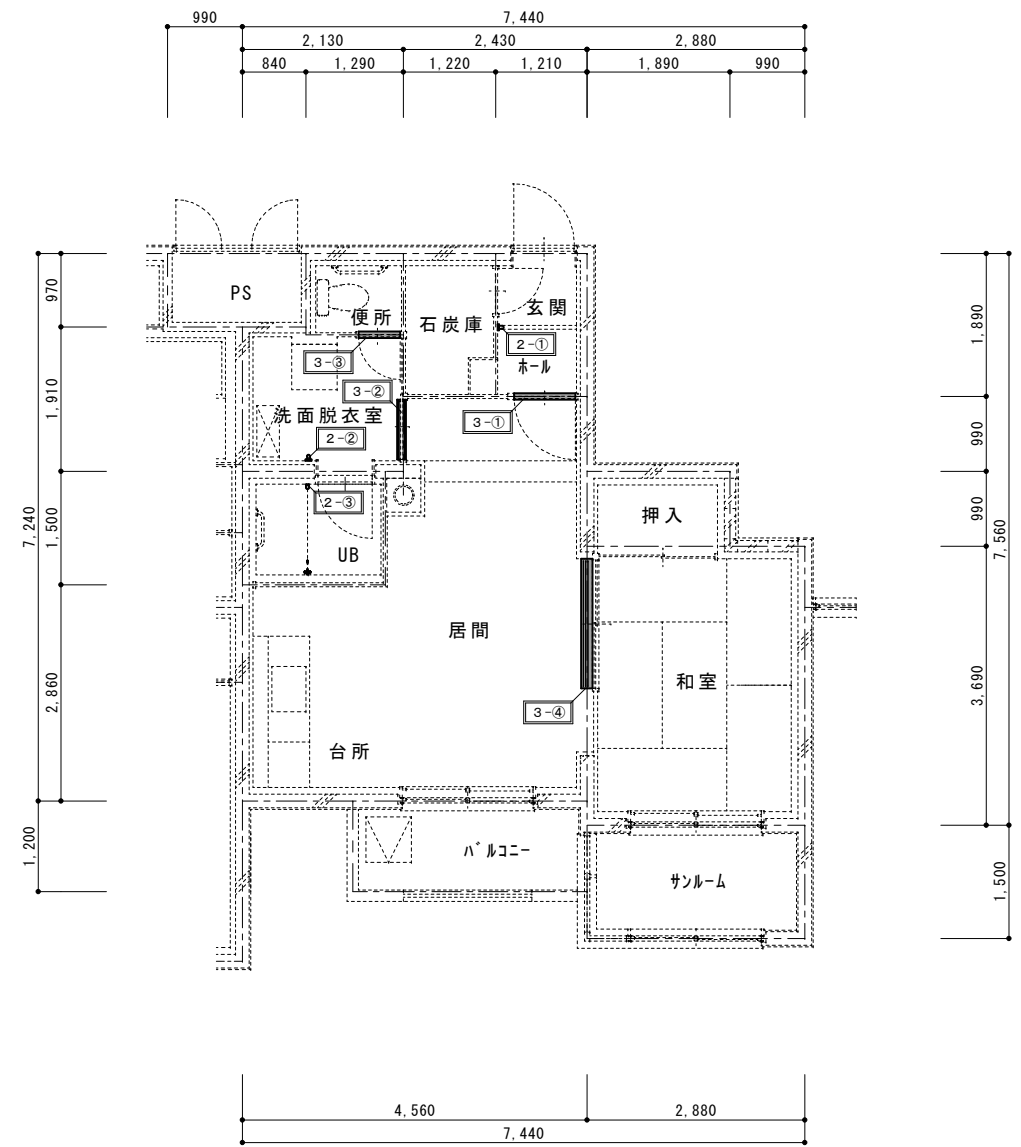
改修前



撤去平面詳細図(R-2号棟 1LDK-A) S=1:100

- 凡例
- 改修番号を示す
  - 撤去部分を示す

改修後

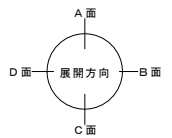


改修平面詳細図(R-2号棟 1LDK-A) S=1:100

- 凡例
- 改修番号を示す
  - 新設部分を示す
  - 新設を示す
  - 既存のままを示す

■R-2号棟(1LDK-A)住戸共通 改修方法 ■

改修番号	改修項目	撤去内容	新設内容・仕様・規格・形状	詳細図面番号
2-①	玄関ホール 手摺新設		手摺新設: 縦I型 樹脂被覆製 φ34 L=600 (芯材 ステンレス鋼管), 手摺下地新設: トド松集成材 t=20 100*1,000 WUC	A-215
2-②	洗面脱衣室(浴室出入り用) 手摺新設		手摺新設: 縦I型 樹脂被覆製 φ34 L=600 (芯材 ステンレス鋼管), 手摺下地新設: トド松集成材 t=20 100*1,000 WUC	A-215
2-③	浴室(出入口兼浴槽またぎ用) 手摺新設		手摺新設: 縦I型 樹脂被覆製 φ34 L=600 (芯材 ステンレス鋼管), ケミカルアンカー M8ボルト新設	A-215
3-①	玄関ホール~居間	木製建具枠 敷居部撤去	段差解消材新設: 7&M製t=2.0 W=120*810 フラットレライフ, 既存建具隙間プラン新設	A-219
3-②	居間~洗面脱衣室		段差解消材新設: 両側ステンレス製t=1.5 W=80*790, W=80*825 段差解消材下地フロン合板t=9一部新設	A-220
3-③	洗面脱衣室~便所	木製建具枠 敷居部撤去	段差解消材新設: 7&M製t=2.0 W=120*550 フラットレライフ	A-220
3-④	居間~和室(6帖)		段差解消材新設: 居間側のみワ集材材 W=1,735, D=100, H=25 WUC	A-221



特記

有限会社 福井設計

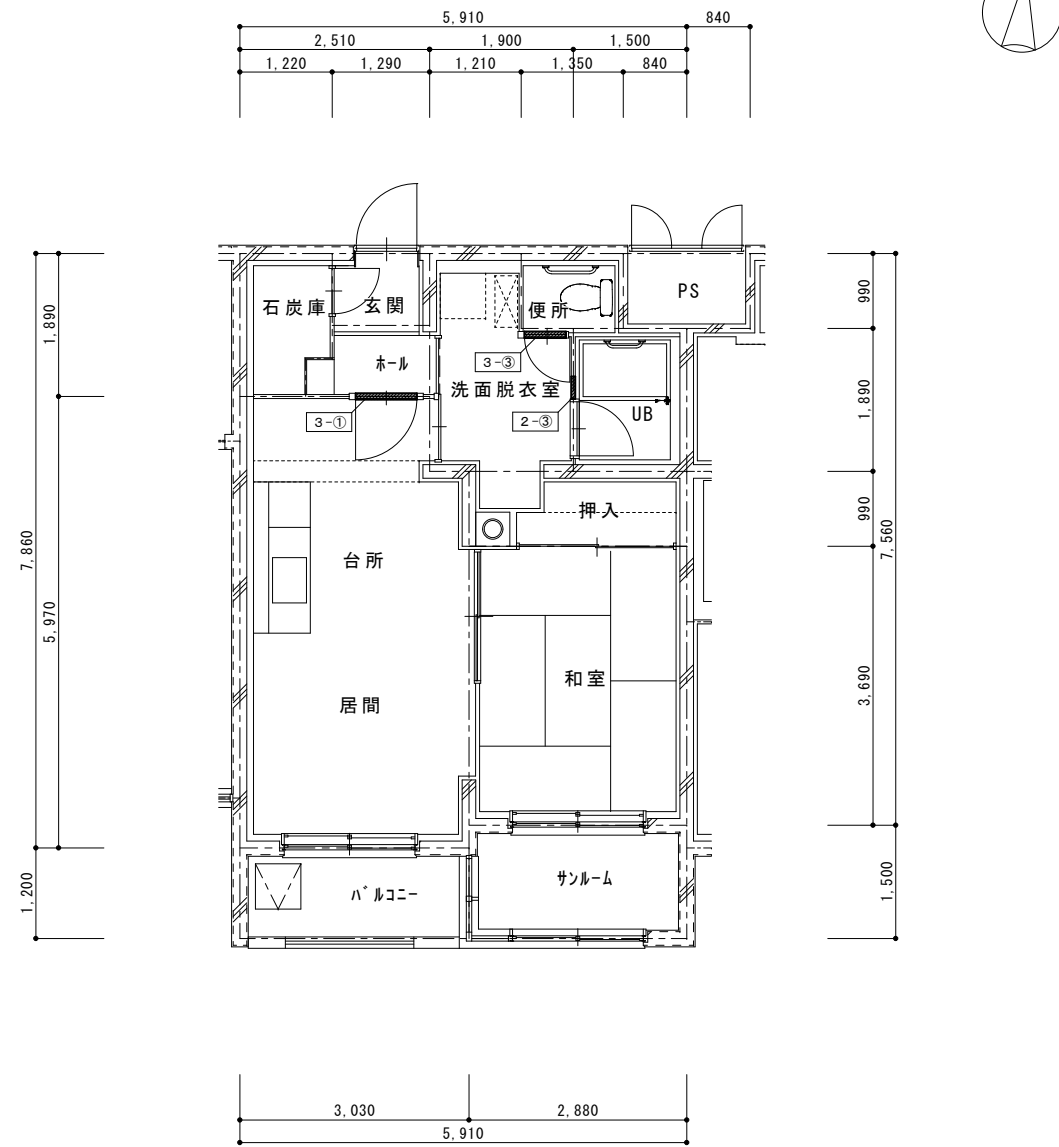
帯広市緑ヶ丘1条通5丁目6-1  
1級建築士登録事務所(+)107  
1級建築士登録番号(275038)  
1級建築士 坂口剛

日付 令和5年1月  
核図 核図 担当 担当 製図

工事名 北郊団地個別改善工事(その2)  
図面名 撤去・改修平面詳細図(R-2号棟 1LDK-A)

A-206  
A3 1:100

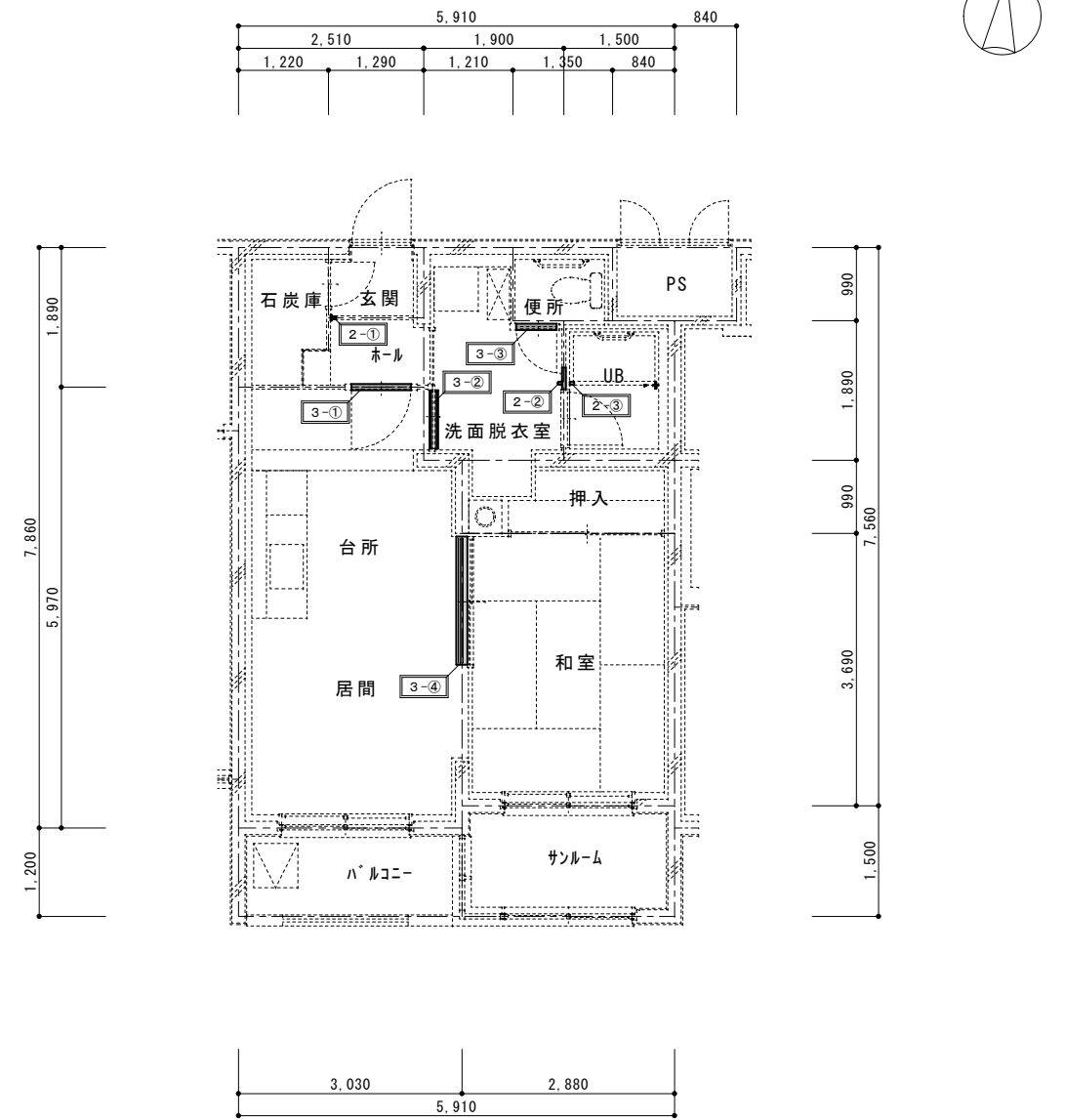
改修前



撤去平面詳細図(R-2号棟 1LDK-B) S=1:100

- 凡例
- 改修番号を示す
  - ▨ 撤去部分を示す

改修後

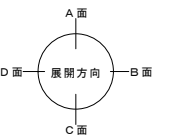


改修平面詳細図(R-2号棟 1LDK-B) S=1:100

- 凡例
- 改修番号を示す
  - 新設部分を示す
  - 新設を示す
  - ..... 既存のままを示す

■R-2号棟(1LDK-B)住戸共通 改修方法 ■

改修番号	改修項目	撤去内容	新設内容・仕様・規格・形状	詳細図面番号
2-①	玄関 手摺新設		手摺新設: 縦1型 樹脂被覆製 φ34 L=600 (芯材 ステンレス鋼管), 手摺木下地新設: トド松集成材 t=20 100*1,000 WUC	A-216
2-②	洗面脱衣室 (浴室出入り用) 手摺新設	洗面脱衣室壁仕上一部撤去: 化粧合板 t=4	手摺新設: 縦1型 樹脂被覆製 φ34 L=600 (芯材 ステンレス鋼管), 洗面脱衣室壁仕上一部新設: 化粧合板 t=4 手摺木下地新設: 75*120*95	A-216
2-③	浴室 (出入口兼浴槽またぎ用) 手摺新設		手摺新設: 縦1型 樹脂被覆製 φ34 L=600 (芯材 ステンレス鋼管), 手摺木下地新設: 75*120*95	A-216
3-①	玄関ホール~居間	木製建具枠 敷居部撤去	段差解消材新設: 7&M製 t=2.0 W=120*810 フラットレライフ, 既存建具隙間プラン新設	A-219
3-②	居間~洗面脱衣室		段差解消材新設: 両側ステンレス製 t=1.5 W=80*790, W=80*825 段差解消材下地フロン合板 t=9一部新設	A-220
3-③	洗面脱衣室~便所	木製建具枠 敷居部撤去	段差解消材新設: 7&M製 t=2.0 W=120*810 フラットレライフ	A-220
3-④	居間~和室 (6帖)		段差解消材新設: 居間側のみ7&M製材 W=1,735, D=100, H=25 WUC	A-221



特記

有限会社 福井設計

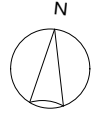
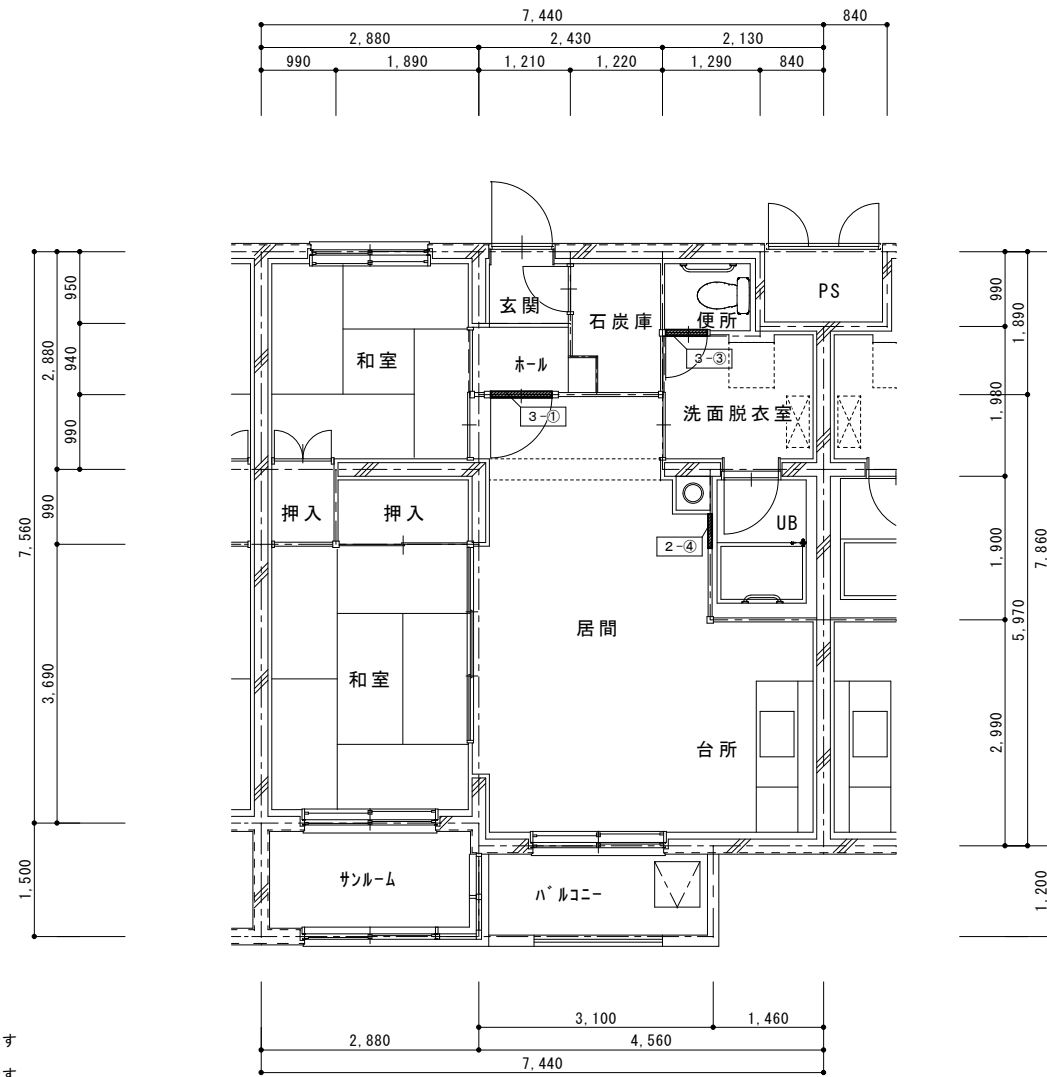
帯広市緑ヶ丘1条通5丁目6-1  
1級建築士登録事務所(+)107  
1級建築士登録番号(275038)  
1級建築士 坂口剛

日付 令和5年1月  
核図 核図 担当 担当 製図

工事名 北郊団地個別改善工事(その2)  
図面名 撤去・改修平面詳細図(R-2号棟 1LDK-B)

A-207  
A3 1:100

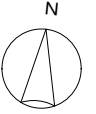
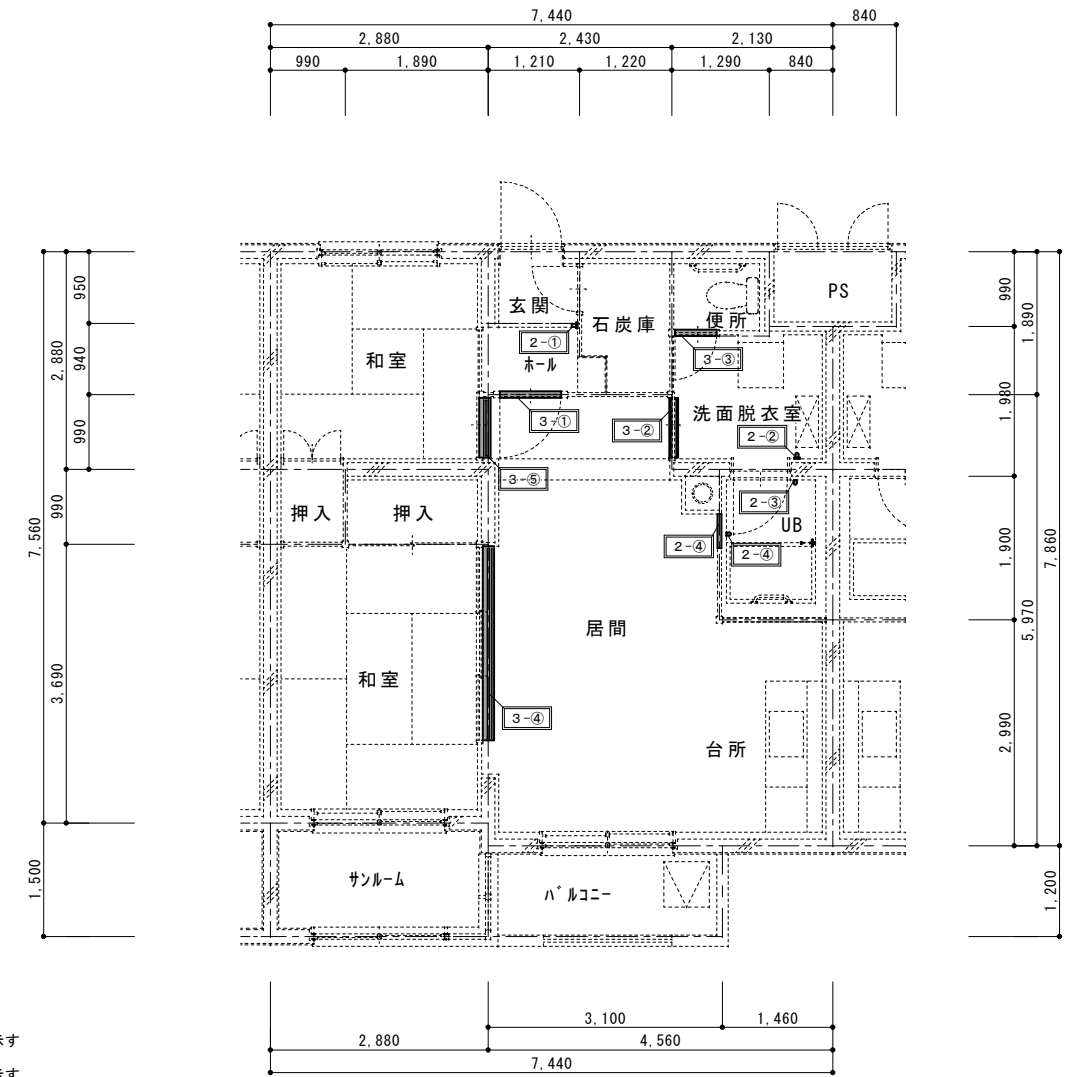
改修前



凡例  
 番号-○ 改修番号を示す  
 撤去部分を示す

撤去平面詳細図 (R-2号棟 2LDK) S=1:100

改修後

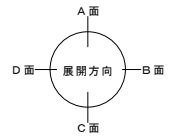


凡例  
 番号-○ 改修番号を示す  
 新設部分を示す  
 新設を示す  
 既存のままを示す

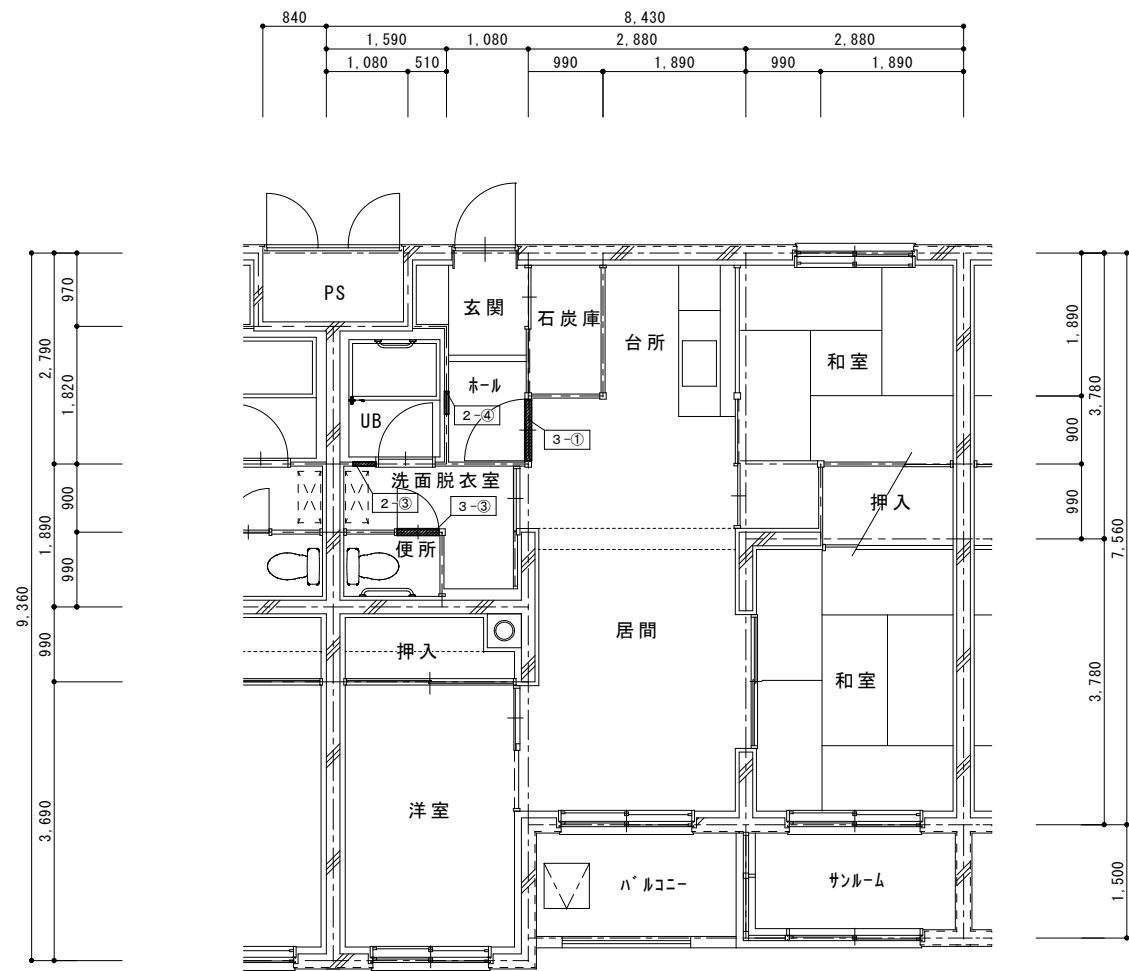
改修平面詳細図 (R-2号棟 2LDK) S=1:100

■R-2号棟 (2LDK) 住戸共通 改修方法 ■

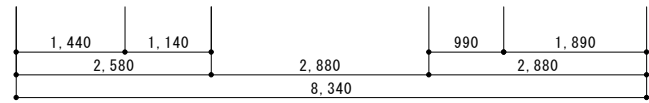
改修番号	改修項目	撤去内容	新設内容・仕様・規格・形状	詳細図面番号
2-①	玄関 手摺新設		手摺新設: 縦1型 樹脂被覆製 φ34 L=600 (芯材 ステンレス鋼管), 手摺下地新設: トド松集成材 t=20 100*1,000 WUC	A-217
2-②	洗面脱衣室 (浴室出入り用) 手摺新設		手摺新設: 縦1型 樹脂被覆製 φ34 L=600 (芯材 ステンレス鋼管), 手摺下地新設: トド松集成材 t=20 100*1,000 WUC	A-217
2-③	浴室 (浴室出入り用) 手摺新設		手摺新設: 縦1型 樹脂被覆製 φ34 L=600 (芯材 ステンレス鋼管), ケミカルアンカー M8ボルト新設	A-217
2-④	浴室 (浴槽まぎ用) 手摺新設	居間壁仕上り一部撤去: 化粧合板 t=4	手摺新設: 縦1型 樹脂被覆製 φ34 L=600 (芯材 ステンレス鋼管), 居間壁仕上り一部新設: 化粧合板 t=4 手摺木下地新設: 75*120*110	A-217
3-①	玄関ホール~居間	木製建具枠 敷居部撤去	段差解消材新設: 7M製t=2.0 W=120*810 フラットレライフ, 既存建具隙間ブラシ新設	A-219
3-②	居間~洗面脱衣室		段差解消材新設: 両側ステンレス製t=1.5 W=80*825, W=80*825 段差解消材下地7mm合板t=9一部新設	A-220
3-③	洗面脱衣室~便所	木製建具枠 敷居部撤去	段差解消材新設: 7M製t=2.0 W=120*550 フラットレライフ	A-220
3-④	居間~和室 (6帖)		段差解消材新設: 居間側のみ7mm集製材 W=2,585 D=100, H=25 WUC	A-221
3-⑤	居間~和室 (4.5帖)		段差解消材新設: 居間側のみ7mm集製材 W=790, D=100, H=25 WUC	A-221



改修前

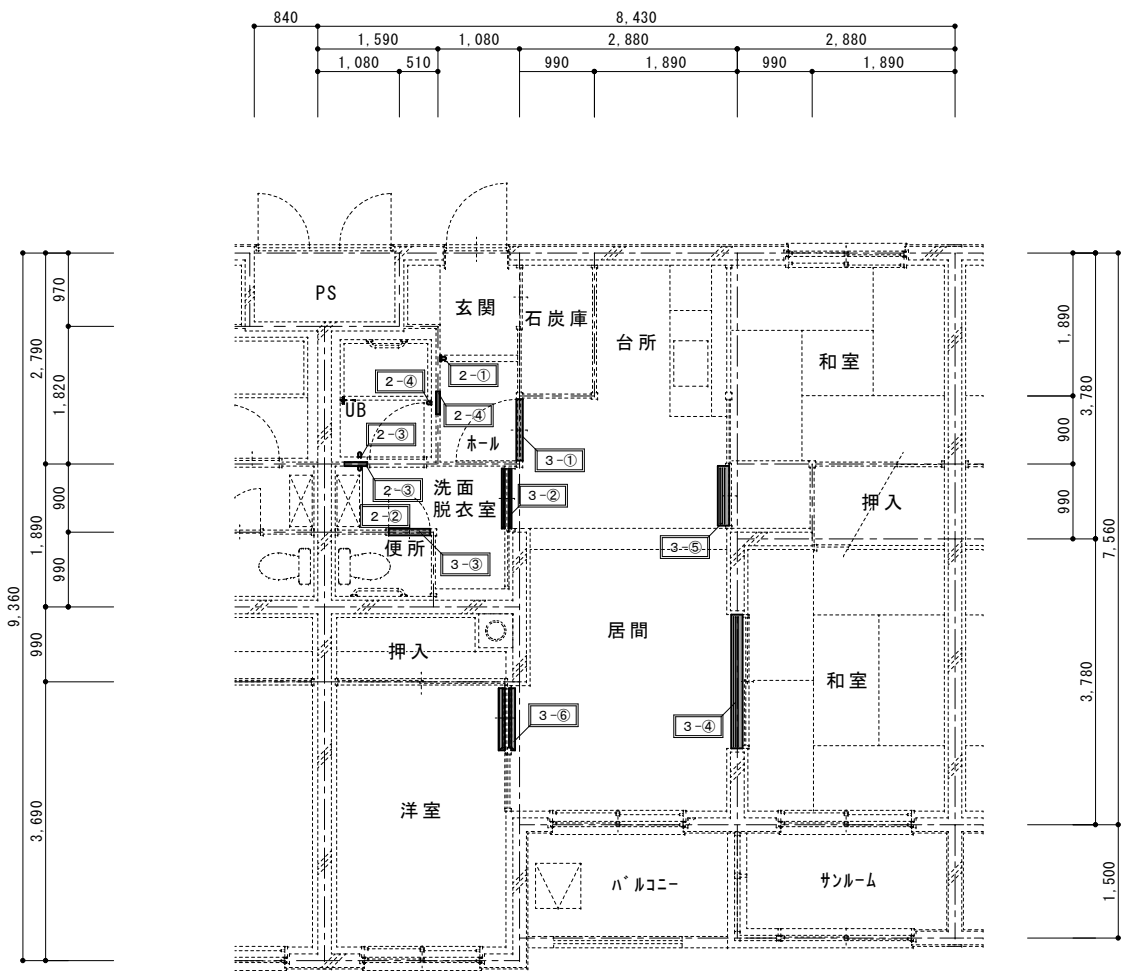


- 凡例
- 改修番号を示す
  - 撤去部分を示す

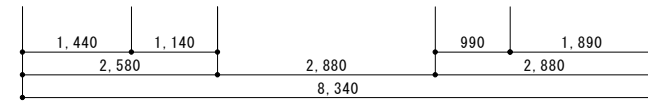


撤去平面詳細図 (R-2号棟 3LDK) S:1:100

改修後



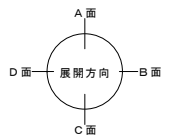
- 凡例
- 改修番号を示す
  - 新設部分を示す
  - 新設を示す
  - ..... 既存のままを示す



改修平面詳細図 (R-2号棟 3LDK) S:1:100

■ R-2号棟 (3LDK) 住戸共通 改修方法 ■

改修番号	改修項目	撤去内容	新設内容・仕様・規格・形状	詳細図面番号
2-①	玄関 手摺新設		手摺新設: 縦1型 樹脂被覆製 φ34 L=600 (芯材 ステンレス鋼管), 手摺木下地新設: トド松集成材 t=20 100*1,000 WUC	A-218
2-②	洗面脱衣室 (浴室出入り用) 手摺新設	洗面脱衣室壁仕上り一部撤去: 化粧合板 t=4	手摺新設: 縦1型 樹脂被覆製 φ34 L=600 (芯材 ステンレス鋼管), 洗面脱衣室壁仕上り一部新設: 化粧合板 t=4 手摺木下地新設: 75*120*110	A-218
2-③	浴室 (浴室出入り用) 手摺新設		手摺新設: 縦1型 樹脂被覆製 φ34 L=600 (芯材 ステンレス鋼管), 手摺木下地新設: 75*120*110	A-218
2-④	浴室 (浴槽またぎ用) 手摺新設	ホール壁仕上り一部撤去: 化粧合板 t=4	手摺新設: 縦1型 樹脂被覆製 φ34 L=600 (芯材 ステンレス鋼管), ホール壁仕上り一部新設: 化粧合板 t=4 手摺木下地新設: 75*120*105	A-218
3-①	玄関ホール~居間	木製建具枠 数居部撤去	段差解消材新設: 7M製t=2.0 W=120*810 フラットタイプ, 既存建具隙間ブラシ新設	A-219
3-②	居間~洗面脱衣室		段差解消材新設: 両側ステンレス製t=1.5 W=80*790, W=80*825 段差解消材下地7mm合板t=9一部新設	A-220
3-③	洗面脱衣室~便所	木製建具枠 数居部撤去	段差解消材新設: 7M製t=2.0 W=120*550 フラットタイプ	A-220
3-④	居間~和室 (6帖)		段差解消材新設: 居間側方集製材 W=1,700, D=100, H=25 WUC	A-221
3-⑤	居間~和室 (4.5帖)		段差解消材新設: 居間側方集製材 W=860, D=100, H=25 WUC	A-221
3-⑥	居間~洋室		段差解消材新設: 両側ステンレス製t=1.5 W=80*825, W=80*825 段差解消材下地7mm合板t=9一部新設	A-221



特記

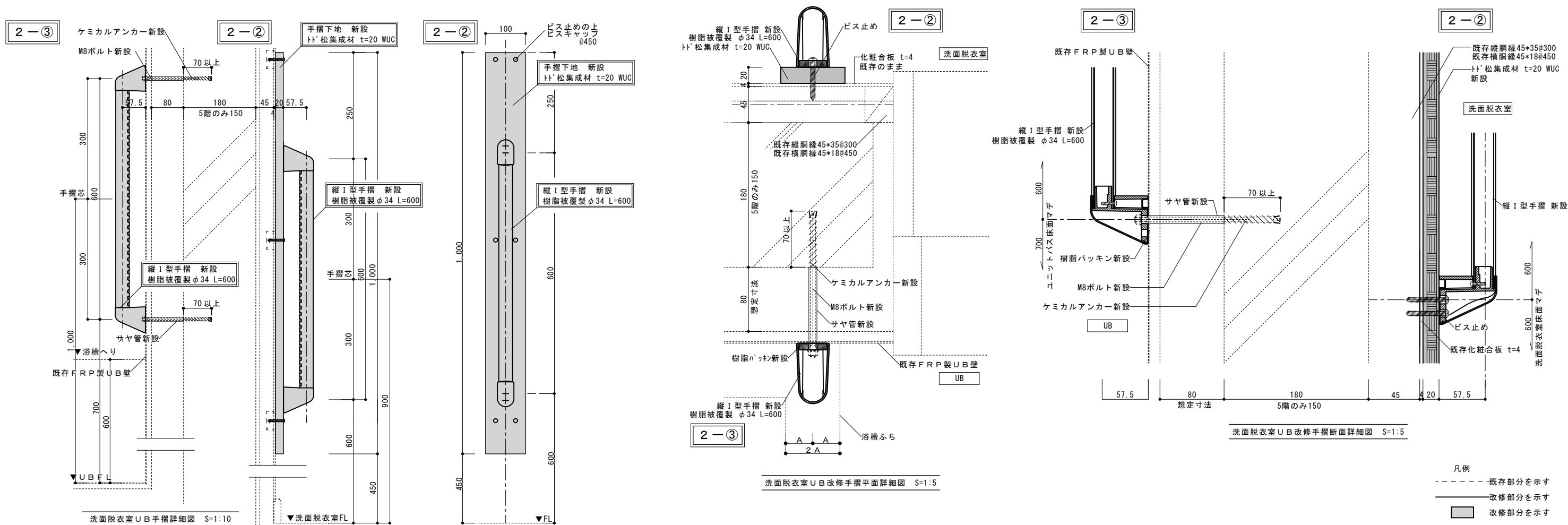
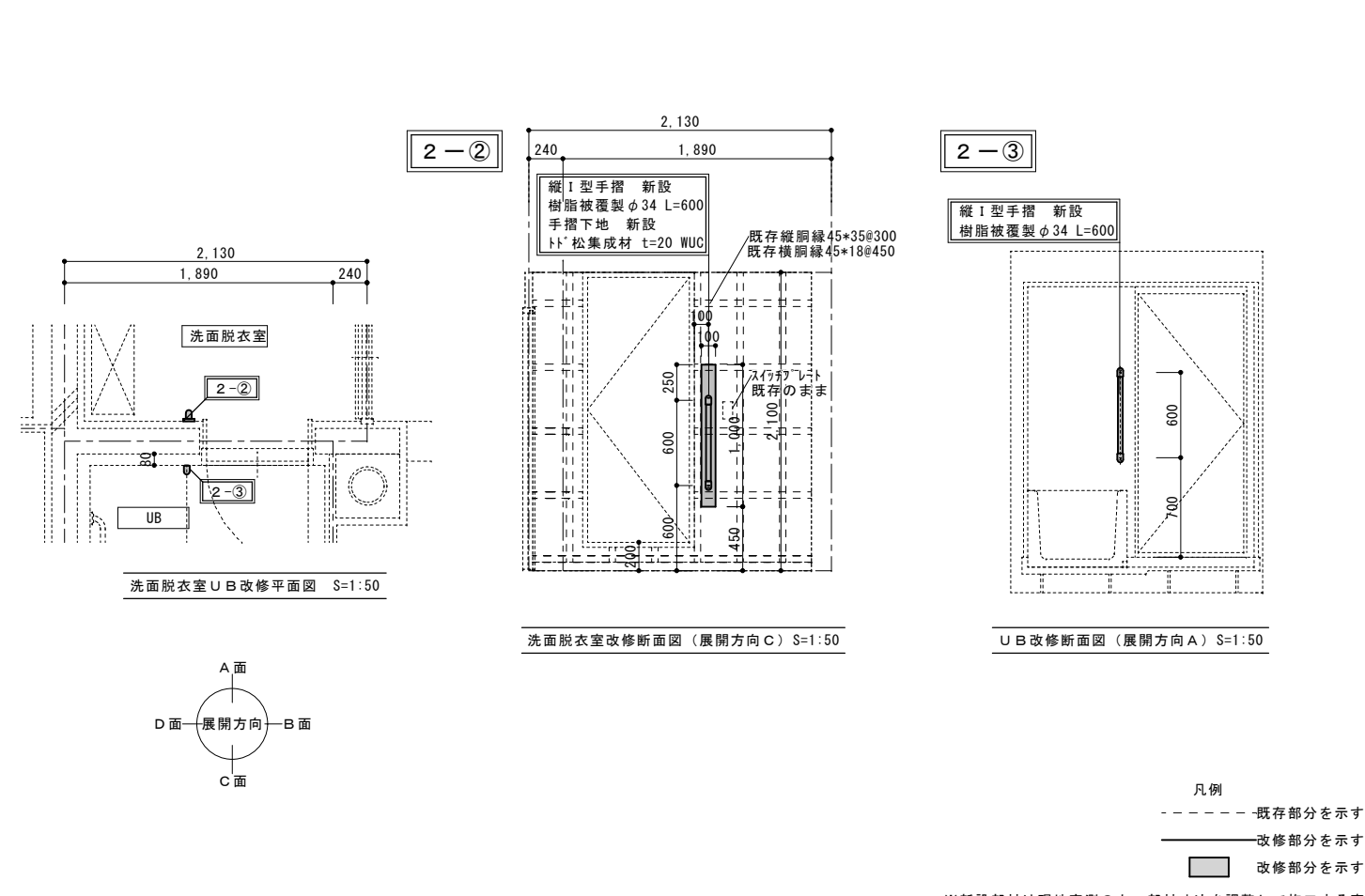
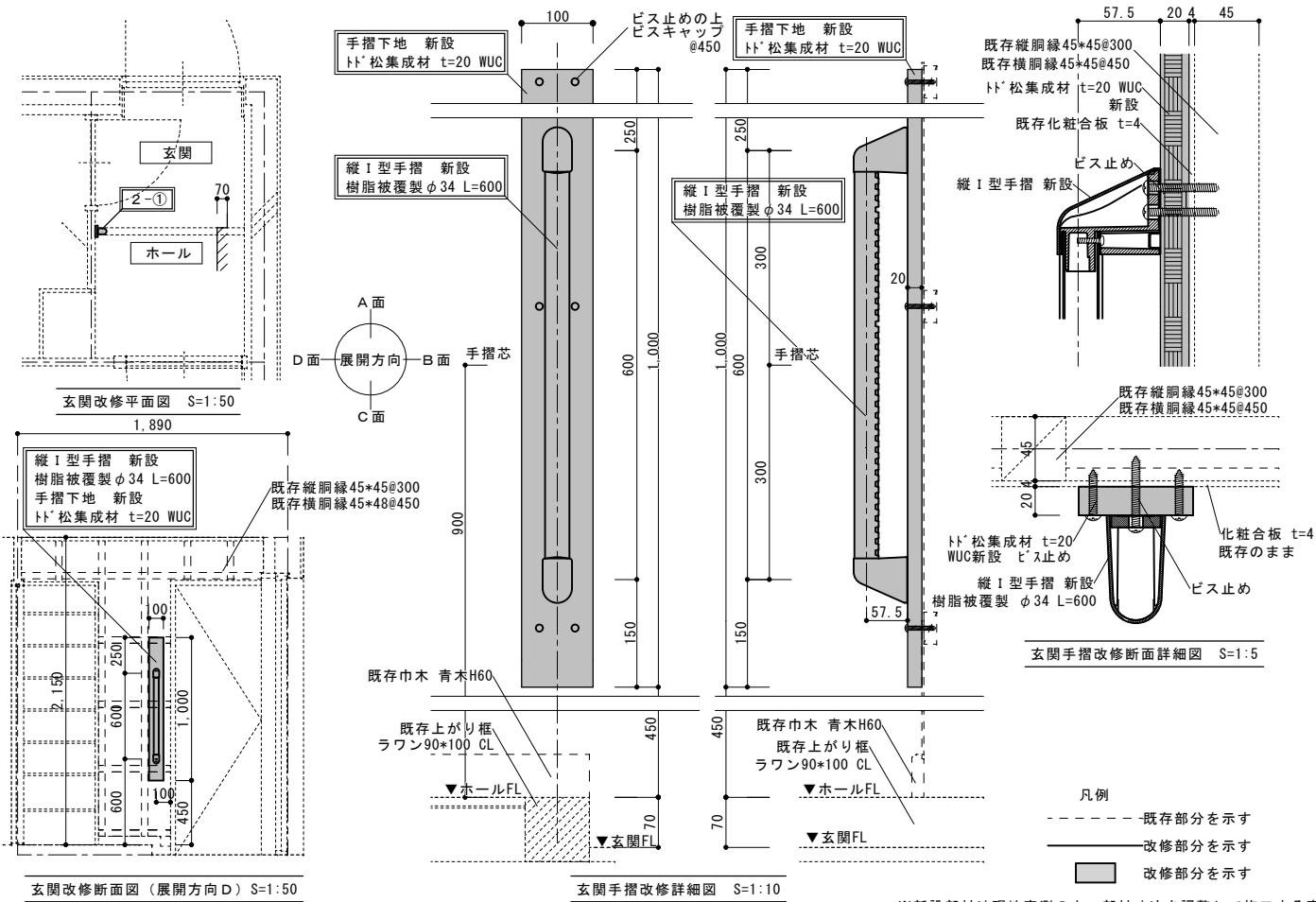
有限会社 福井設計

帯広市緑ヶ丘1条通5丁目6-1  
1級建築士登録事務所 (〒107)  
1級建築士登録番号 (275038)  
1級建築士 坂口剛

日付 令和 5年 1月  
核図 核図 担当 担当 製図

工事名 北郊団地個別改善工事 (その2)  
図面名 撤去・改修平面詳細図 (R-2号棟 3LDK)

A-209  
A3 1:100



特記

有限会社 福井設計

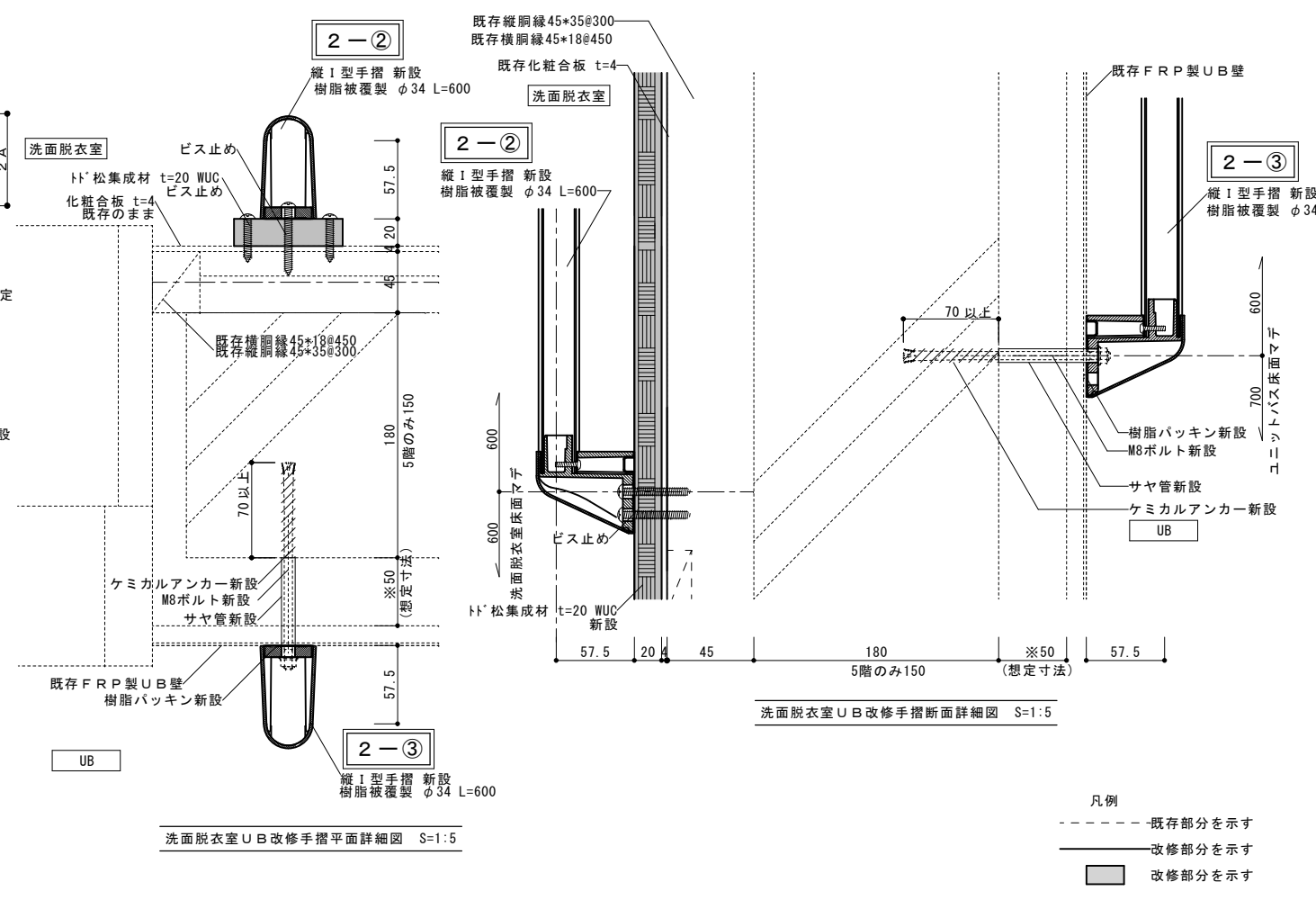
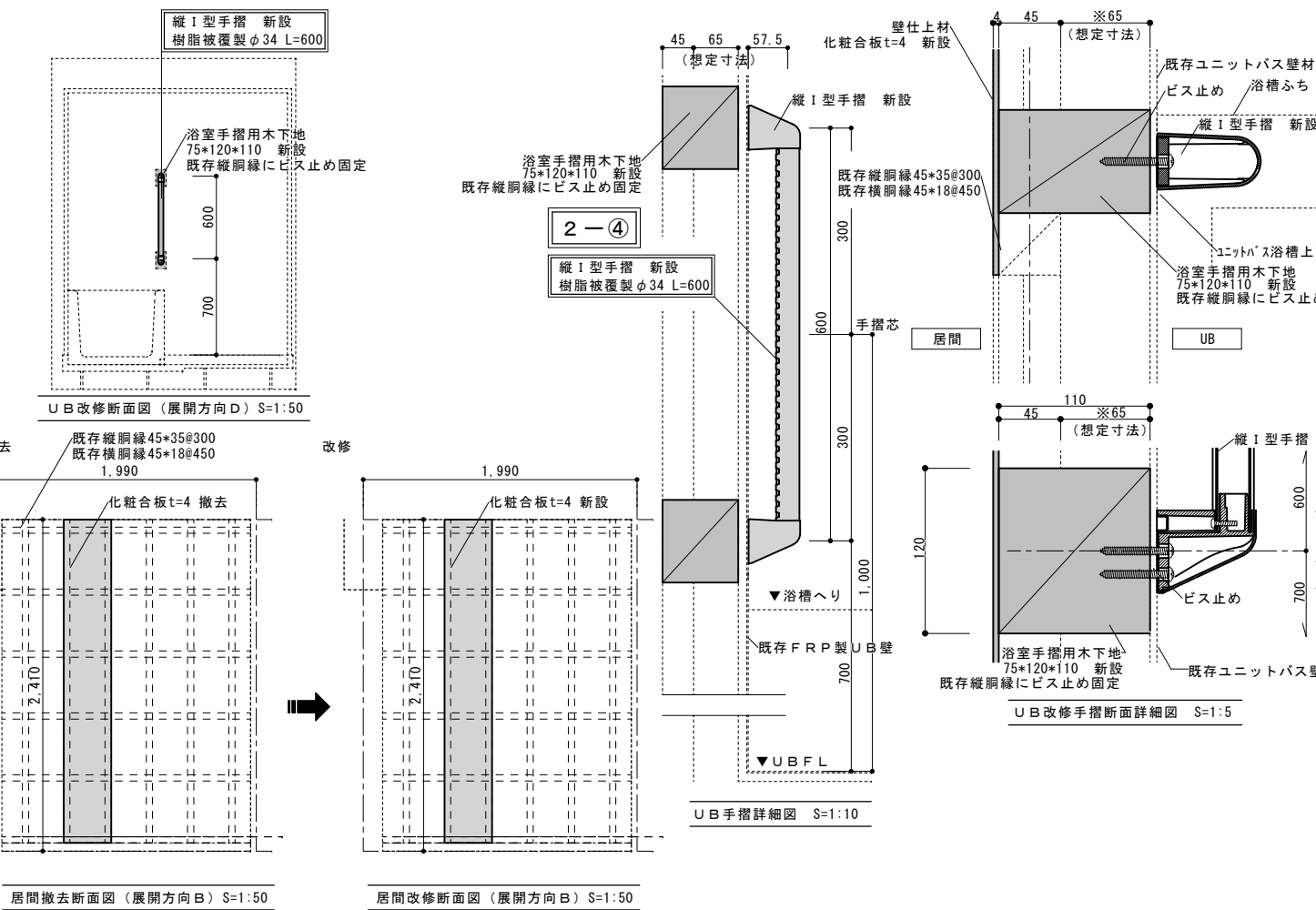
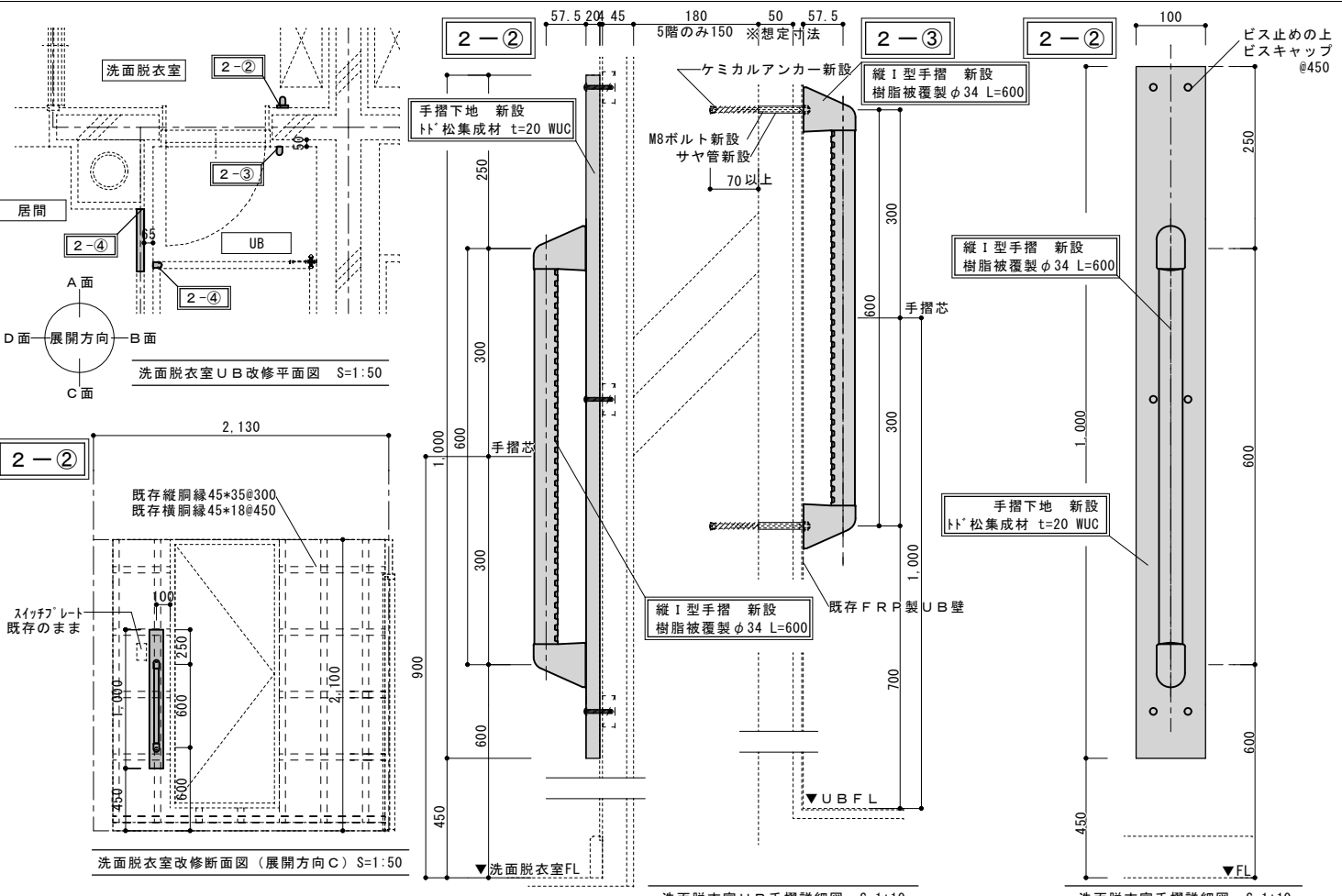
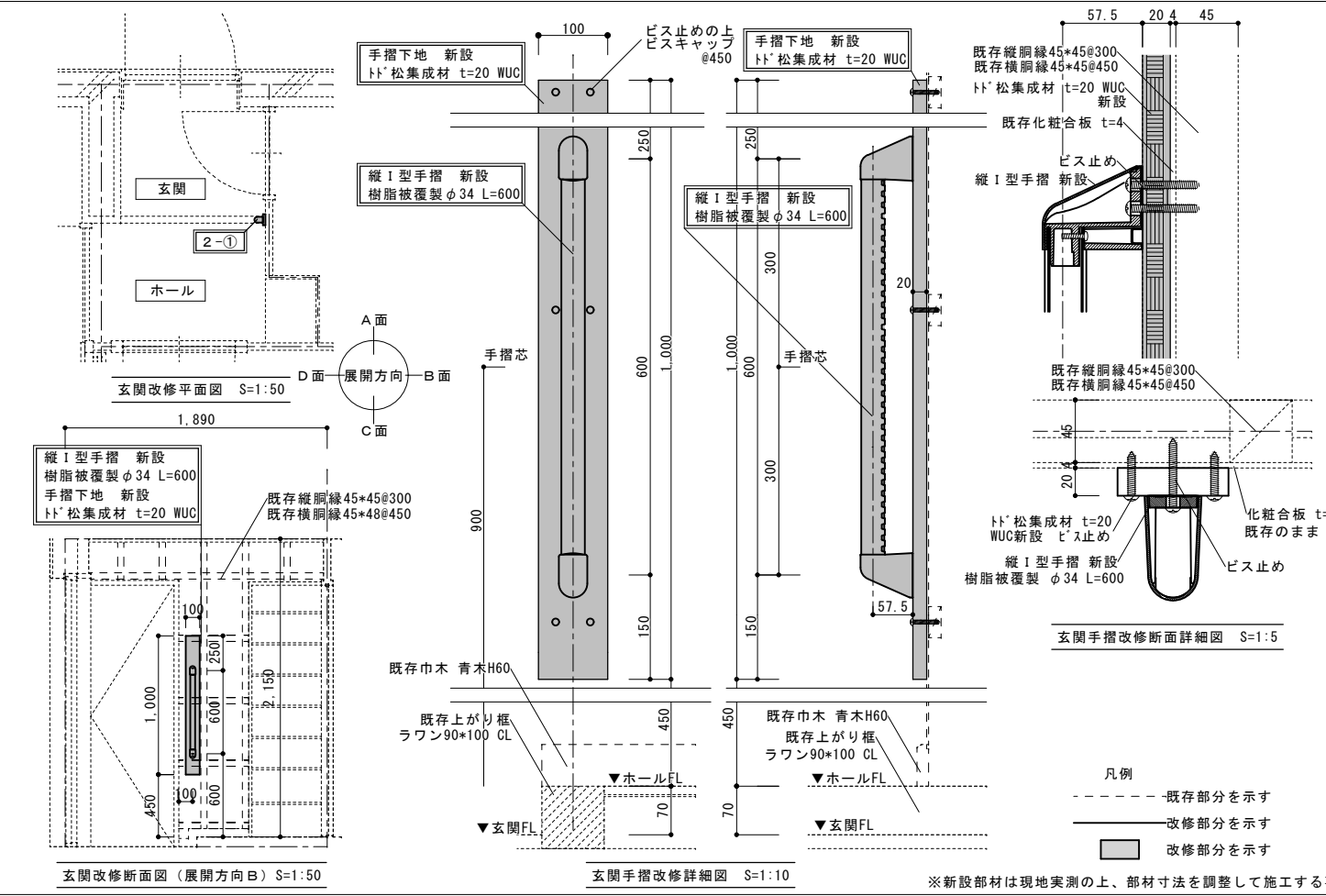
帯広市緑ヶ丘1条通5丁目6-1  
 1級建築士登録事務所(〒)107  
 1級建築士登録番号(275038)  
 1級建築士 坂口剛

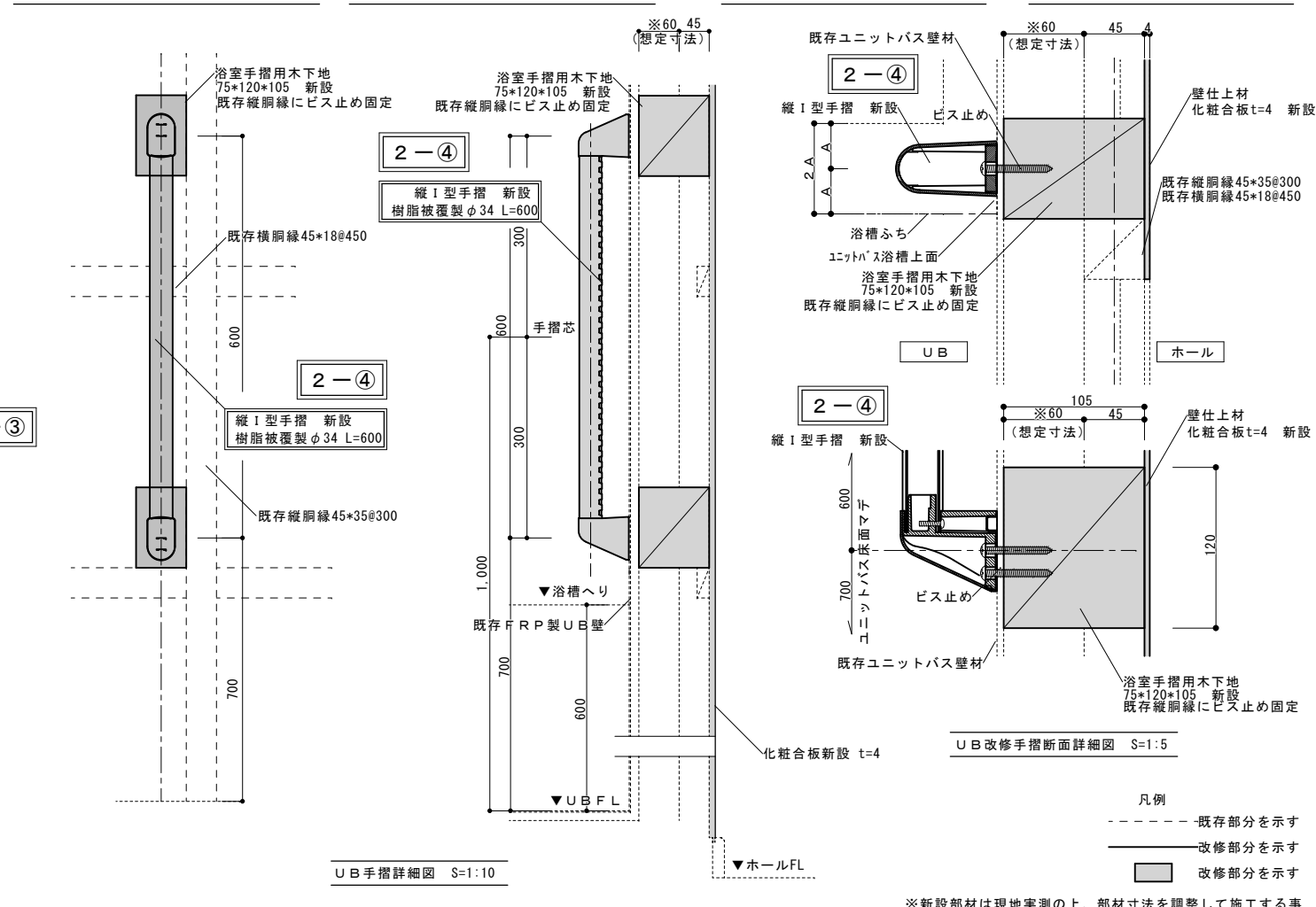
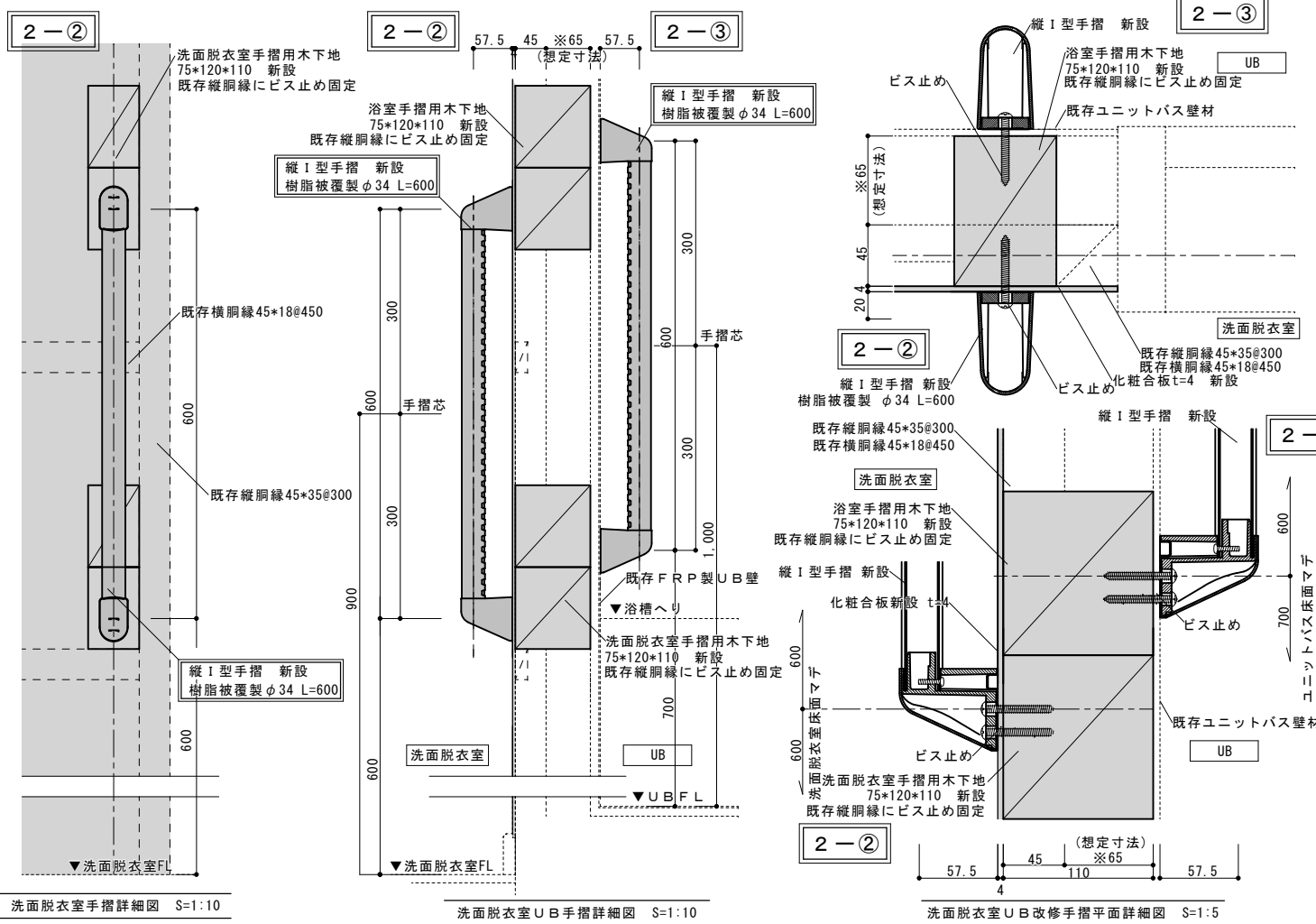
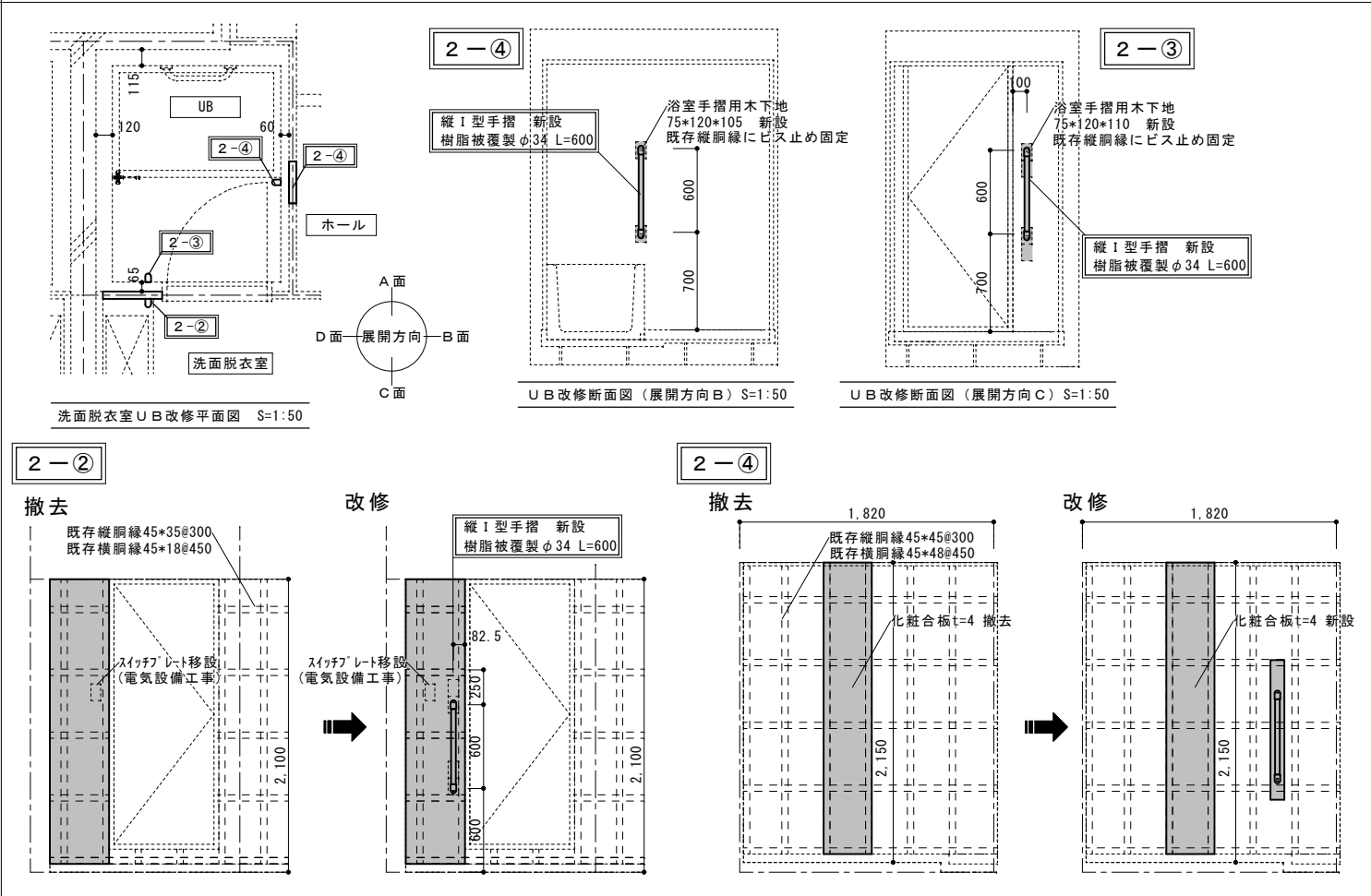
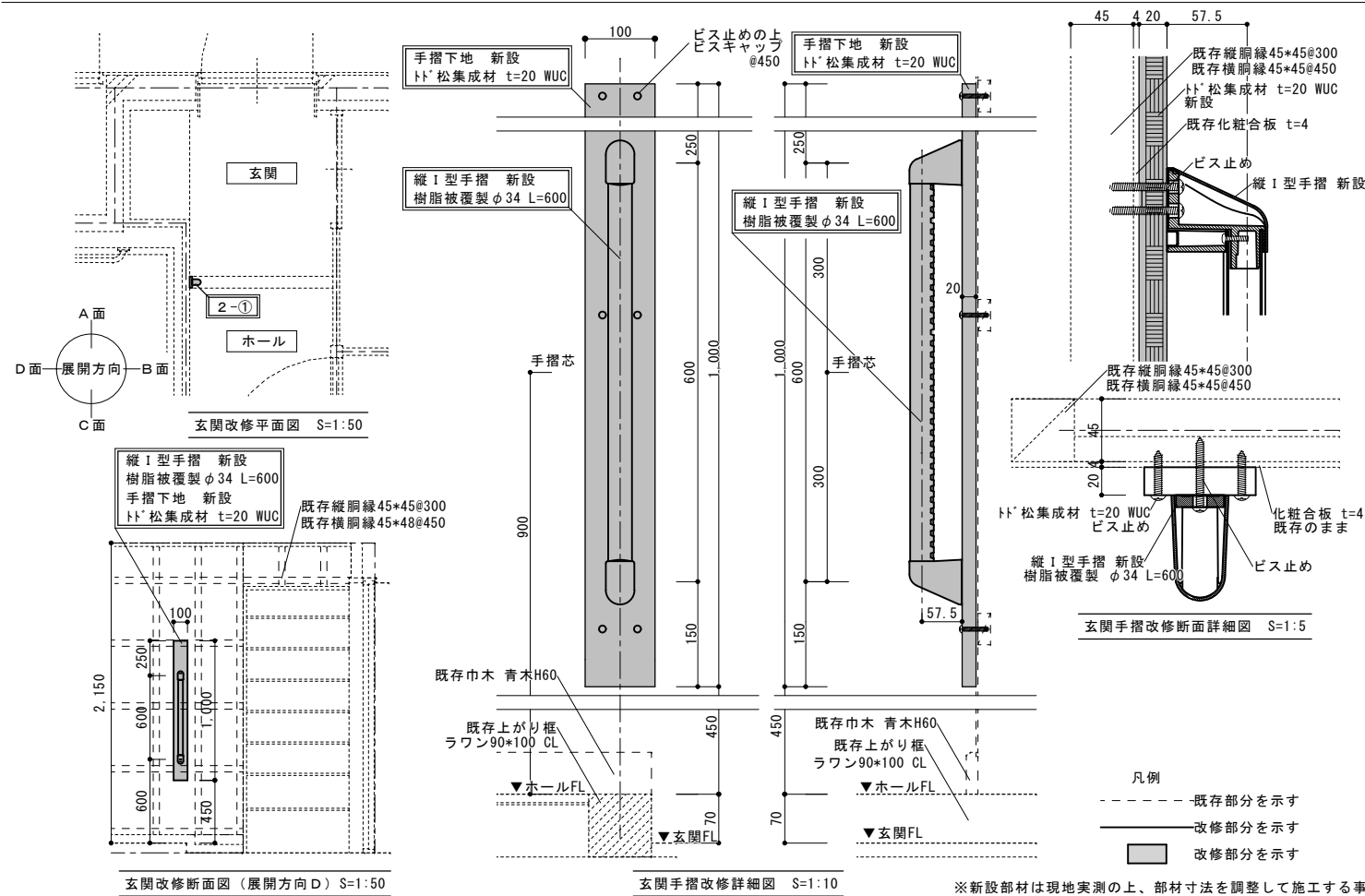
日付 令和 5年 1月  
 概図 概図 担当 担当 製図

工事名 北郊団地個別改善工事 (その2)  
 図面名 住戸内手摺詳細図-1 (R-2号棟 1LDK-A)

図番 A-215  
 縮尺 A3 1: 5, 10, 50

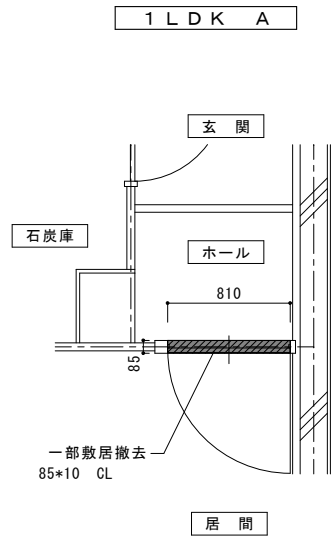






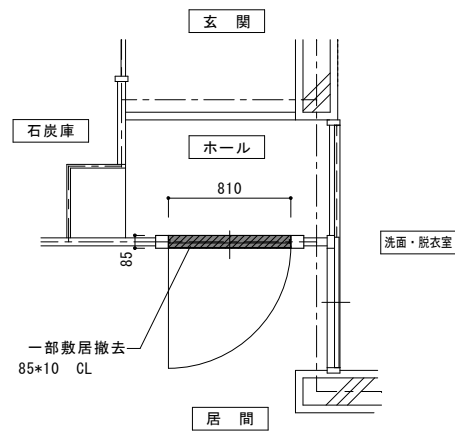


改修前



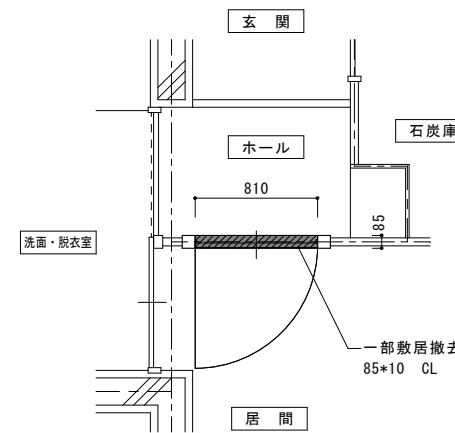
段差解消平面図 S=1:50

1 LDK B



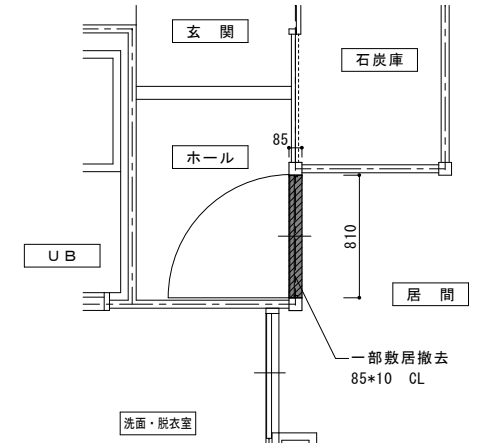
段差解消平面図 S=1:50

2 LDK



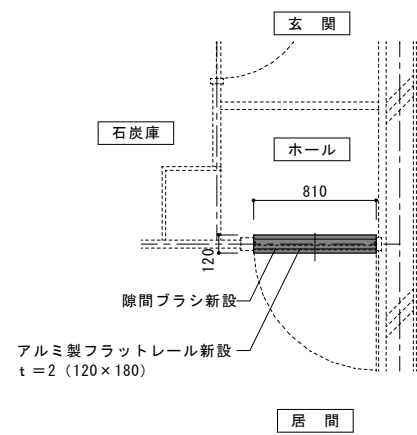
段差解消平面図 S=1:50

3 LDK

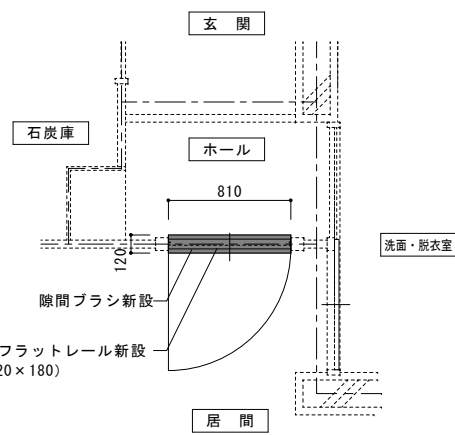


段差解消平面図 S=1:50

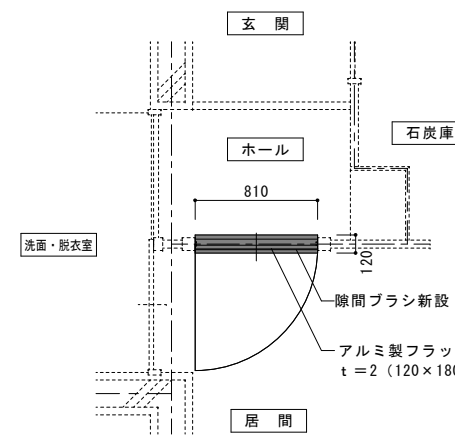
改修後



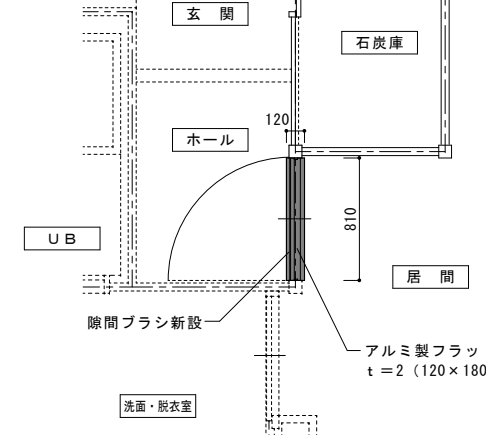
段差解消平面図 S=1:50



段差解消平面図 S=1:50

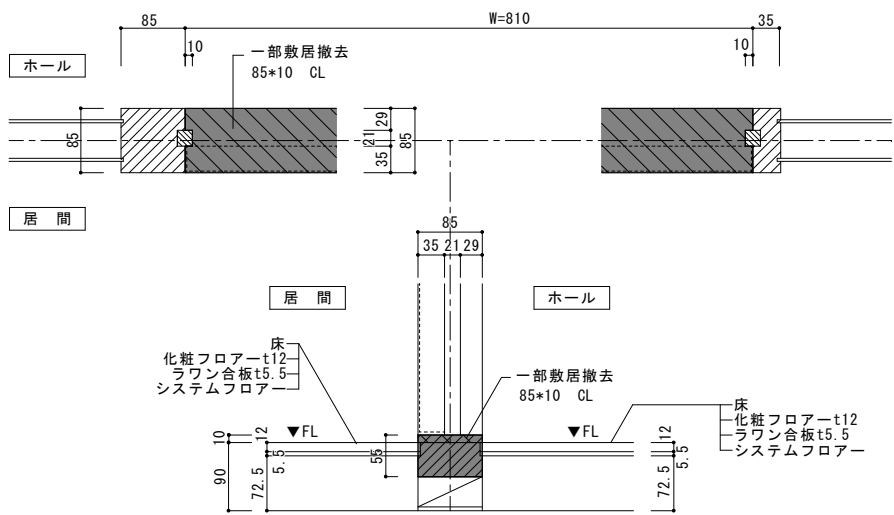


段差解消平面図 S=1:50

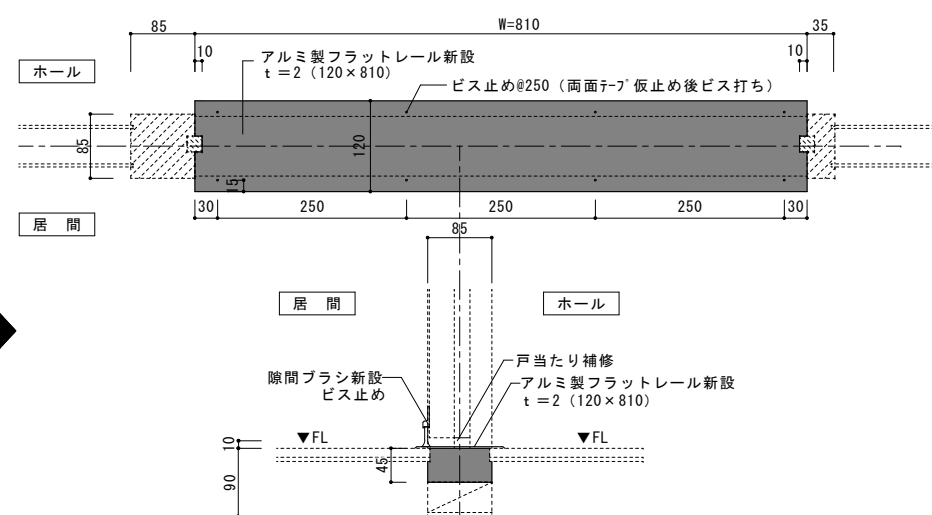


段差解消平面図 S=1:50

改修前



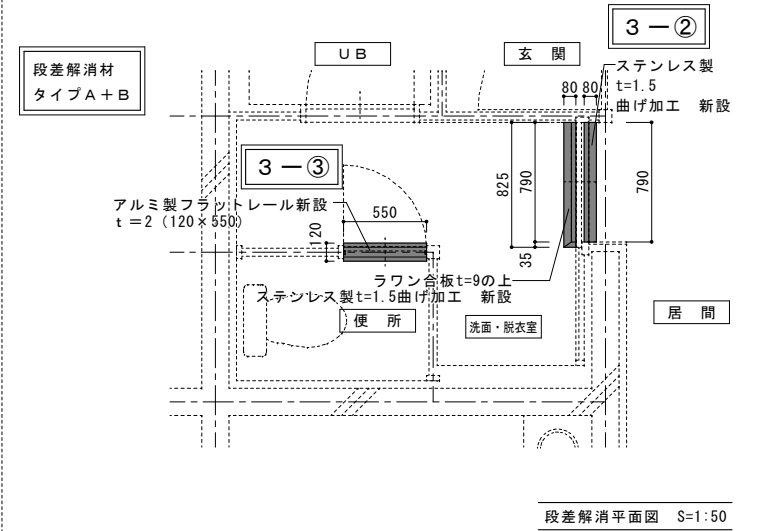
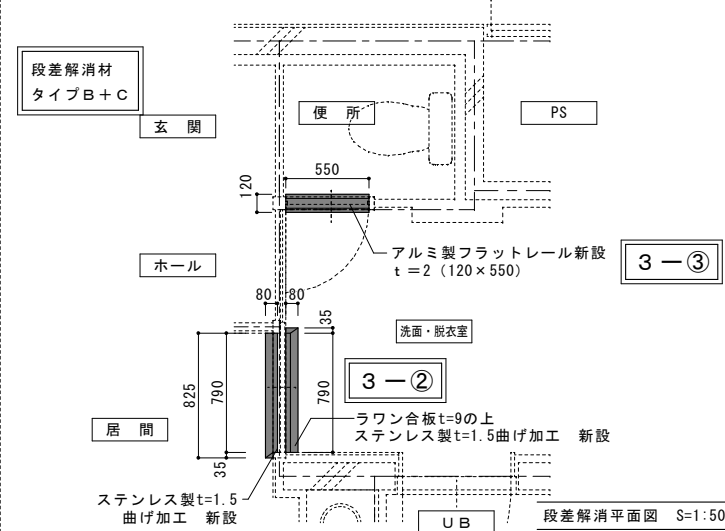
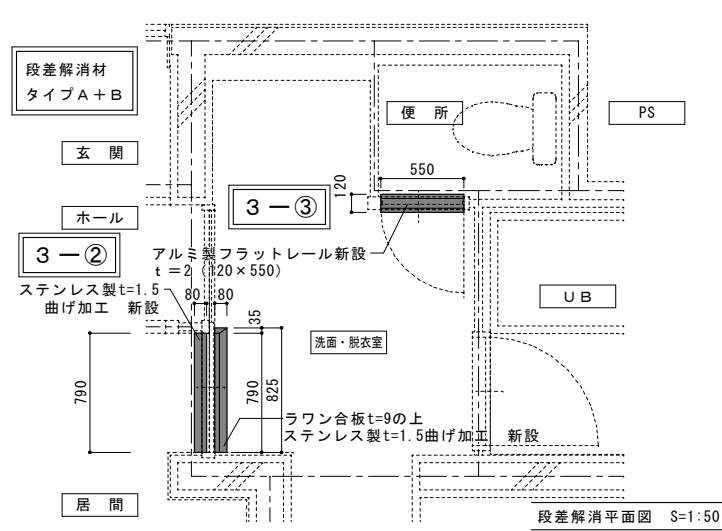
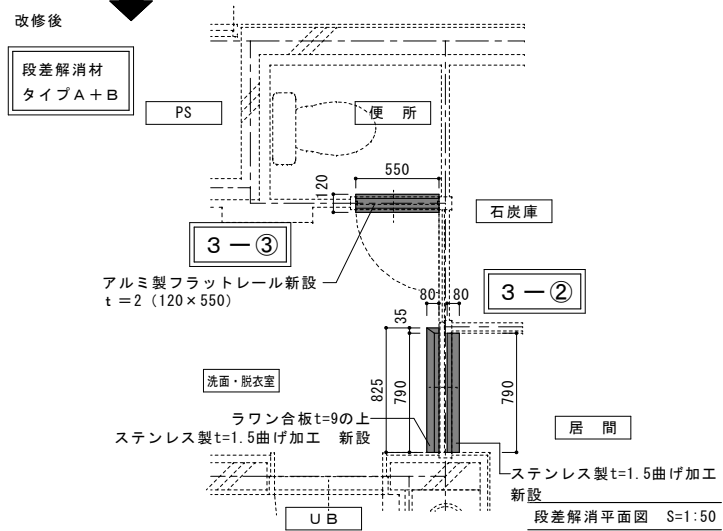
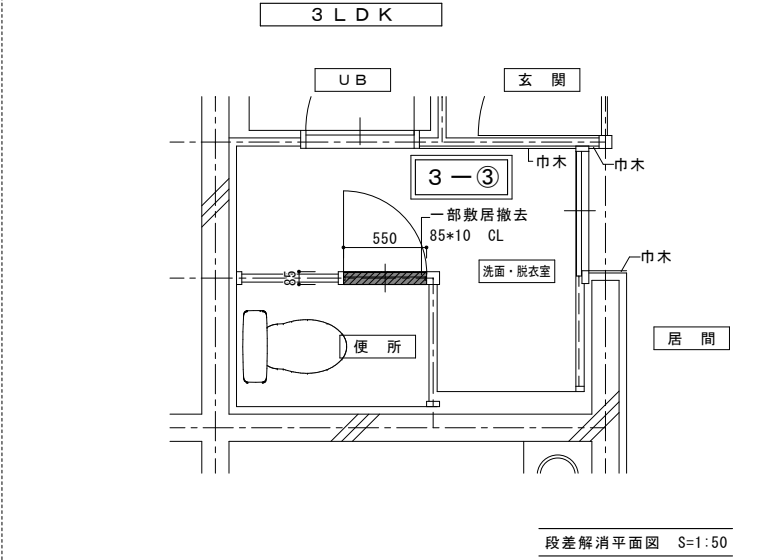
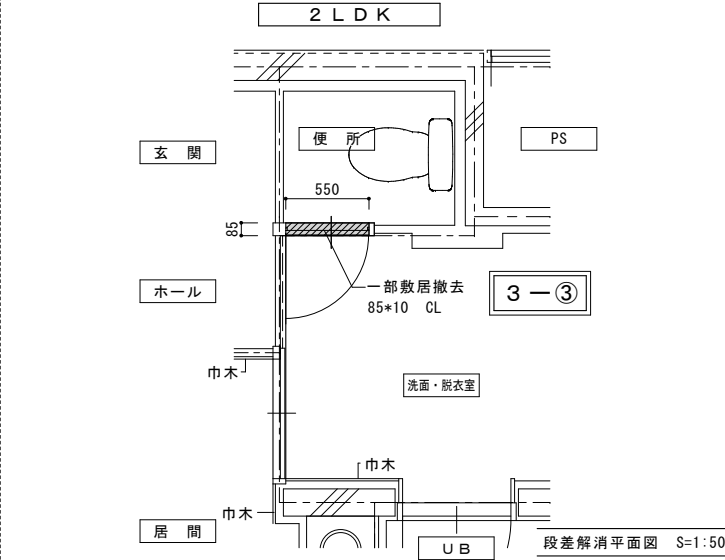
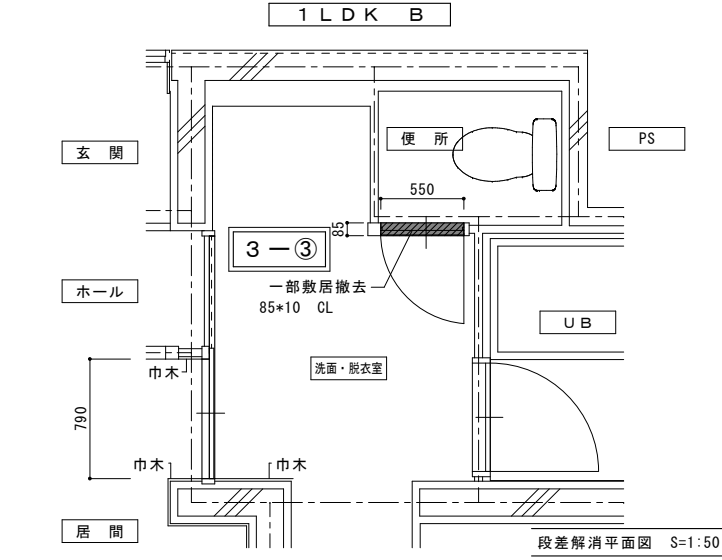
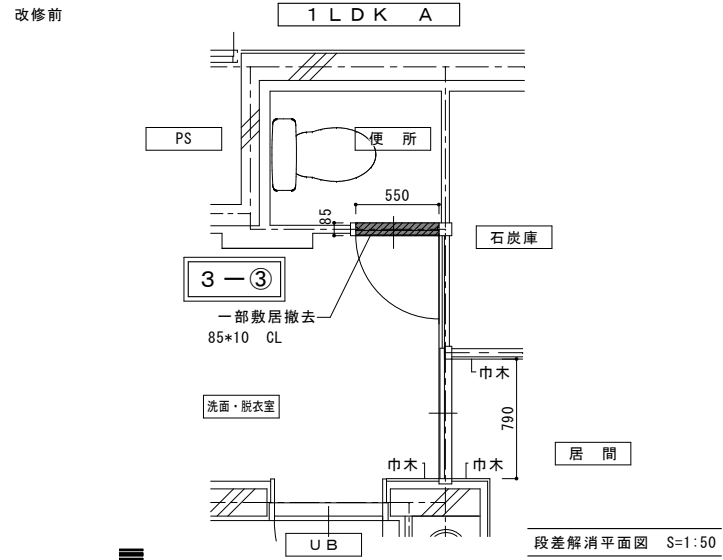
改修後



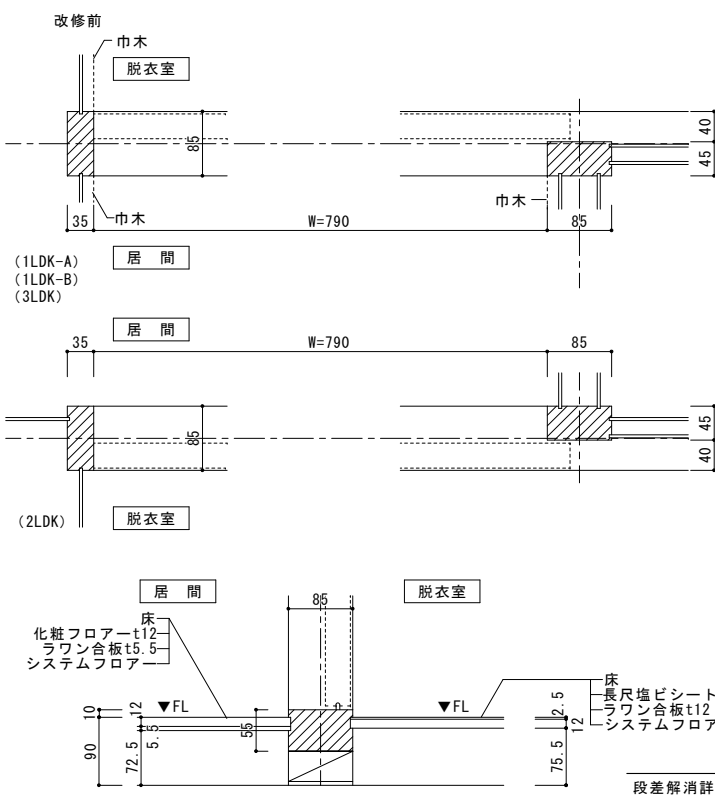
段差解消詳細図 S=1:10

- 凡例
- 既存部分を示す
  - 改修部分を示す
  - 改修部分を示す
- ※新設部材は現地実測の上、部材寸法を調整して施工する事

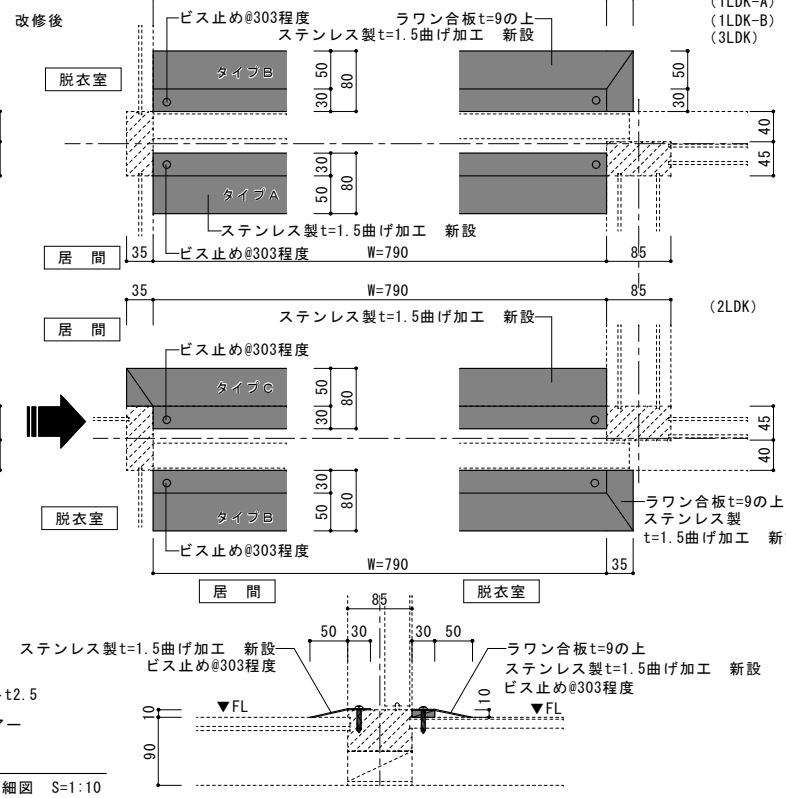
特記		有限会社 福井設計	帯広市緑ヶ丘1条通5丁目6-1 1級建築士登録事務所(十)107 1級建築士登録番号(275038) 1級建築士 坂口剛	日付 令和5年1月					工事名 北郊団地個別改善工事(その2)	図面番号 A-219
				棟図	棟図	指書	指書	製図		



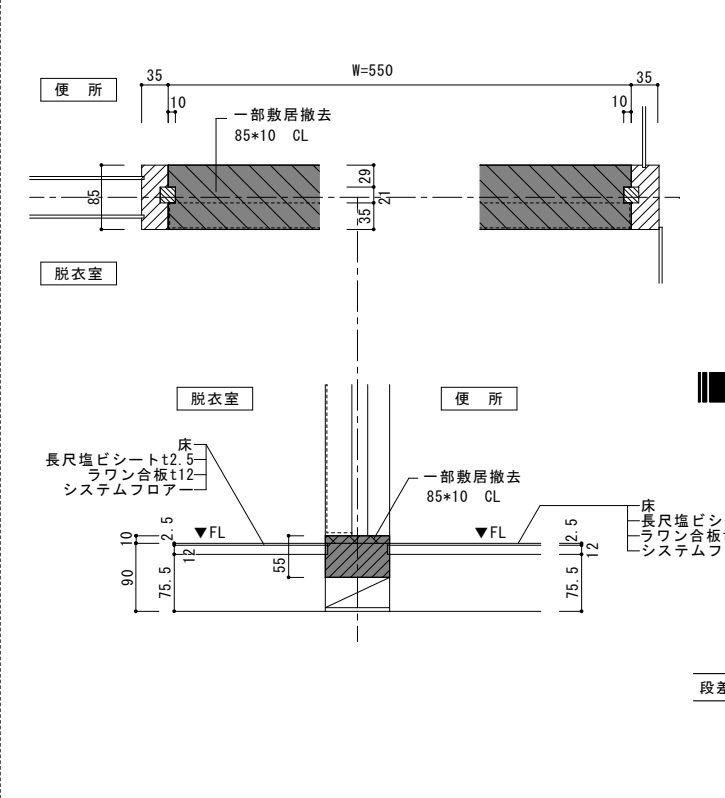
改修番号 3-② 居間～洗面脱衣室 段差解消詳細図 S=1:10



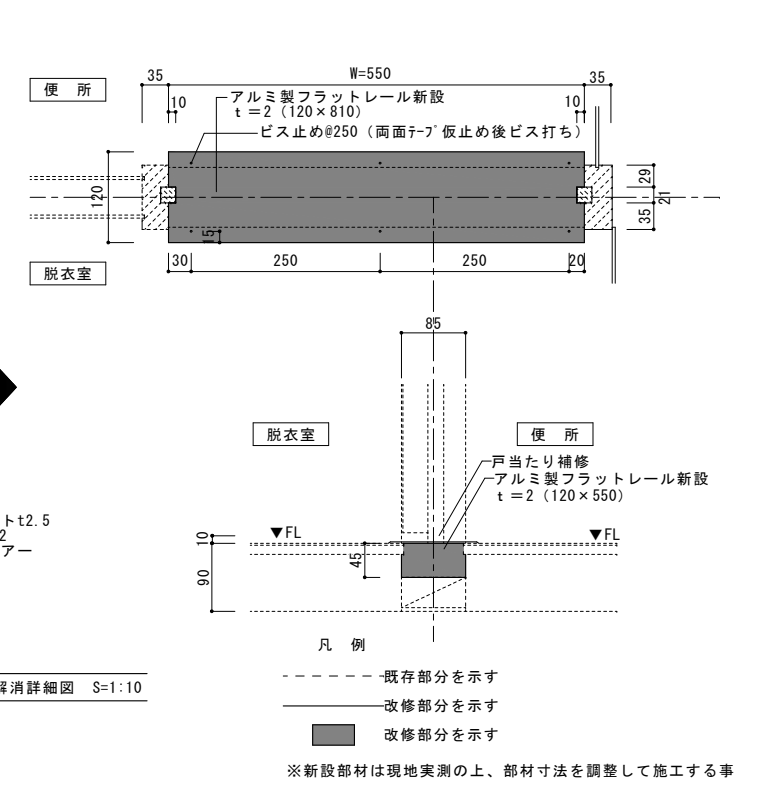
改修番号 3-③ 洗面脱衣室～便所 段差解消詳細図 S=1:10



改修番号 3-② 居間～洗面脱衣室 段差解消詳細図 S=1:10



改修番号 3-③ 洗面脱衣室～便所 段差解消詳細図 S=1:10



特記

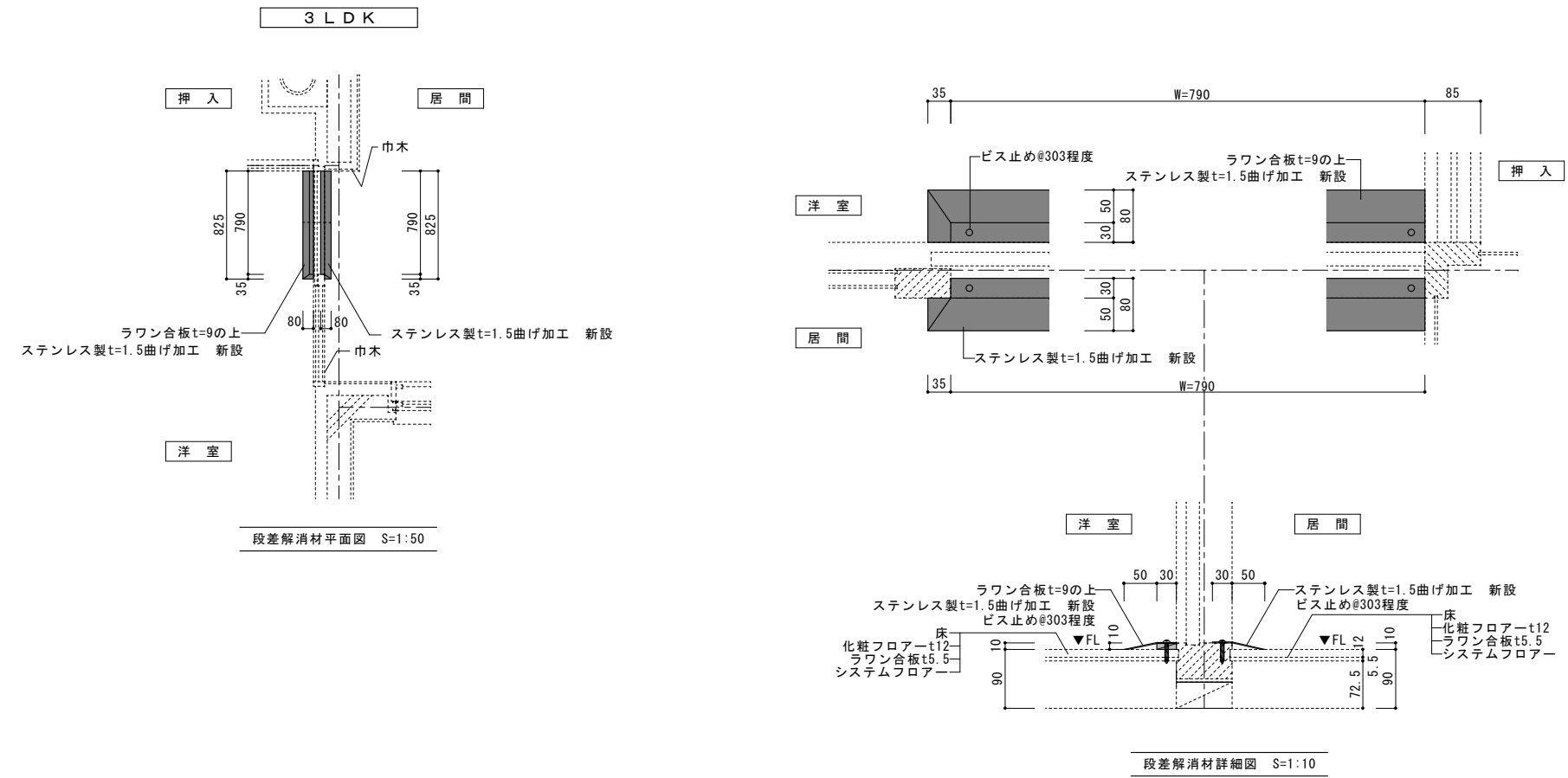
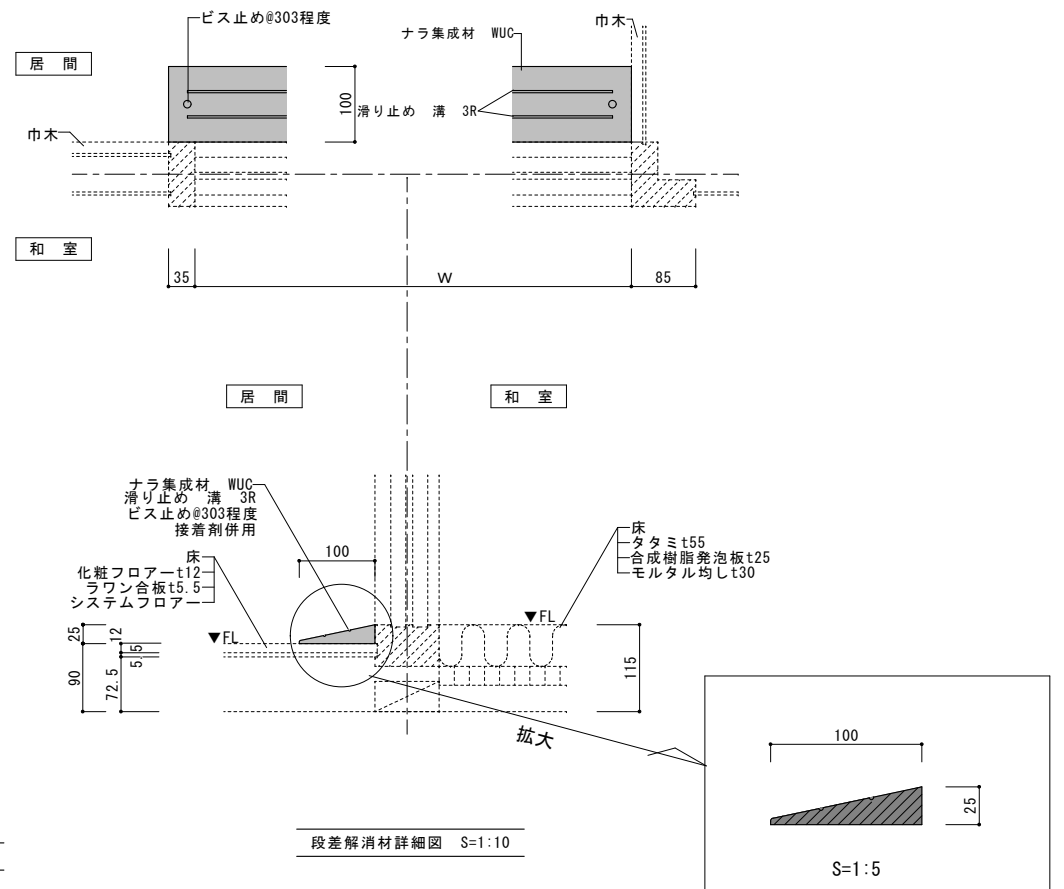
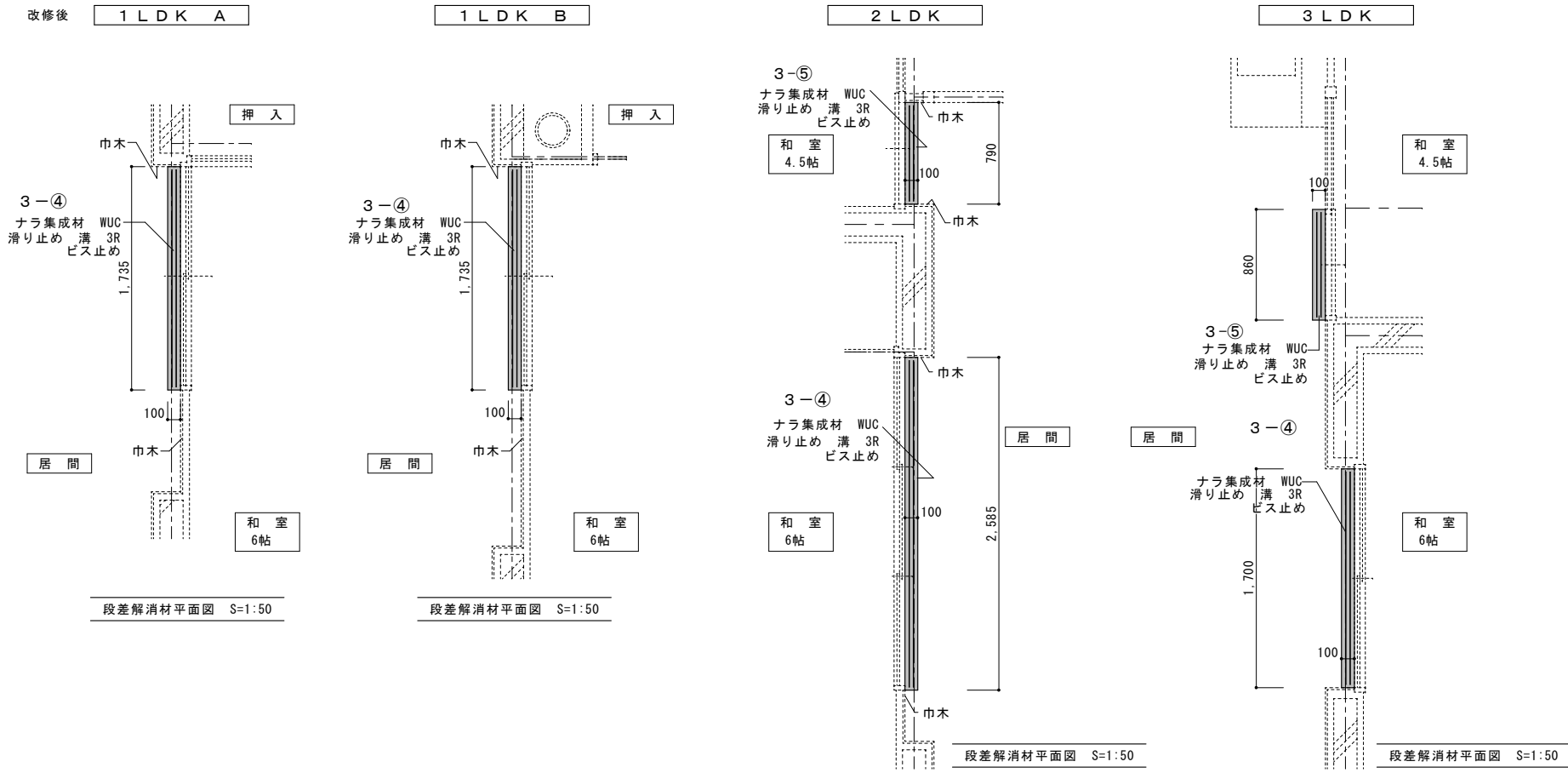
有限会社 福井設計

帯広市緑ヶ丘1条通5丁目6-1  
1級建築士登録事務所(+)107  
1級建築士登録番号(275038)  
1級建築士 坂口剛

日付 令和5年1月  
棟図 棟図 担当 担当 製図

工事名 北郊団地個別改善工事(その2)  
図面名 住戸内段差解消詳細図-2(R-2号棟)

図面番号 A-220  
縮尺 A3 1:10.50



凡例  
 - - - 既存部分を示す  
 — 改修部分を示す  
 ■ 改修部分を示す  
 ※新設部材は現地実測の上、部材寸法を調整して施工する事

特記		有限会社 福井設計	帯広市緑ヶ丘1条通5丁目6-1 1級建築士登録事務所(十)107 1級建築士登録番号(275038) 1級建築士 坂口剛	日付 令和5年1月 棟 棟 担 担 製	工事名 北郊団地個別改善工事(その2) 図面名 住戸内段差解消詳細図-3(R-2号棟)	図面番号 A-221 縮尺 A3 1:5, 10, 50
----	--	-----------	---	------------------------	--	---------------------------------

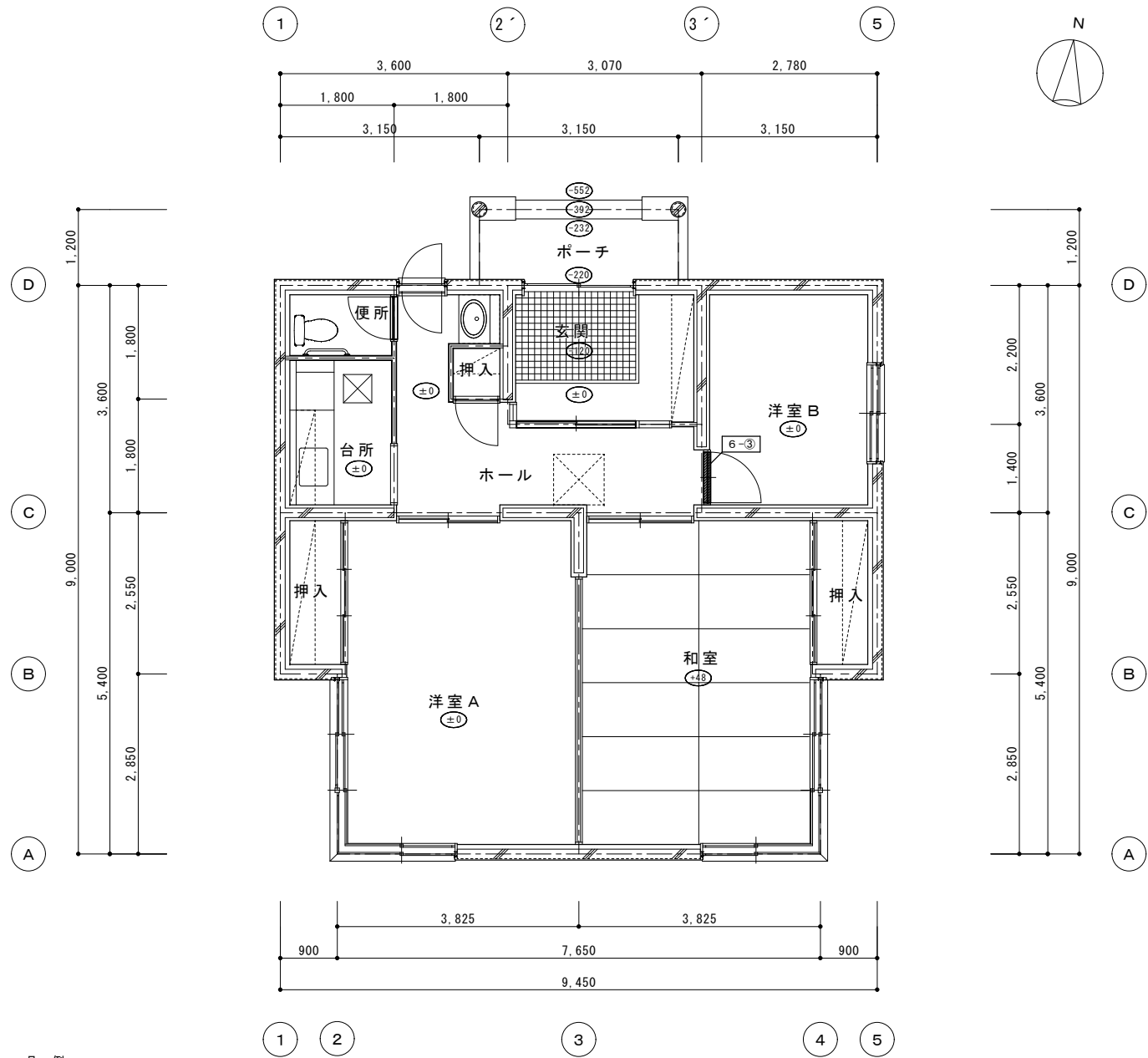
集会室 外部 仕上 表							
基礎 (既存のまま)		外 壁 (既存のまま)		屋根 (既存のまま)	軒 天 井 (既存のまま)	ポーチ	
合板型枠コンクリート打放しの上AEP (設計GL-200まで)		合板型枠コンクリート打放しの上吹付タイル		長尺カラー鉄板 t=0.35 横葺 アスファルトルーフィング 22kg	コンクリート打放しの上吹付タイル	床: コンクリートコテ仕上 A種 天井: フレキシブルボード 突付 t=4 既存のまま 樹脂被覆製手摺 φ40 φ34 新設	

集会室 内部 仕上 表												
室 名	床		巾 木		壁		天 井			備 考		
	仕 上		仕 上		仕 上		天井廻り縁		天井高			
集会室	玄 関	磁器質タイル 100角 既存のまま		ラワン CL 既存のまま		石膏ボード t=9下地 ビニールクロス貼 既存のまま		石膏ボード t=9下地 ビニールクロス貼 既存のまま		目透かし ビニールクロス巻き込み 既存のまま	2,520	下足入 既存のまま 上がり框: 集成材50*150 CL (ナラ) 既存のまま 樹脂製I型手摺 φ34 新設 段差解消材 新設
	ホ ール	コンパネ t=12下地 化粧フロアー t=12 既存のまま		ラワン CL 既存のまま		石膏ボード t=9下地 ビニールクロス貼 既存のまま		石膏ボード t=9下地 ビニールクロス貼 既存のまま		目透かし ビニールクロス巻き込み 既存のまま	2,400	掲示板900*1200 ステンレス製 既製品 公団型 レザー張 既存のまま 段差解消材 新設
	洋 室 A	コンパネ t=12下地 化粧フロアー t=12 既存のまま		ラワン CL 既存のまま		石膏ボード t=9下地 ビニールクロス貼 既存のまま		石膏ボード t=9下地 ビニールクロス貼 既存のまま		目透かし ビニールクロス巻き込み 既存のまま	2,135~2,400	段差解消材 新設
	洋 室 B	コンパネ t=12下地 化粧フロアー t=12 既存のまま		ラワン CL 既存のまま		石膏ボード t=9下地 ビニールクロス貼 既存のまま		石膏ボード t=9下地 ビニールクロス貼 既存のまま		目透かし ビニールクロス巻き込み 既存のまま	2,400	段差解消材 新設
	和 室	タタミ敷き t=12 既存のまま		タタミ寄 既存のまま		石膏ボード t=9下地 ビニールクロス貼 既存のまま		石膏ボード t=9下地 ビニールクロス貼 既存のまま		目透かし ビニールクロス巻き込み 既存のまま	2,087~2,352	段差解消材 新設
	台所(3LDK)	コンパネ t=12下地 化粧フロアー t=12 既存のまま		青木 既存のまま		石膏ボード t=9下地 ビニールクロス貼 既存のまま		石膏ボード t=9下地 ビニールクロス貼 既存のまま		塩ビ既製品 既存のまま	2,400	流し台L=1,500 (大型ゴミ収納付) 吊戸棚L=1,500 吊ボルト2カ所止め (全ネジボルトステンレス製) 床下改め口 (600*600) ガス台L=600 (バックガード付) 既製品 ライニング水切 (アルミ既製品) すべて既存のまま
	便 所	コンパネ t=12下地 長尺塩ビシート t=2.5 既存のまま		青木 既存のまま		石膏ボード t=9下地 ビニールクロス貼 流し前 100角タイル貼り 既存のまま		石膏ボード t=9下地 ビニールクロス貼 既存のまま		塩ビ既製品 既存のまま	2,400	手摺 (ステンレスパイプ 32φ L=600) 天井改め口450角 すべて既存のまま
	押 入	シナ合板 t=5.5 既存のまま		雑巾摺 既存のまま		シナ合板 t=4 既存のまま		石膏ボード t=9 既存のまま		青木 既存のまま	—	枕棚W=400 吊ボルト (全ネジボルト化粧ナット付 L=1,300) 各1カ所 9mm すべて既存のまま

凡例  
 改修箇所を示す

特記	帯広市緑ヶ丘1条通5丁目6-1 1級建築士登録事務所 (十) 107 1級建築士登録番号 (275038) 1級建築士 坂口 剛				日付 令和 5年 1月 概図 概図 担当 担当 製図					工事名 北郊団地個別改善工事 (その2)		図面番号 A-222
	図面名 仕上表(集会室)									縮尺 A3 N/S		

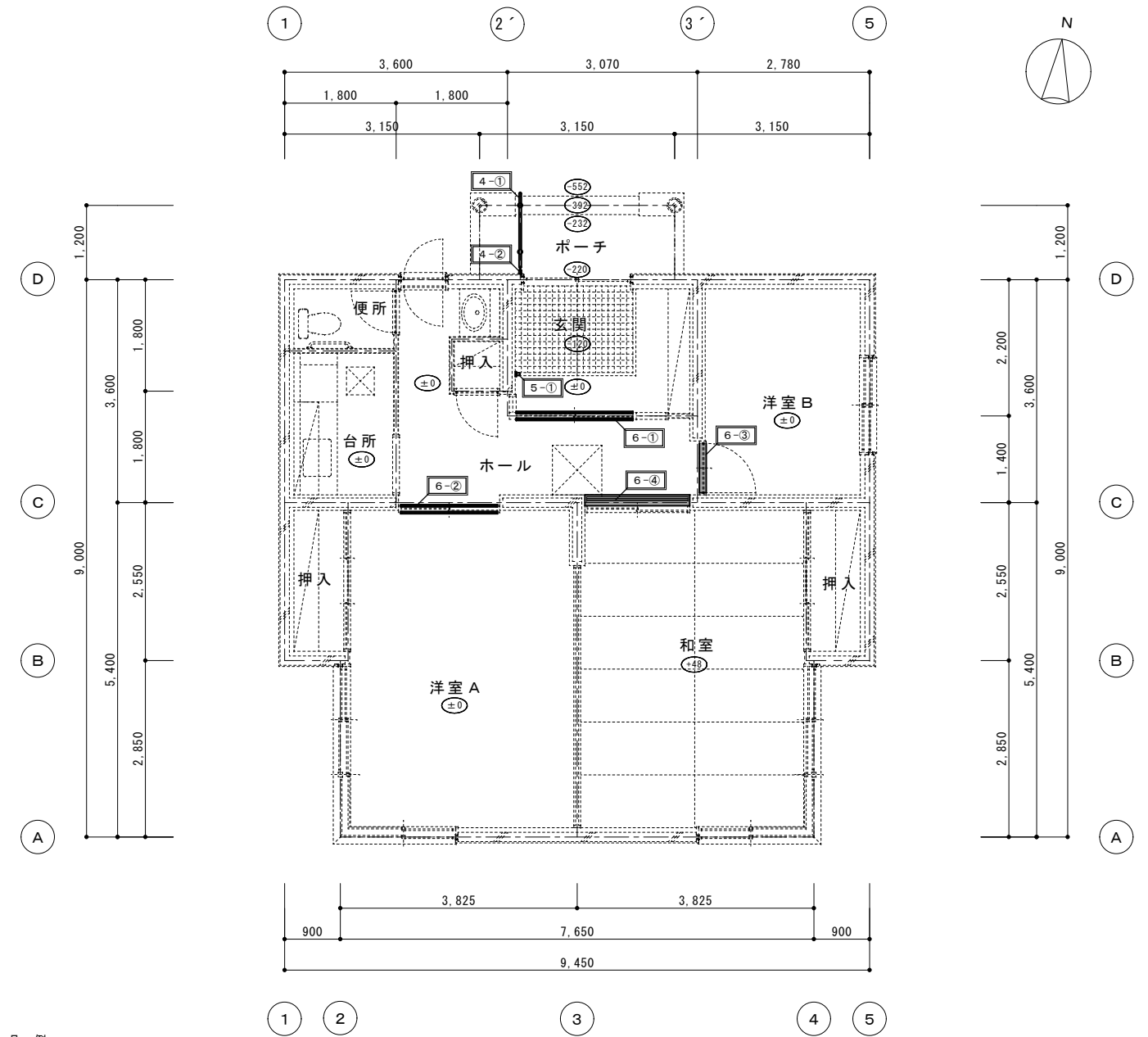
改修前



- 凡例
- 改修番号を示す
  - 撤去部分を示す

集会室平面詳細図(改修前) S=1/100

改修後



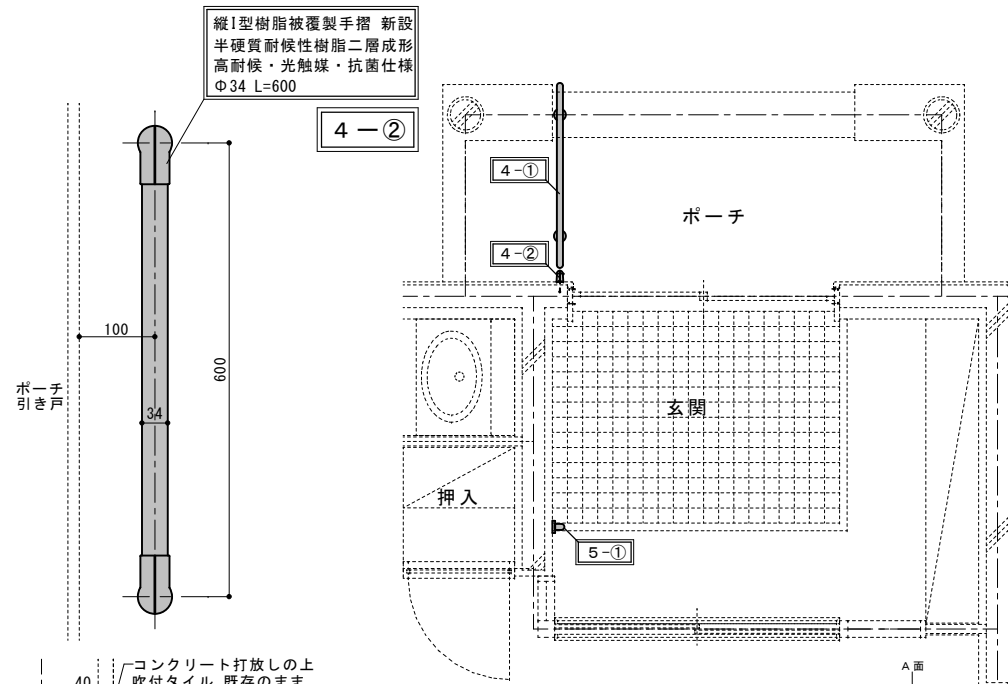
- 凡例
- 改修番号を示す
  - 新設部分を示す
  - 新設を示す
  - 既存のままを示す

集会室平面詳細図(改修後) S=1/100

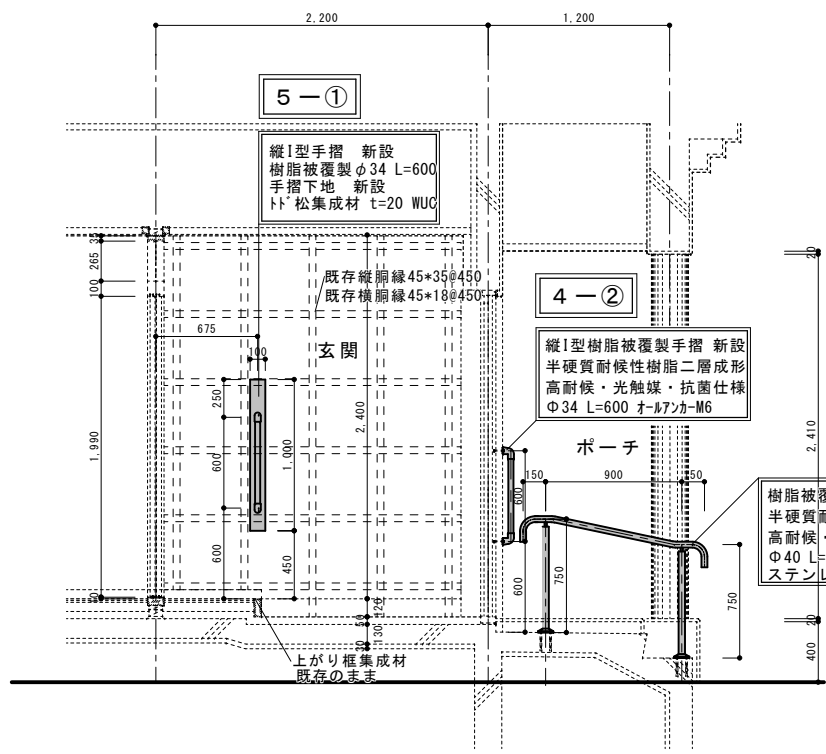
■ 集会室 改修方法 ■

改修番号	改修項目	撤去内容	新設内容・仕様・規格・形状	詳細図面番号
4-①	ポーチ 手摺新設	-----	ステンレス製支柱連続手摺新設：樹脂被覆製（高耐候・光触媒・抗菌仕様）φ40 L=1,540 芯材：アルミ鋼管	A-224
4-②	ポーチ 手摺新設	-----	手摺新設：縦1型 樹脂被覆製（高耐候・光触媒・抗菌仕様）φ34 L=600 芯材：ステンレス鋼管	A-224
5-①	玄関 手摺新設	-----	手摺新設：縦1型 樹脂被覆製 φ34 L=600（芯材 ステンレス鋼管）, 手摺下地新設：トド松集成材 t=20 100*1,000 WUC	A-224
6-①	玄関～ホール	-----	段差解消材新設：両側ステンレス製 t=1.5 W=80*1,925 W=80*1,980 段差解消材下地フッ合板 t=9 一部新設	A-225
6-②	ホール～洋室A	-----	段差解消材新設：両側ステンレス製 t=1.5 W=80*1,605 W=80*1,635 段差解消材下地フッ合板 t=9 一部新設	A-225
6-③	ホール～洋室B	木製建具枠 敷居部撤去	段差解消材新設：7&#246;製 t=2.0 W=150*800 フラットレ&#246;イ7' 既存建具隙間ブラシ新設	A-225
6-④	ホール～和室	-----	段差解消材新設：ホール側のみナシ集製材 W=1,670, D=150, H=46 WUC	A-225

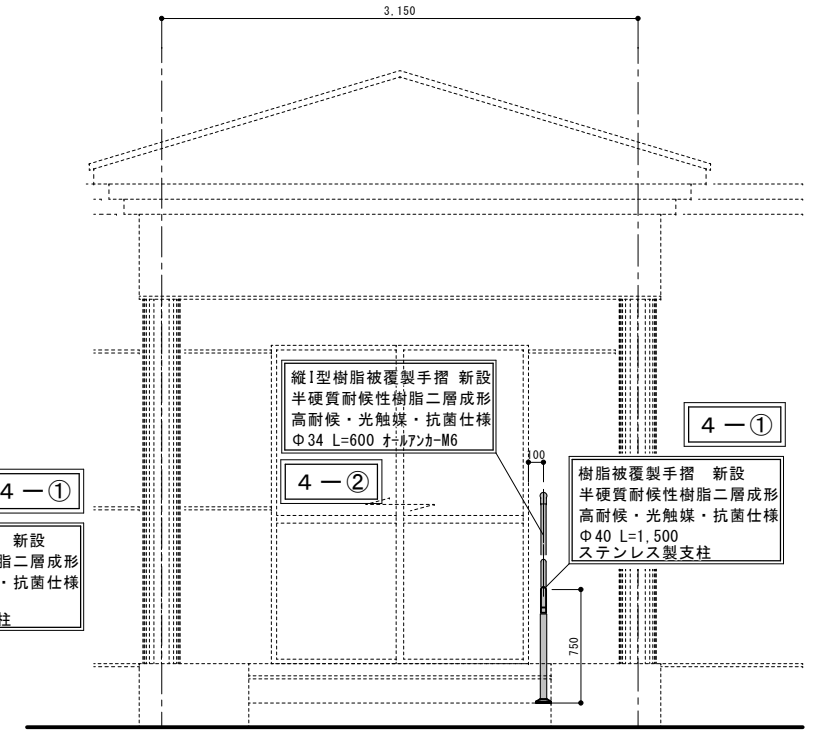
- 改修番号を示す
- アスベスト作業区分レベル3（穿孔）を伴う作業



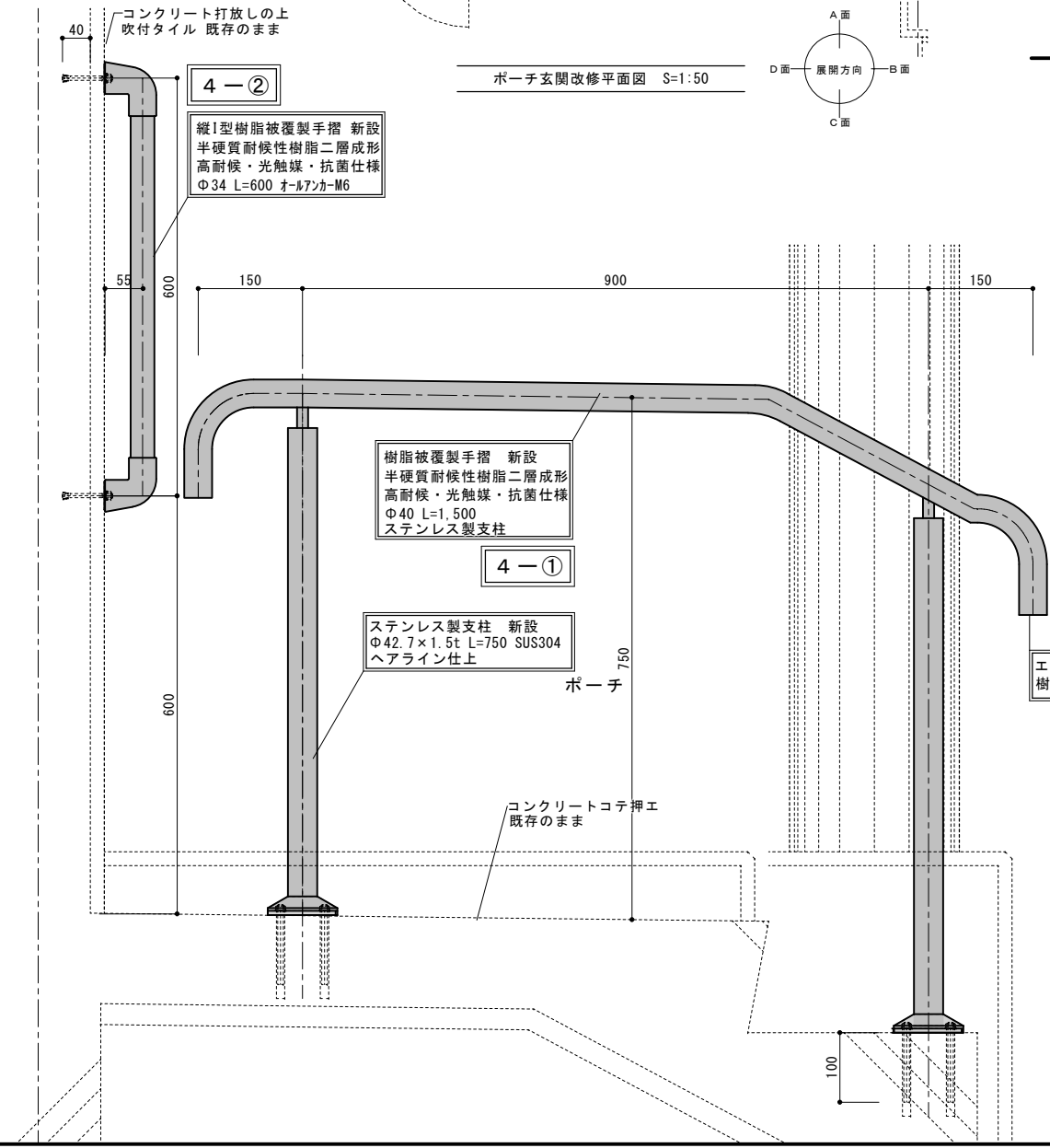
ポーチ玄関改修平面図 S=1:50



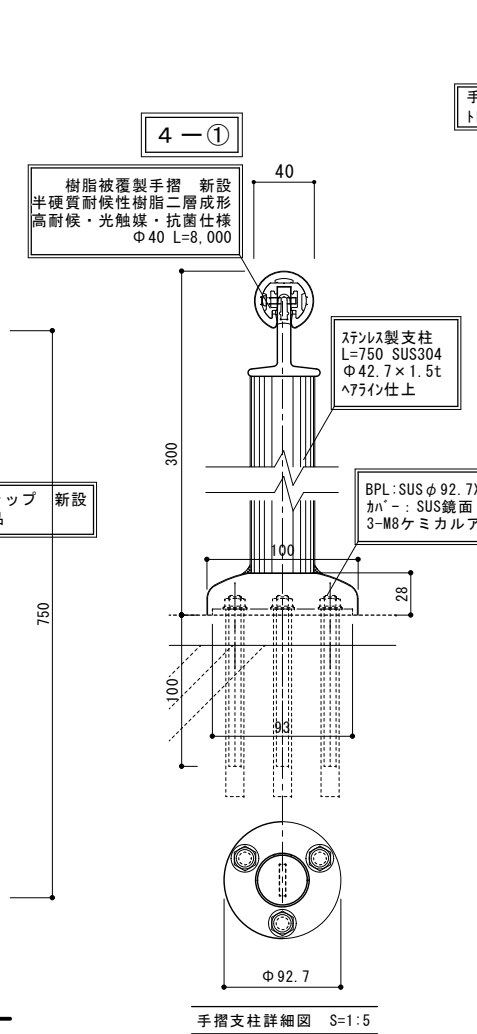
ポーチ玄関改修展開図(展開方向D) S=1:50



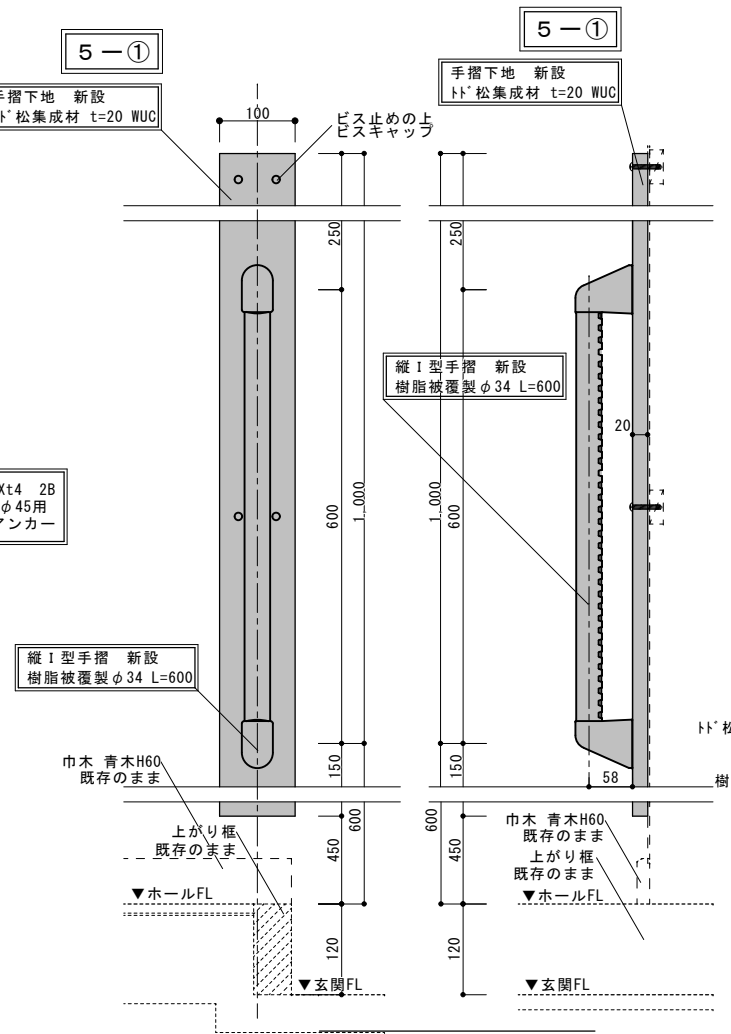
ポーチ改修展開図(展開方向C) S=1:50



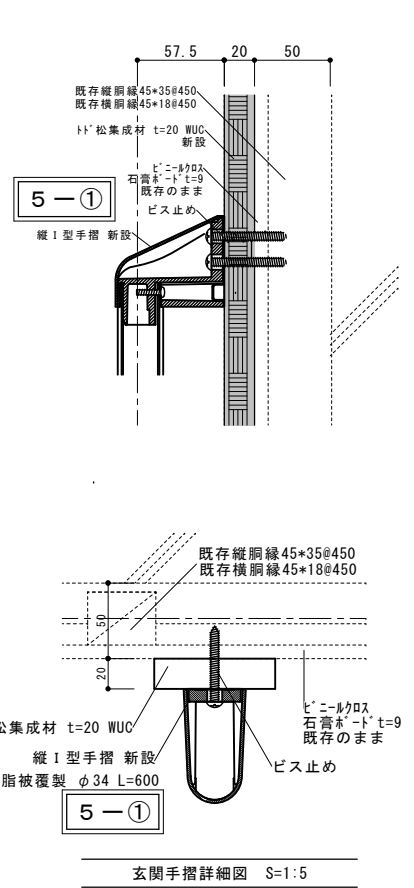
ポーチ手摺詳細図 S=1:10



手摺支柱詳細図 S=1:5



玄関手摺詳細図 S=1:10



玄関手摺詳細図 S=1:5

凡例 既存部分を示す  
 新設部分を示す  
 新設部分を示す

※手摺新設に伴う穿孔は湿潤化の上おこなうこと

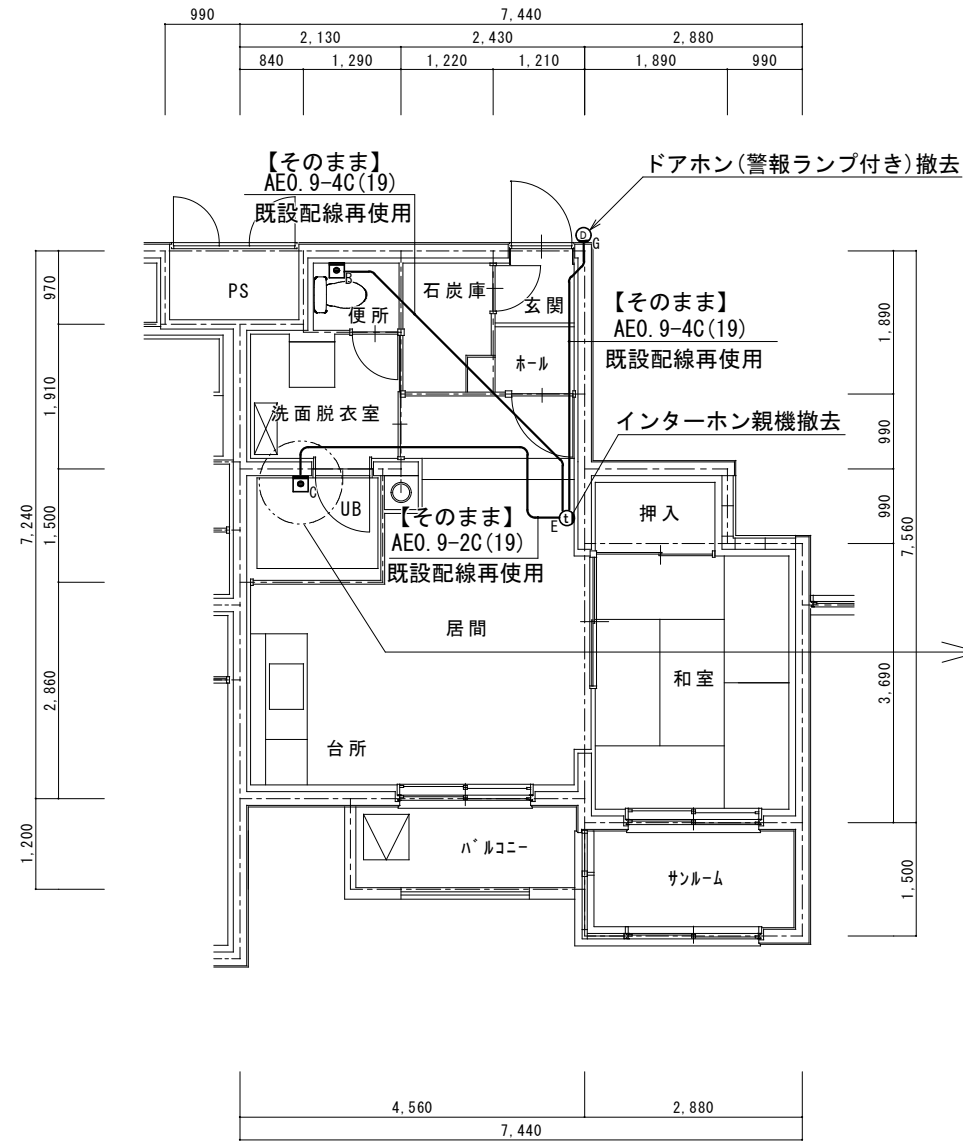
特記	
----	--

株式会社 福井設計 〒470-0192 愛知県津島市津島1-1-1 1級建築士登録事務所(十)107 1級建築士登録番号(275038) 1級建築士 坂口 剛	日付 令和5年1月 検図 検図 担当 担当 製図
---	-----------------------------

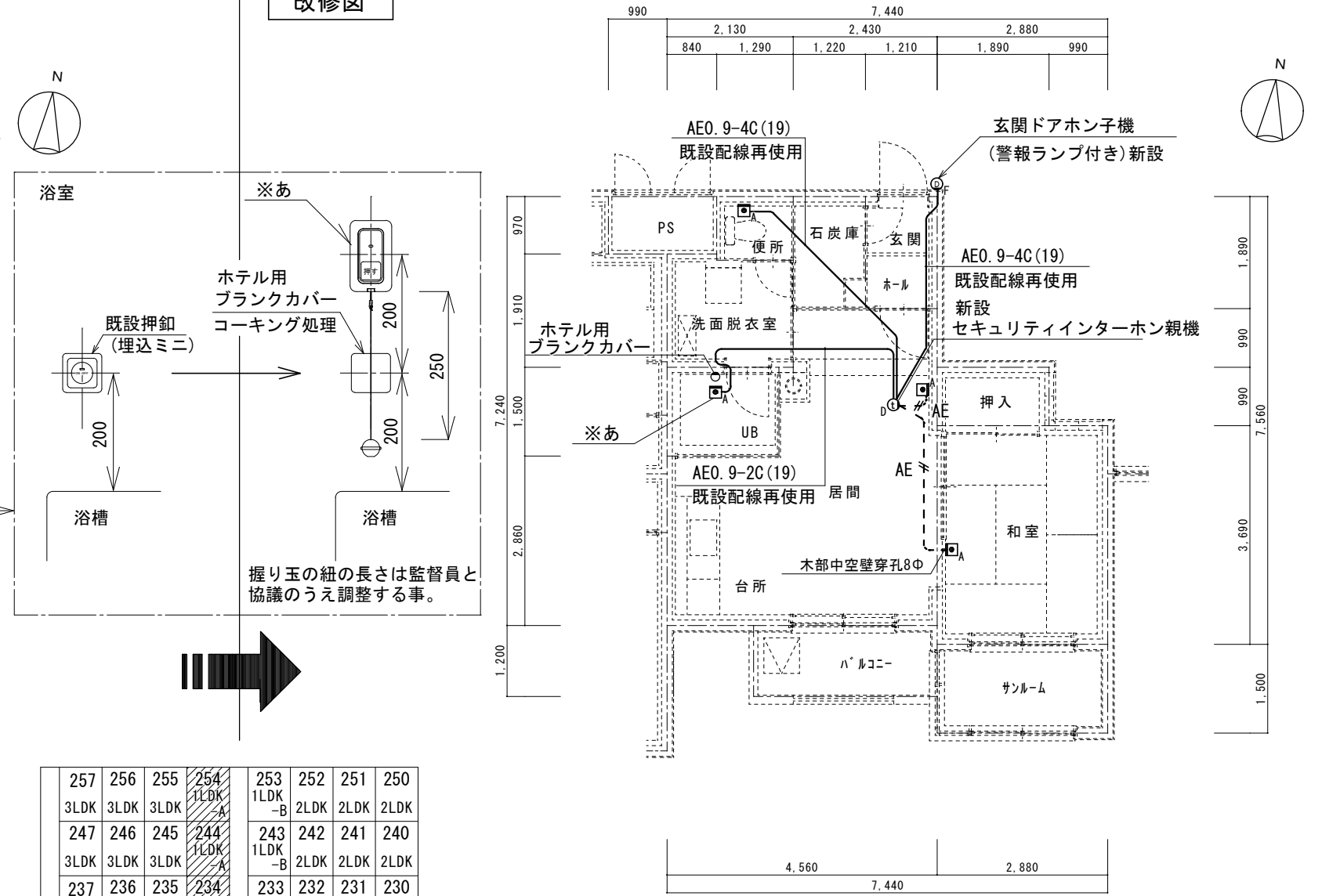
工事名 北郊団地個別改善工事(その2) 図面名 手摺詳細図(集会室)	A-224 A3 1:5, 10, 50
---------------------------------------	-------------------------



撤去図



改修図



257	256	255	254	253	252	251	250
3LDK	3LDK	3LDK	1LDK-A	1LDK-B	2LDK	2LDK	2LDK
247	246	245	244	243	242	241	240
3LDK	3LDK	3LDK	1LDK-A	1LDK-B	2LDK	2LDK	2LDK
237	236	235	234	233	232	231	230
3LDK	3LDK	3LDK	1LDK-A	1LDK-B	2LDK	2LDK	2LDK
227	226	225	224	223	222	221	220
3LDK	3LDK	3LDK	1LDK-A	1LDK-B	2LDK	2LDK	2LDK
217	216	215	214	213	212	211	210
3LDK	3LDK	3LDK	1LDK-A	1LDK-B	2LDK	2LDK	2LDK

2号棟 立面配置図 (南面視図)

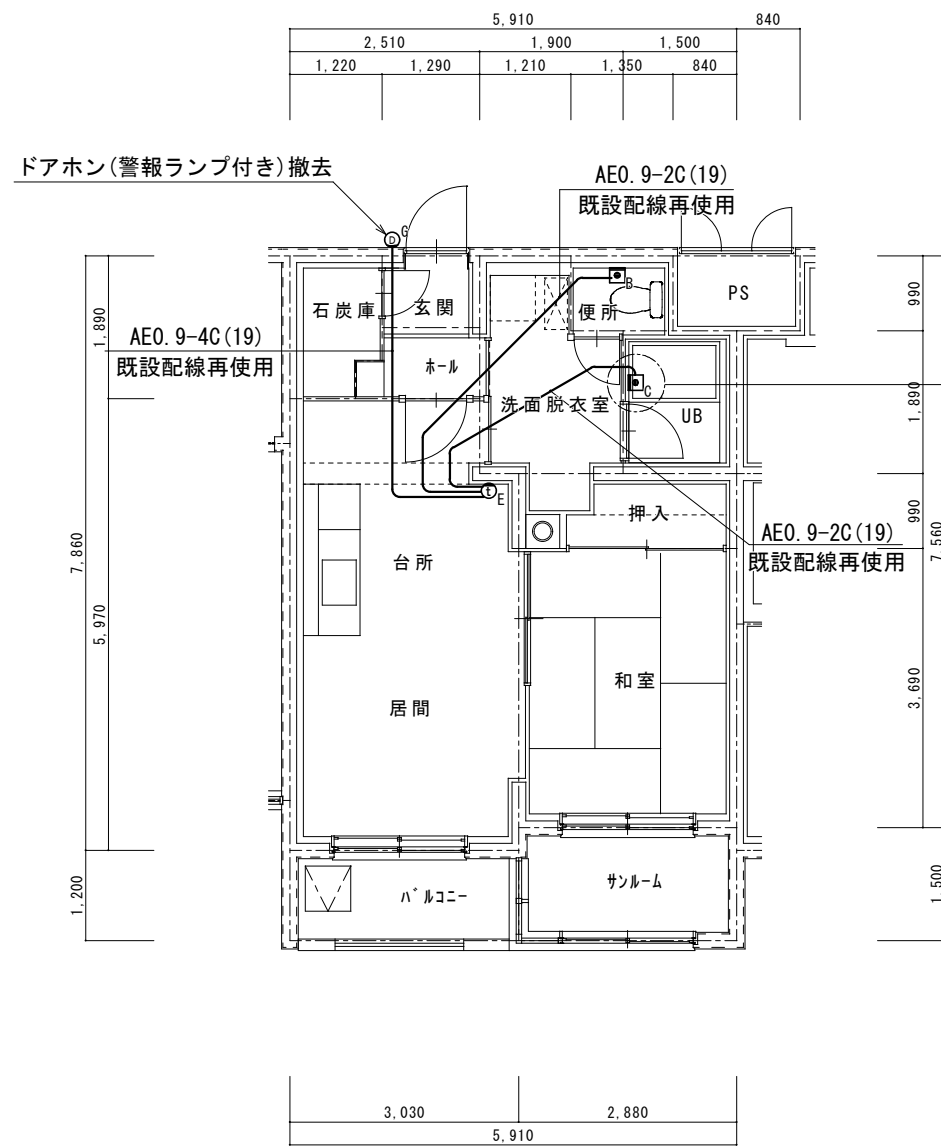
セキュリティインターホン親機	玄関ドアホン子機 (警報ランプ付き)	非常用押釦																																		
<p>配線は露出配線用ベースを使用して引き入れ</p> <table border="1"> <tr><td>定格電圧</td><td>AC100V 50/60Hz</td></tr> <tr><td>消費電力</td><td>16W(警報時最大) 4W(待機時)</td></tr> <tr><td>通話方式</td><td>ハンズフリー通話・お引取り機能付 (スムーズスピーク音声切替方式)</td></tr> <tr><td>形状</td><td>露出型 露出配線用ベース</td></tr> <tr><td>参考型式</td><td>SHGT63405W 同等品以上</td></tr> </table>	定格電圧	AC100V 50/60Hz	消費電力	16W(警報時最大) 4W(待機時)	通話方式	ハンズフリー通話・お引取り機能付 (スムーズスピーク音声切替方式)	形状	露出型 露出配線用ベース	参考型式	SHGT63405W 同等品以上	<table border="1"> <tr><td>定格電圧</td><td>DC6V(ドアホン子機)</td></tr> <tr><td>電源</td><td>DC12V(位置表示灯、警報表示灯) 親機より供給</td></tr> <tr><td>通話方式</td><td>音声自動切替方式</td></tr> <tr><td>警報</td><td>警報ランプ点滅及び警報音鳴動</td></tr> <tr><td>形状</td><td>露出型</td></tr> <tr><td>参考型式</td><td>EJ515A 同等品以上</td></tr> </table>	定格電圧	DC6V(ドアホン子機)	電源	DC12V(位置表示灯、警報表示灯) 親機より供給	通話方式	音声自動切替方式	警報	警報ランプ点滅及び警報音鳴動	形状	露出型	参考型式	EJ515A 同等品以上	<table border="1"> <tr><td>定格</td><td>ON保持・微小電流形(30mA 12V)</td></tr> <tr><td>形状</td><td>防沫形プレート・リード線付</td></tr> <tr><td></td><td>パイロットランプ付</td></tr> <tr><td></td><td>プルスイッチ付</td></tr> <tr><td></td><td>プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと</td></tr> <tr><td>参考型式</td><td>WS66772 同等品以上</td></tr> </table>	定格	ON保持・微小電流形(30mA 12V)	形状	防沫形プレート・リード線付		パイロットランプ付		プルスイッチ付		プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと	参考型式	WS66772 同等品以上
定格電圧	AC100V 50/60Hz																																			
消費電力	16W(警報時最大) 4W(待機時)																																			
通話方式	ハンズフリー通話・お引取り機能付 (スムーズスピーク音声切替方式)																																			
形状	露出型 露出配線用ベース																																			
参考型式	SHGT63405W 同等品以上																																			
定格電圧	DC6V(ドアホン子機)																																			
電源	DC12V(位置表示灯、警報表示灯) 親機より供給																																			
通話方式	音声自動切替方式																																			
警報	警報ランプ点滅及び警報音鳴動																																			
形状	露出型																																			
参考型式	EJ515A 同等品以上																																			
定格	ON保持・微小電流形(30mA 12V)																																			
形状	防沫形プレート・リード線付																																			
	パイロットランプ付																																			
	プルスイッチ付																																			
	プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと																																			
参考型式	WS66772 同等品以上																																			

凡例表		
記号	名称	備考
○ <sub>0</sub>	セキュリティインターホン親機	ハンズフリー 非常押釦付 電源直結式 新設
○ <sub>1</sub>	インターホン親機	電話型 非常押釦付 電源直結式 撤去
○ <sub>2</sub>	玄関ドアホン子機	露出型 警報表示付 新設
○ <sub>3</sub>	ドアホン(警報ランプ付き)	露出型 警報表示付 撤去
□ <sub>1</sub>	非常用押釦	防沫型 埋込プルスイッチ付 新設
□ <sub>2</sub>	"	埋込型 樹脂プレート付 既設品 撤去
□ <sub>3</sub>	"	"
○	露出スイッチボックス	1個用(浅型)
□	小型露出ボックス	ホテル用 ブランクカバー付
-○-	木部中空壁穿孔	8Φ Fモールエンドカバー

(特記事項)	
1.	図中の撤去品は、建築工事にて産業廃棄物処理とする。
2.	居間、和室の新設押釦は、合成樹脂被り1個用浅型スイッチボックスを使用して取付とする。取付高さはH=600とする。
3.	既設更新の押釦は、同じ位置に取付とする。押釦は、既設ボックスに取付とする。浴室押釦は高さを200あげ紐がバスタブに当たらないようにする。
4.	露出配線は、合成樹脂被り(Fモール1号)保護とする。
5.	不要となる配線は、端末処理の上ボックス内に収めること。
6.	図中の特記なき配線は下配とする。 
7.	施工にあたっては管理者と充分な協議を行い、住人とトラブルの無いよう留意のこと。各住棟・住戸への施工連絡は、受注者側にて行うものとする。
8.	浴室の※あ押釦はユニットバス天井点検口によりインペイ配線とする。壁フトリコを立ち下げて、新設押釦に接続取付とする。

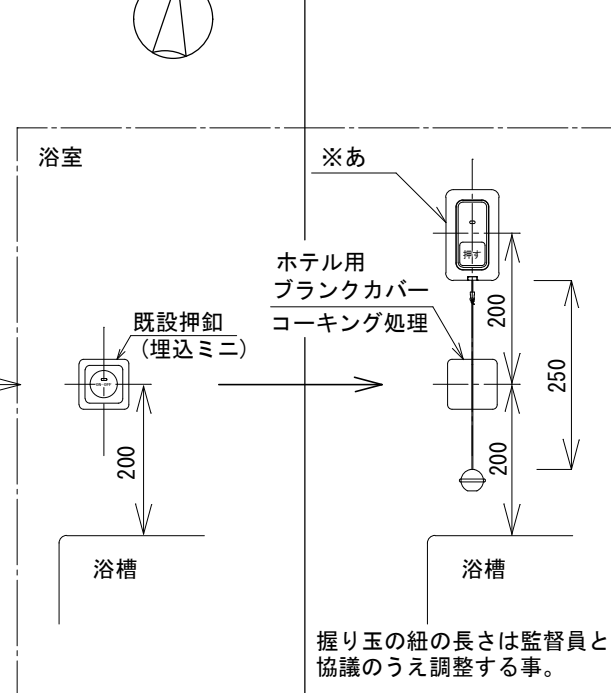


撤去図



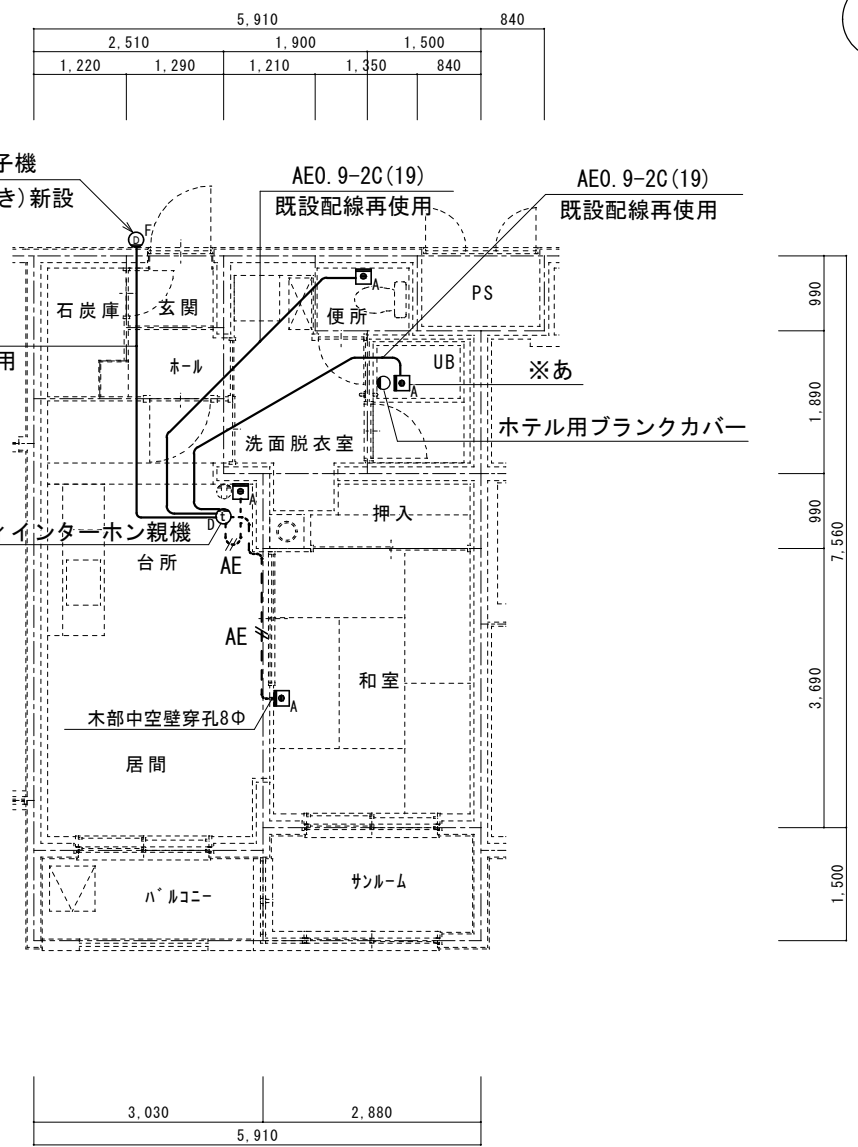
2号棟 1階～5階(1LDK-B)撤去 平面詳細図 S=1/100

改修図



257 3LDK	256 3LDK	255 3LDK	254 1LDK-A	253 1LDK-B	252 2LDK	251 2LDK	250 2LDK
247 3LDK	246 3LDK	245 3LDK	244 1LDK-A	243 1LDK-B	242 2LDK	241 2LDK	240 2LDK
237 3LDK	236 3LDK	235 3LDK	234 1LDK-A	233 1LDK-B	232 2LDK	231 2LDK	230 2LDK
227 3LDK	226 3LDK	225 3LDK	224 1LDK-A	223 1LDK-B	222 2LDK	221 2LDK	220 2LDK
217 3LDK	216 3LDK	215 3LDK	214 1LDK-A	213 1LDK-B	212 2LDK	211 2LDK	210 2LDK

2号棟 立面配置図 (南面視図)



2号棟 1階～5階(1LDK-B)撤去 平面詳細図 S=1/100

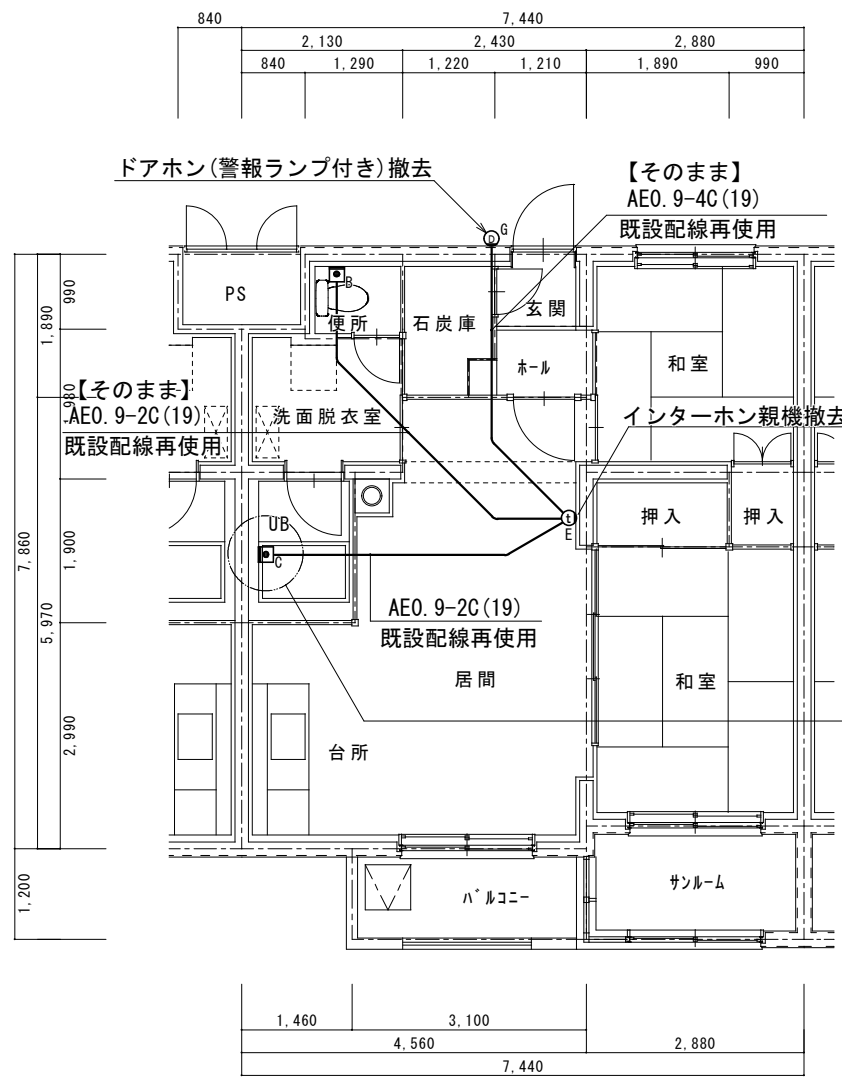
<p><b>セキュリティインターホン親機</b></p> <p>配線は露出配線用ベースを使用して引き入れ</p> <table border="1"> <tr><td>定格電圧</td><td>AC100V 50/60Hz</td></tr> <tr><td>消費電力</td><td>16W(警報時最大) 4W(待機時)</td></tr> <tr><td>通話方式</td><td>ハンズフリー通話・お引取り機能付(スムースピーク音声切替方式)</td></tr> <tr><td>形状</td><td>露出型 露出配線用ベース</td></tr> <tr><td>参考型式</td><td>SHGT63405W 同等品以上</td></tr> </table>	定格電圧	AC100V 50/60Hz	消費電力	16W(警報時最大) 4W(待機時)	通話方式	ハンズフリー通話・お引取り機能付(スムースピーク音声切替方式)	形状	露出型 露出配線用ベース	参考型式	SHGT63405W 同等品以上	<p><b>玄関ドアホン子機 (警報ランプ付き)</b></p> <table border="1"> <tr><td>定格電圧</td><td>DC6V (ドアホン子機)</td></tr> <tr><td>電源</td><td>DC12V (位置表示灯, 警報表示灯)</td></tr> <tr><td>電</td><td>観機より供給</td></tr> <tr><td>通話方式</td><td>音声自動切替方式</td></tr> <tr><td>警報</td><td>警報ランプ点滅及び警報音鳴動</td></tr> <tr><td>形状</td><td>露出型</td></tr> <tr><td>参考型式</td><td>EJ515A 同等品以上</td></tr> </table>	定格電圧	DC6V (ドアホン子機)	電源	DC12V (位置表示灯, 警報表示灯)	電	観機より供給	通話方式	音声自動切替方式	警報	警報ランプ点滅及び警報音鳴動	形状	露出型	参考型式	EJ515A 同等品以上	<p><b>非常用押釦</b></p> <table border="1"> <tr><td>定 格</td><td>ON保持・微小電流形(30mA 12V)</td></tr> <tr><td>形 状</td><td>防沫形プレート・リード線付</td></tr> <tr><td></td><td>パイロットランプ付</td></tr> <tr><td></td><td>プルスイッチ付</td></tr> <tr><td></td><td>プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと</td></tr> <tr><td>参考型式</td><td>WS6772 同等品以上</td></tr> </table>	定 格	ON保持・微小電流形(30mA 12V)	形 状	防沫形プレート・リード線付		パイロットランプ付		プルスイッチ付		プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと	参考型式	WS6772 同等品以上
定格電圧	AC100V 50/60Hz																																					
消費電力	16W(警報時最大) 4W(待機時)																																					
通話方式	ハンズフリー通話・お引取り機能付(スムースピーク音声切替方式)																																					
形状	露出型 露出配線用ベース																																					
参考型式	SHGT63405W 同等品以上																																					
定格電圧	DC6V (ドアホン子機)																																					
電源	DC12V (位置表示灯, 警報表示灯)																																					
電	観機より供給																																					
通話方式	音声自動切替方式																																					
警報	警報ランプ点滅及び警報音鳴動																																					
形状	露出型																																					
参考型式	EJ515A 同等品以上																																					
定 格	ON保持・微小電流形(30mA 12V)																																					
形 状	防沫形プレート・リード線付																																					
	パイロットランプ付																																					
	プルスイッチ付																																					
	プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと																																					
参考型式	WS6772 同等品以上																																					

凡 例 表		
記 号	名 称	備 考
⊙ <sub>0</sub>	セキュリティインターホン親機	ハンズフリー 非常押釦付 電源直結式 新設
⊙ <sub>E</sub>	インターホン親機	電話型 非常押釦付 電源直結式 撤去
⊙ <sub>2</sub>	玄関ドアホン子機	露出型 警報表示付 新設
⊙ <sub>3</sub>	ドアホン(警報ランプ付き)	露出型 警報表示付 撤去
⊙ <sub>4</sub>	非常用押釦	防沫型 埋込プルスイッチ付 新設
⊙ <sub>5</sub>	"	埋込型 樹脂プレート付 既設品 撤去
⊙ <sub>6</sub>	"	防沫型 既設品 撤去
⊙	露出スイッチボックス	1個用(浅型)
□	小型露出ボックス	ホテル用 ブランクカバー付
-○-	木部中空壁穿孔	8Φ Fモルエンドカバー

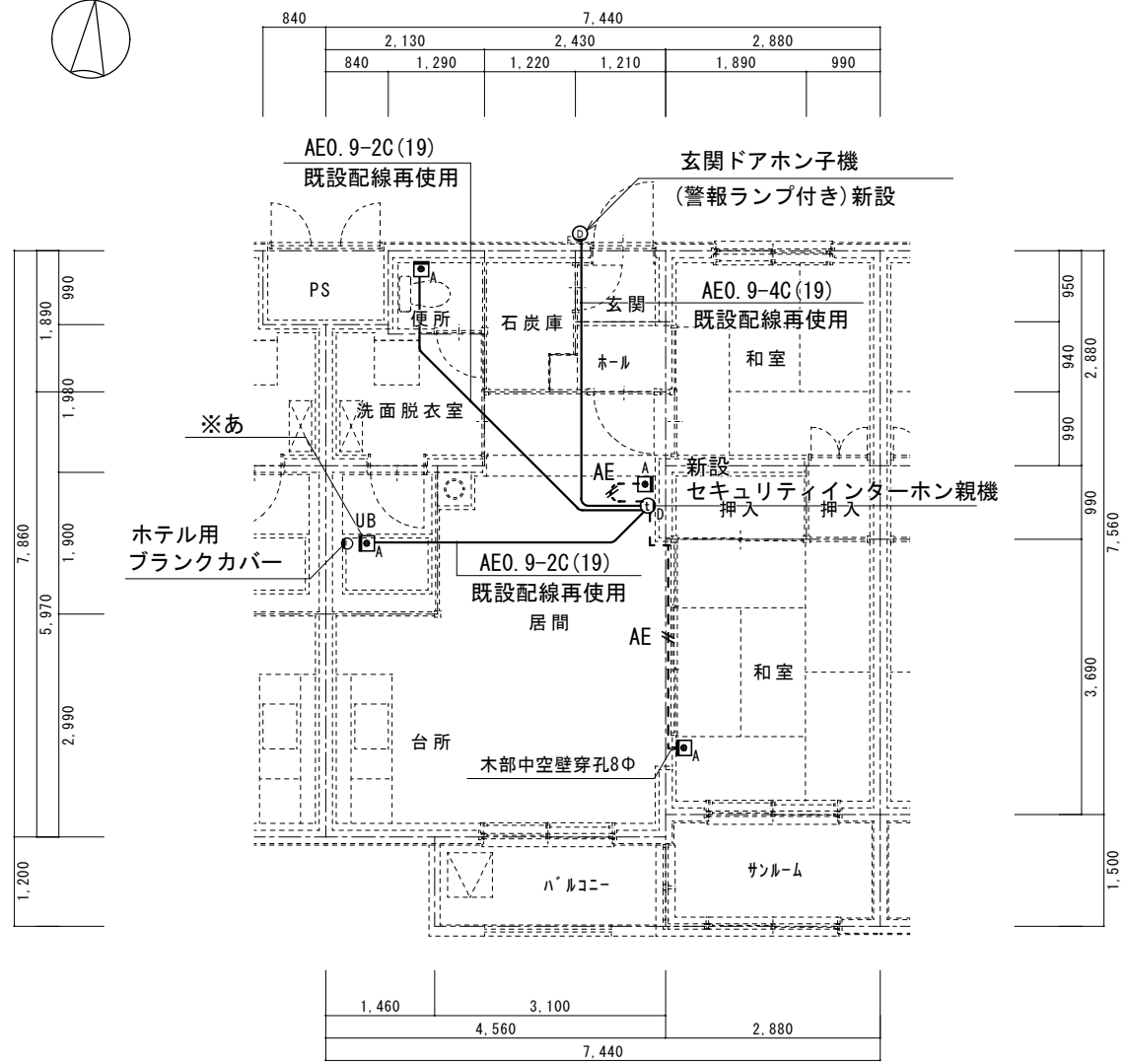
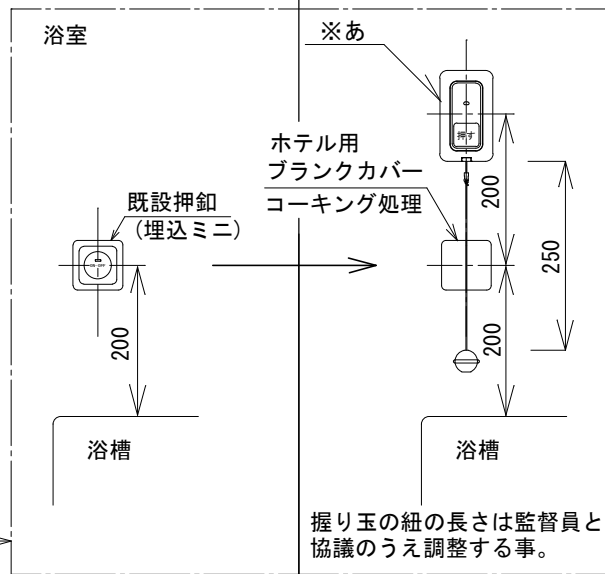
(特記事項)	
1.	図中の撤去品は、建築工事にて産業廃棄物処理とする。
2.	居間、和室の新設押釦は、合成樹脂製び1個用浅型スイッチボックスを使用して取付とする。取付高さはH=600とする。
3.	既設更新の押釦は、同じ位置に取付とする。押釦は、既設ボックスに取付とする。浴室押釦は高さを200あげ紐がバスタブに当たらないようにする。
4.	露出配線は、合成樹脂製び(Fモル1号)保護とする。
5.	不要となる配線は、端末処理の上ボックス内に収めること。
6.	図中の特記なき配線は下記とする。 AE0.9-2C(管内) 既設配線再使用 AE0.9-4C(管内) 既設配線再使用 AE0.9-2C(Fモル1号) 新設配線
7.	施工にあたっては管理者と十分な協議を行い、住人とトラブルの無いよう留意のこと。各住棟・住戸への施工連絡は、受注者側にて行うものとする。
8.	浴室の※あ押釦はユニットバス天井換気口によりインベ配線とする。壁フトコロを立ち下げて、新設押釦に接続取付とする。

撤去図

改修図



2号棟 1階～5階(2LDK)撤去 平面詳細図 S=1/100



2号棟 1階～5階(2LDK)改修 平面詳細図 S=1/100

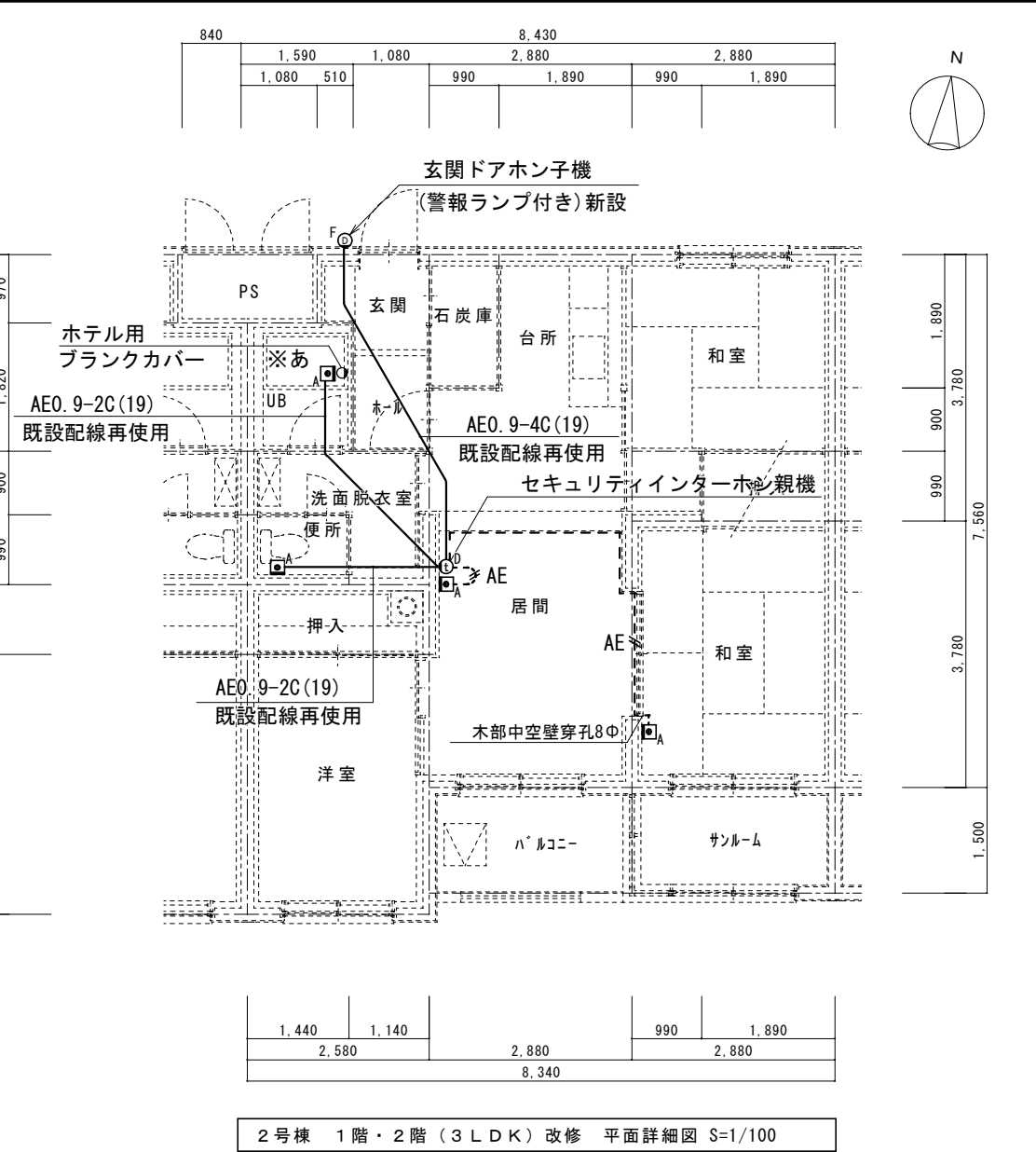
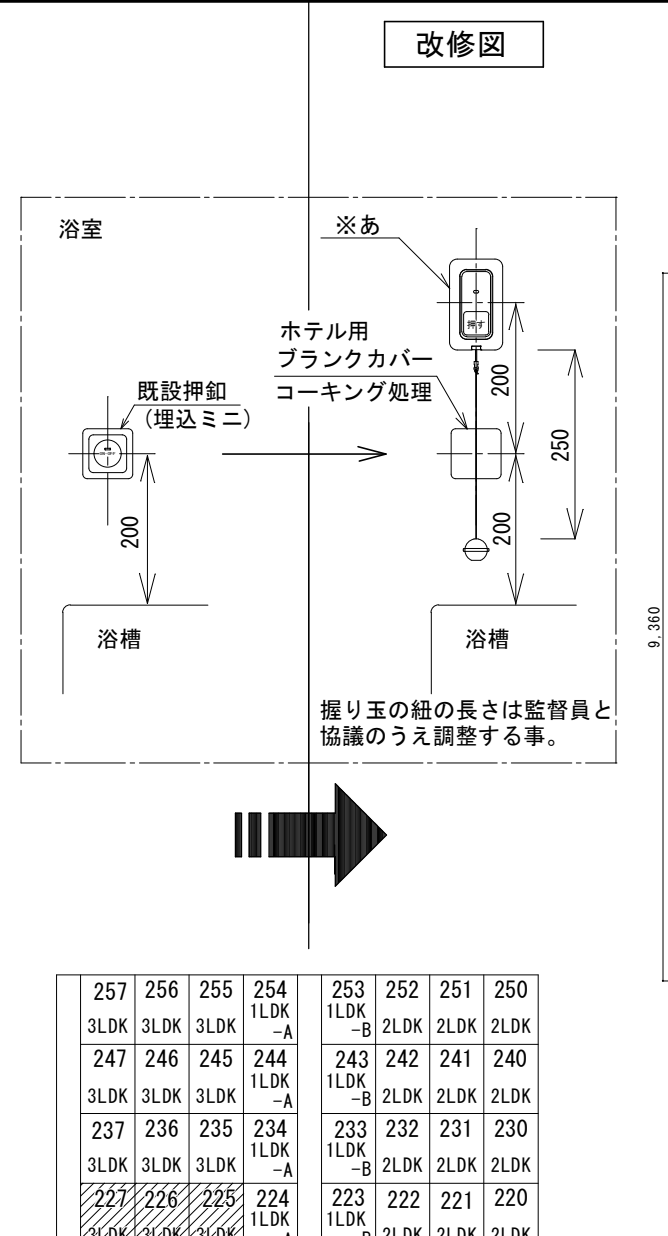
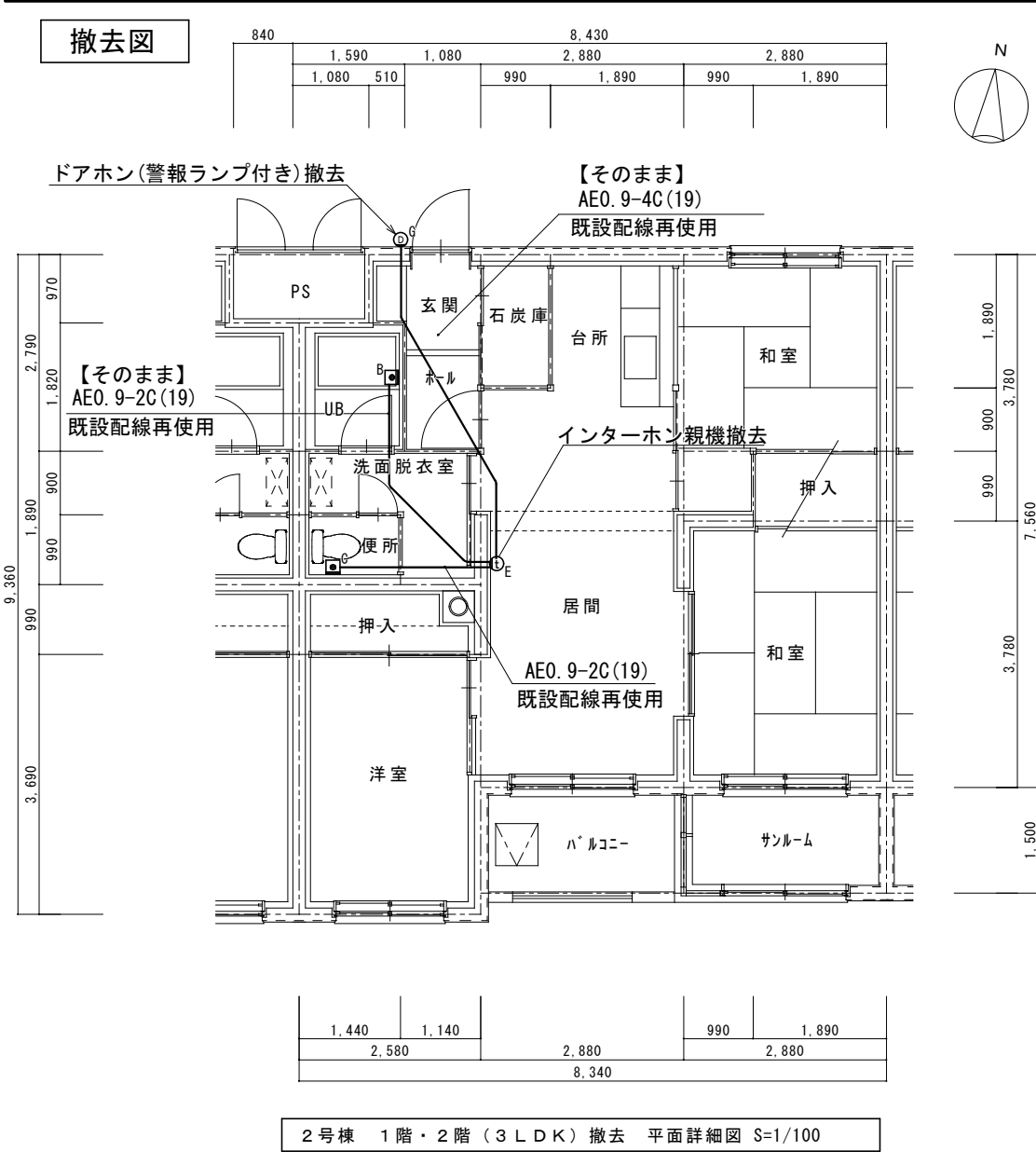
257 3LDK	256 3LDK	255 3LDK	254 1LDK -A	253 1LDK -B	252 2LDK	251 2LDK	250 2LDK
247 3LDK	246 3LDK	245 3LDK	244 1LDK -A	243 1LDK -B	242 2LDK	241 2LDK	240 2LDK
237 3LDK	236 3LDK	235 3LDK	234 1LDK -A	233 1LDK -B	232 2LDK	231 2LDK	230 2LDK
227 3LDK	226 3LDK	225 3LDK	224 1LDK -A	223 1LDK -B	222 2LDK	221 2LDK	220 2LDK
217 3LDK	216 3LDK	215 3LDK	214 1LDK -A	213 1LDK -B	212 2LDK	211 2LDK	210 2LDK

2号棟 立面配置図 (南面視図)

<p><b>セキュリティインターホン親機</b></p> <p>配線は露出配線用ベースを使用して引き入れ</p> <table border="1"> <tr><td>定格電圧</td><td>AC100V 50/60Hz</td></tr> <tr><td>消費電力</td><td>16W (警報時最大) 4W (待機時)</td></tr> <tr><td>通話方式</td><td>ハンズフリー通話・お引取り機能付 (スムーズスピーク音声切替方式)</td></tr> <tr><td>形状</td><td>露出型 露出配線用ベース</td></tr> <tr><td>参考型式</td><td>SHGT63405W 同等品以上</td></tr> </table>	定格電圧	AC100V 50/60Hz	消費電力	16W (警報時最大) 4W (待機時)	通話方式	ハンズフリー通話・お引取り機能付 (スムーズスピーク音声切替方式)	形状	露出型 露出配線用ベース	参考型式	SHGT63405W 同等品以上	<p><b>玄関ドアホン子機 (警報ランプ付き)</b></p> <table border="1"> <tr><td>定格電圧</td><td>DC6V (ドアホン子機)</td></tr> <tr><td>電源</td><td>DC12V (位置表示灯、警報表示灯)</td></tr> <tr><td>親機より供給</td><td>親機より供給</td></tr> <tr><td>通話方式</td><td>音声自動切替方式</td></tr> <tr><td>警報</td><td>警報ランプ点滅及び警報音鳴動</td></tr> <tr><td>形状</td><td>露出型</td></tr> <tr><td>参考型式</td><td>EJ515A 同等品以上</td></tr> </table>	定格電圧	DC6V (ドアホン子機)	電源	DC12V (位置表示灯、警報表示灯)	親機より供給	親機より供給	通話方式	音声自動切替方式	警報	警報ランプ点滅及び警報音鳴動	形状	露出型	参考型式	EJ515A 同等品以上	<p><b>非常用押釦</b></p> <table border="1"> <tr><td>定格</td><td>ON保持・微小電流形 (30mA 12V)</td></tr> <tr><td>形状</td><td>防沫形プレート・リード線付</td></tr> <tr><td></td><td>パイロットランプ付</td></tr> <tr><td></td><td>プルスイッチ付</td></tr> <tr><td></td><td>プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと</td></tr> <tr><td>参考型式</td><td>WS66772 同等品以上</td></tr> </table>	定格	ON保持・微小電流形 (30mA 12V)	形状	防沫形プレート・リード線付		パイロットランプ付		プルスイッチ付		プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと	参考型式	WS66772 同等品以上
定格電圧	AC100V 50/60Hz																																					
消費電力	16W (警報時最大) 4W (待機時)																																					
通話方式	ハンズフリー通話・お引取り機能付 (スムーズスピーク音声切替方式)																																					
形状	露出型 露出配線用ベース																																					
参考型式	SHGT63405W 同等品以上																																					
定格電圧	DC6V (ドアホン子機)																																					
電源	DC12V (位置表示灯、警報表示灯)																																					
親機より供給	親機より供給																																					
通話方式	音声自動切替方式																																					
警報	警報ランプ点滅及び警報音鳴動																																					
形状	露出型																																					
参考型式	EJ515A 同等品以上																																					
定格	ON保持・微小電流形 (30mA 12V)																																					
形状	防沫形プレート・リード線付																																					
	パイロットランプ付																																					
	プルスイッチ付																																					
	プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと																																					
参考型式	WS66772 同等品以上																																					

記号	名称	備考
①	セキュリティインターホン親機	ハンズフリー 非常押釦付 電源直結式 新設
②	インターホン親機	電話型 非常押釦付 電源直結式 撤去
③	玄関ドアホン子機	露出型 警報表示付 新設
④	ドアホン(警報ランプ付き)	露出型 警報表示付 撤去
⑤	非常用押釦	防沫型 埋込プルスイッチ付 新設
⑥	"	埋込型 樹脂プレート付 既設品 撤去
⑦	"	防沫型 既設品 撤去
⑧	露出スイッチボックス	1個用(浅型)
⑨	小型露出ボックス	ホテル用 ブランクカバー付
⑩	木部中空壁穿孔	8Φ Fモールエンドカバー

- (特記事項)
- 図中の撤去品は、建築工事にて産業廃棄物処理とする。
  - 居間、和室の新設押釦は、合成樹脂線び1個用浅型スイッチボックスを使用して取付とする。取付高さはH=600とする。
  - 既設更新の押釦は、同じ位置に取付とする。押釦は、既設ボックスに取付とする。浴室押釦は高さを200あげ紐がバスタブに当たらないようにする。
  - 露出配線は、合成樹脂線び(Fモール1号)保護とする。
  - 不要となる配線は、端末処理の上ボックス内に収めること。
  - 図中の特記なき配線は下記とする。
    - AEO. 9-2C(管内) 既設配線再使用
    - AEO. 9-4C(管内) 既設配線再使用
    - - - - AEO. 9-2C (Fモール1号) 新設配線
  - 施工にあたっては管理者と十分な協議を行い、住人とトラブルの無いよう留意のこと。各住棟・住戸への施工連絡は、受注者側にて行うものとする。
  - 浴室の※あを押釦はユニットバス天井点検口によりインペイ配線とする。壁フトリコを立ち下げて、新設押釦に接続取付とする。



257 3LDK	256 3LDK	255 3LDK	254 1LDK-A	253 1LDK-B	252 2LDK	251 2LDK	250 2LDK
247 3LDK	246 3LDK	245 3LDK	244 1LDK-A	243 1LDK-B	242 2LDK	241 2LDK	240 2LDK
237 3LDK	236 3LDK	235 3LDK	234 1LDK-A	233 1LDK-B	232 2LDK	231 2LDK	230 2LDK
227 3LDK	226 3LDK	225 3LDK	224 1LDK-A	223 1LDK-B	222 2LDK	221 2LDK	220 2LDK
217 3LDK	216 3LDK	215 3LDK	214 1LDK-A	213 1LDK-B	212 2LDK	211 2LDK	210 2LDK

2号棟 立面配置図 (南面視図)

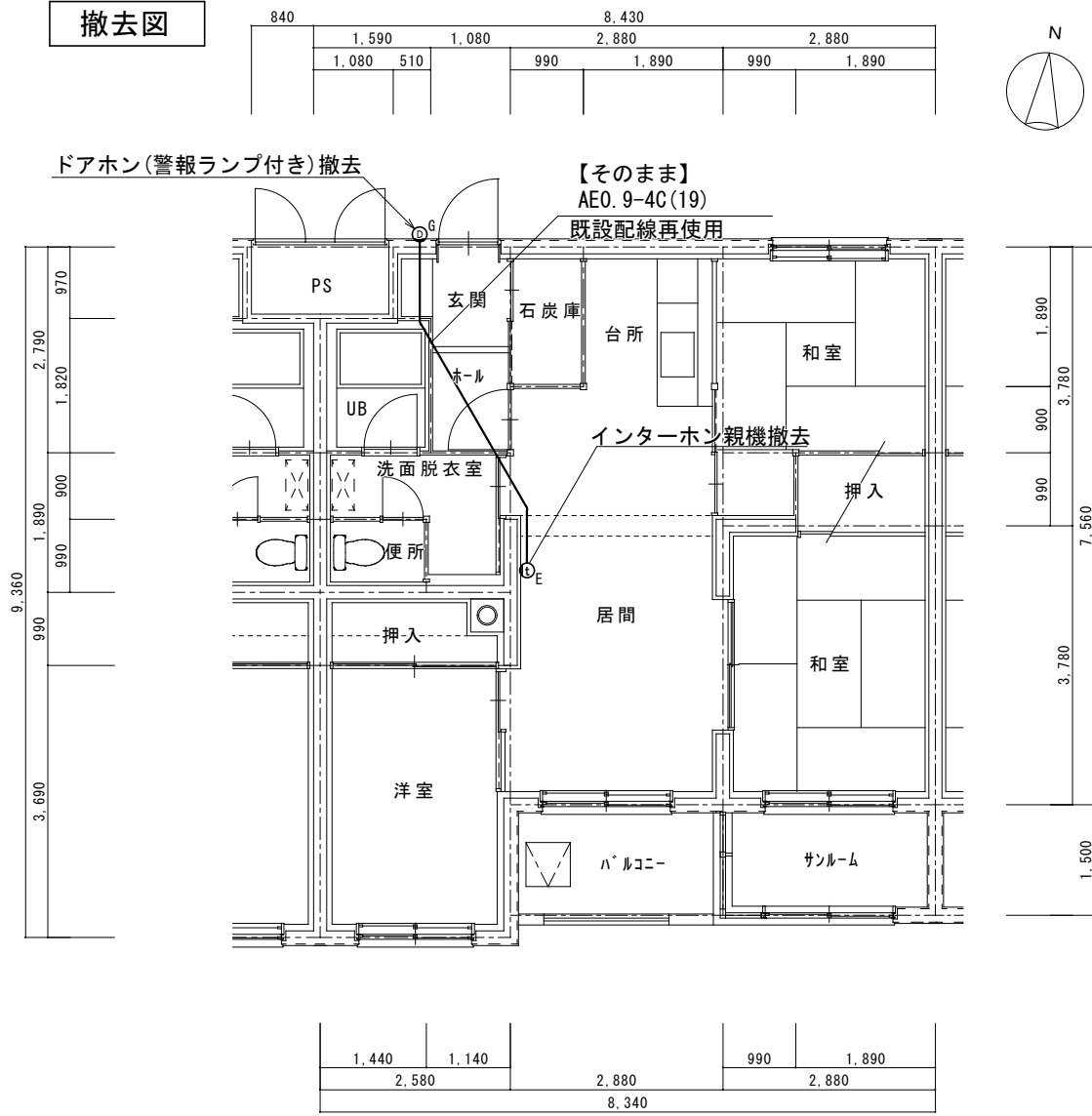
セキュリティインターホン親機	玄関ドアホン子機 (警報ランプ付き)	非常用押印																																				
<p>規格は露出配線用ベース使用して引き入れ</p> <table border="1"> <tr><td>定格電圧</td><td>AC100V 50/60Hz</td></tr> <tr><td>消費電力</td><td>1.6W (警報時最大) 4W (待機時)</td></tr> <tr><td>通話方式</td><td>ハンズフリー通話・お引取り機能付 (スムーズピーク音声切替方式)</td></tr> <tr><td>形状</td><td>露出型 露出配線用ベース</td></tr> <tr><td>参考型式</td><td>SHGT63405W 同等品以上</td></tr> </table>	定格電圧	AC100V 50/60Hz	消費電力	1.6W (警報時最大) 4W (待機時)	通話方式	ハンズフリー通話・お引取り機能付 (スムーズピーク音声切替方式)	形状	露出型 露出配線用ベース	参考型式	SHGT63405W 同等品以上	<table border="1"> <tr><td>定格電圧</td><td>DC6V (ドアホン子機)</td></tr> <tr><td>電源</td><td>DC12V (位置表示灯, 警報表示灯)</td></tr> <tr><td>親機より供給</td><td></td></tr> <tr><td>通話方式</td><td>音声自動切替方式</td></tr> <tr><td>警報</td><td>警報ランプ点滅及び警報音鳴動</td></tr> <tr><td>形状</td><td>露出型</td></tr> <tr><td>参考型式</td><td>EJ515A 同等品以上</td></tr> </table>	定格電圧	DC6V (ドアホン子機)	電源	DC12V (位置表示灯, 警報表示灯)	親機より供給		通話方式	音声自動切替方式	警報	警報ランプ点滅及び警報音鳴動	形状	露出型	参考型式	EJ515A 同等品以上	<table border="1"> <tr><td>定格</td><td>ON保持・微小電流形 (30mA 1.2V)</td></tr> <tr><td>形状</td><td>防沫形プレート・リード線付</td></tr> <tr><td></td><td>パイロットランプ付</td></tr> <tr><td></td><td>プルスイッチ付</td></tr> <tr><td></td><td>プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと</td></tr> <tr><td>参考型式</td><td>WS66772 同等品以上</td></tr> </table>	定格	ON保持・微小電流形 (30mA 1.2V)	形状	防沫形プレート・リード線付		パイロットランプ付		プルスイッチ付		プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと	参考型式	WS66772 同等品以上
定格電圧	AC100V 50/60Hz																																					
消費電力	1.6W (警報時最大) 4W (待機時)																																					
通話方式	ハンズフリー通話・お引取り機能付 (スムーズピーク音声切替方式)																																					
形状	露出型 露出配線用ベース																																					
参考型式	SHGT63405W 同等品以上																																					
定格電圧	DC6V (ドアホン子機)																																					
電源	DC12V (位置表示灯, 警報表示灯)																																					
親機より供給																																						
通話方式	音声自動切替方式																																					
警報	警報ランプ点滅及び警報音鳴動																																					
形状	露出型																																					
参考型式	EJ515A 同等品以上																																					
定格	ON保持・微小電流形 (30mA 1.2V)																																					
形状	防沫形プレート・リード線付																																					
	パイロットランプ付																																					
	プルスイッチ付																																					
	プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと																																					
参考型式	WS66772 同等品以上																																					

凡 例 表		
記号	名称	備考
ⓐ	セキュリティインターホン親機	ハンズフリー 非常用押印付 電源直結式 新設
ⓑ	インターホン親機	電話型 非常用押印付 電源直結式 撤去
ⓒ	玄関ドアホン子機	露出型 警報表示付 新設
ⓓ	ドアホン(警報ランプ付き)	露出型 警報表示付 撤去
ⓔ	非常用押印	防沫型 埋込プルスイッチ付 新設
ⓕ	"	埋込型 樹脂プレート付 既設品 撤去
ⓖ	"	防沫型 既設品 撤去
ⓗ	露出スイッチボックス	1個用(浅型)
ⓓ	小型露出ボックス	ホテル用 ブランクカバー付
○	木部中空壁穿孔	8Φ Fモールエンドカバー

- (特記事項)
- 図中の撤去品は、建築工事にて産業廃棄物処理とする。
  - 居間、和室の新設押印は、合成樹脂線び1個用浅型スイッチボックスを使用して取付とする。取付高さはH=600とする。
  - 既設更新の押印は、同じ位置に取付とする。押印は、既設ボックスに取付とする。浴室押印は高さを200あげ紐がバスタブに当たらないようにする。
  - 露出配線は、合成樹脂線び(Fモール1号)保護とする。
  - 不要となる配線は、端末処理の上ボックス内に収めること。
  - 図中の特記なき配線は下記とする。
 

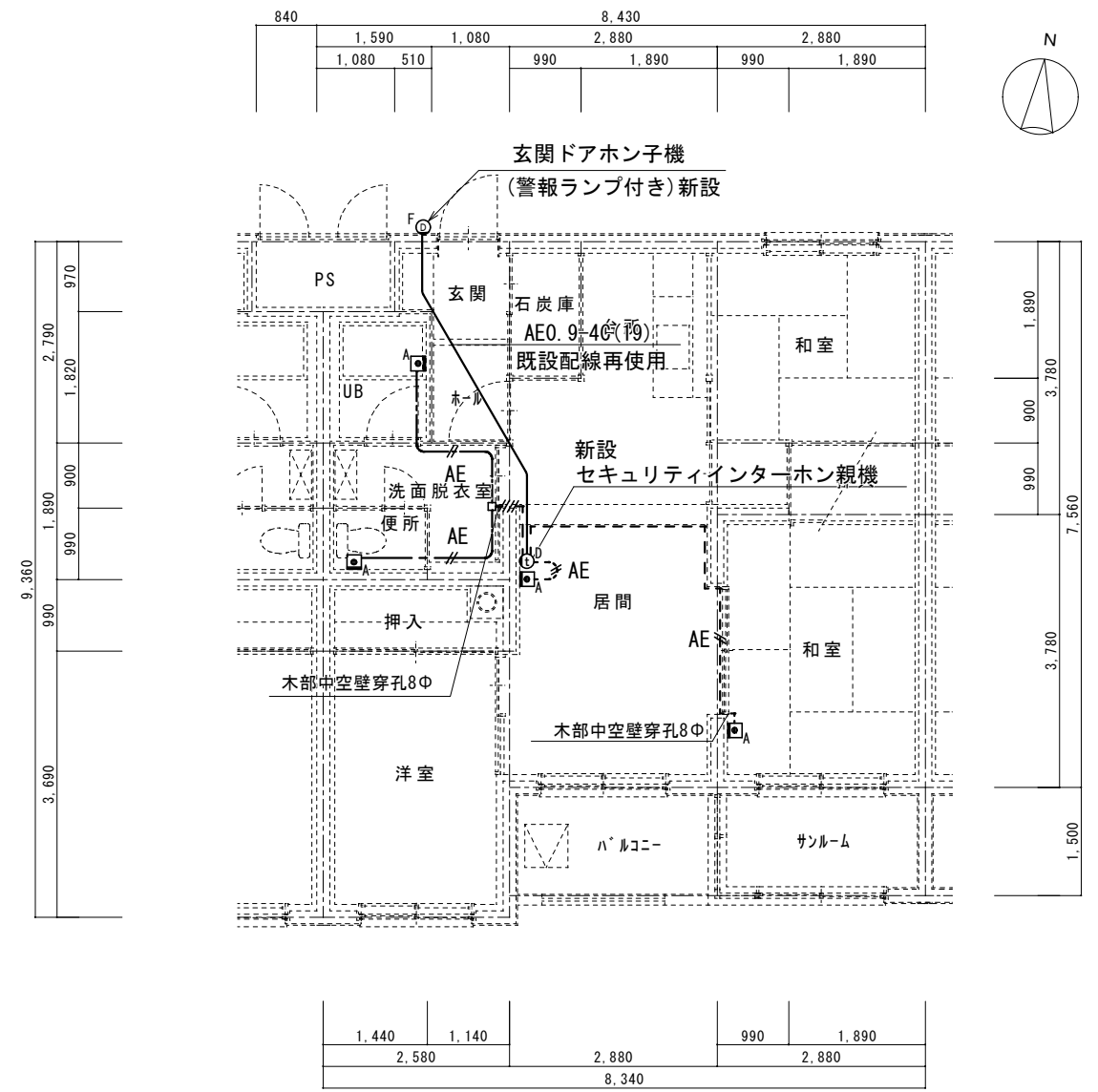
———	AEO. 9-2C(管内)	既設配線再使用
———	AEO. 9-4C(管内)	既設配線再使用
- - - -	AEO. 9-2C(Fモール1号)	新設配線
  - 施工にあたっては管理者と十分な協議を行い、住人とトラブルの無いよう留意のこと。各住棟・住戸への施工連絡は、受注者側にて行うものとする。
  - 浴室の※あを押印はユニットバス天井点検口によりインペイ配線とする。壁フツコロを立ち下げて、新設押印に接続取付とする。

撤去図



2号棟 3階・4階・5階(3LDK)撤去 平面詳細図 S=1/100

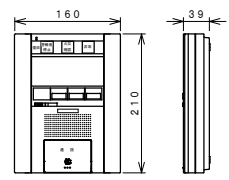
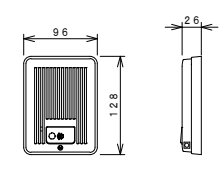
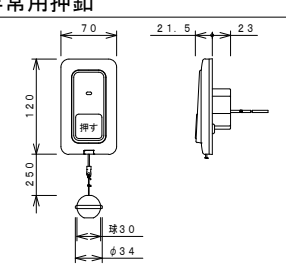
改修図







2号棟 3階・4階・5階(3LDK)改修 平面詳細図 S=1/100

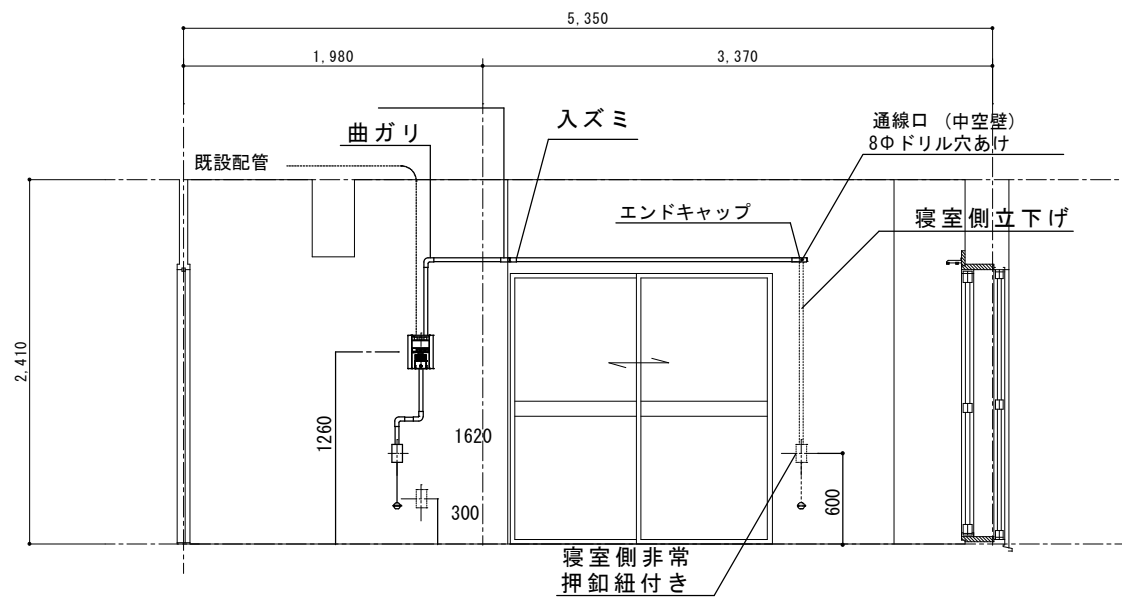
257 3LDK	256 3LDK	255 3LDK	254 1LDK -A	253 1LDK -B	252 2LDK	251 2LDK	250 2LDK
247 3LDK	246 3LDK	245 3LDK	244 1LDK -A	243 1LDK -B	242 2LDK	241 2LDK	240 2LDK
237 3LDK	236 3LDK	235 3LDK	234 1LDK -A	233 1LDK -B	232 2LDK	231 2LDK	230 2LDK
227 3LDK	226 3LDK	225 3LDK	224 1LDK -A	223 1LDK -B	222 2LDK	221 2LDK	220 2LDK
217 3LDK	216 3LDK	215 3LDK	214 1LDK -A	213 1LDK -B	212 2LDK	211 2LDK	210 2LDK

2号棟 立面配置図 (南面視図)

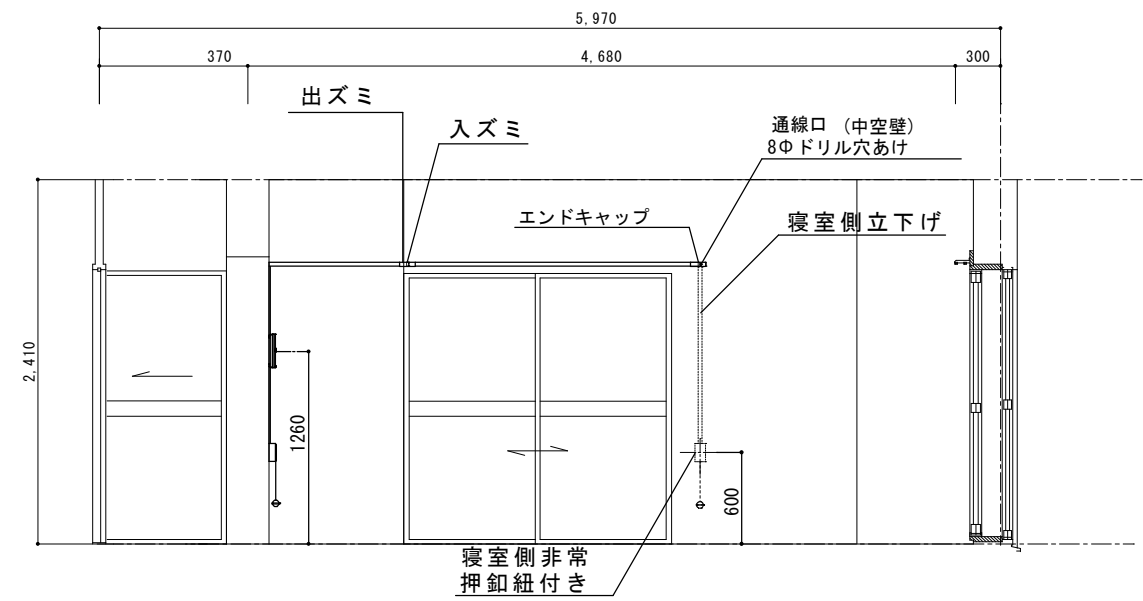
セキュリティインターホン親機	玄関ドアホン子機 (警報ランプ付き)	非常用押釦																																				
 <p>配線は露出配線用ベースを使用して引き入れ</p> <table border="1"> <tr><td>定格電圧</td><td>AC100V 50/60Hz</td></tr> <tr><td>消費電力</td><td>16W (警報時最大) 4W (待機時)</td></tr> <tr><td>通話方式</td><td>ハンズフリー通話・お引取り機能付 (スムーズビーク音声切替方式)</td></tr> <tr><td>形状</td><td>露出型 露出配線用ベース</td></tr> <tr><td>参考型式</td><td>SHGT63405W 同等品以上</td></tr> </table>	定格電圧	AC100V 50/60Hz	消費電力	16W (警報時最大) 4W (待機時)	通話方式	ハンズフリー通話・お引取り機能付 (スムーズビーク音声切替方式)	形状	露出型 露出配線用ベース	参考型式	SHGT63405W 同等品以上	 <table border="1"> <tr><td>定格電圧</td><td>DC6V (ドアホン子機)</td></tr> <tr><td>電源</td><td>DC12V (位置表示灯、警報表示灯)</td></tr> <tr><td>親機より供給</td><td></td></tr> <tr><td>通話方式</td><td>音声自動切替方式</td></tr> <tr><td>警報</td><td>警報ランプ点滅及び警報音鳴動</td></tr> <tr><td>形状</td><td>露出型</td></tr> <tr><td>参考型式</td><td>EJ515A 同等品以上</td></tr> </table>	定格電圧	DC6V (ドアホン子機)	電源	DC12V (位置表示灯、警報表示灯)	親機より供給		通話方式	音声自動切替方式	警報	警報ランプ点滅及び警報音鳴動	形状	露出型	参考型式	EJ515A 同等品以上	 <table border="1"> <tr><td>定格</td><td>ON保持・微小電流形 (30mA 12V)</td></tr> <tr><td>形状</td><td>防沫形プレート・リード線付</td></tr> <tr><td></td><td>パイロットランプ付</td></tr> <tr><td></td><td>プルスイッチ付</td></tr> <tr><td></td><td>プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと</td></tr> <tr><td>参考型式</td><td>WS6677Z 同等品以上</td></tr> </table>	定格	ON保持・微小電流形 (30mA 12V)	形状	防沫形プレート・リード線付		パイロットランプ付		プルスイッチ付		プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと	参考型式	WS6677Z 同等品以上
定格電圧	AC100V 50/60Hz																																					
消費電力	16W (警報時最大) 4W (待機時)																																					
通話方式	ハンズフリー通話・お引取り機能付 (スムーズビーク音声切替方式)																																					
形状	露出型 露出配線用ベース																																					
参考型式	SHGT63405W 同等品以上																																					
定格電圧	DC6V (ドアホン子機)																																					
電源	DC12V (位置表示灯、警報表示灯)																																					
親機より供給																																						
通話方式	音声自動切替方式																																					
警報	警報ランプ点滅及び警報音鳴動																																					
形状	露出型																																					
参考型式	EJ515A 同等品以上																																					
定格	ON保持・微小電流形 (30mA 12V)																																					
形状	防沫形プレート・リード線付																																					
	パイロットランプ付																																					
	プルスイッチ付																																					
	プルスイッチの引き紐の長さは協議のこと																																					
参考型式	WS6677Z 同等品以上																																					

凡 例 表		
記号	名称	備 考
ⓐ	セキュリティインターホン親機	ハンズフリー 非常押釦付 電源直結式 新設
ⓑ	インターホン親機	電話型 非常押釦付 電源直結式 撤去
ⓒ	玄関ドアホン子機	露出型 警報表示付 新設
ⓓ	ドアホン(警報ランプ付き)	露出型 警報表示付 撤去
ⓔ	非常用押釦	防沫型 埋込プルスイッチ付 新設
ⓕ	"	埋込型 樹脂プレート付 既設品 撤去
ⓖ	"	防沫型 既設品 撤去
ⓗ	露出スイッチボックス	1個用(浅型)
ⓓ	小型露出ボックス	ホテル用 ブラックカバー付
—	木部中空壁穿孔	8φ Fモールエンドカバー

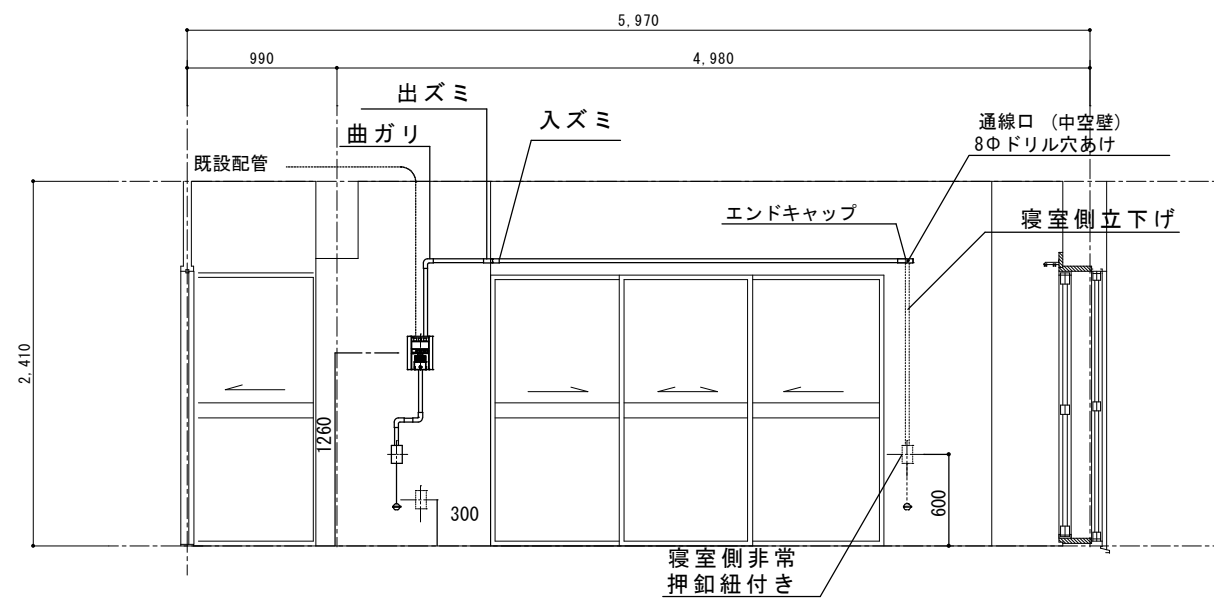
(特記事項)	
1.	図中の撤去品は、建築工事にて産業廃棄物処理とする。
2.	居間、和室の新設押釦は、合成樹脂線び1個用浅型スイッチボックスを使用して取付とする。取付高さはH=600とする。
3.	浴室押釦は紐がバスタブに当たらないようにする。
4.	露出配線は、合成樹脂線び(Fモール1号)保護とする。
5.	不要となる配線は、端末処理の上ボックス内に収めること。
6.	図中の特記なき配線は下記とする。  AEO. 9-4C(管内) 既設配線再使用  AEO. 9-2C (Fモール1号) 新設配線  AEO. 9-2C×2本 (Fモール1号) 新設配線  AEO. 9-2C (天井) 新設配線
7.	施工にあたっては管理者と十分な協議を行い、住人とトラブルの無いよう留意のこと。各住棟・住戸への施工連絡は、受注者側にて行うものとする。
8.	浴室の押釦はユニットバス天井点検口によりインベイ配線とする。壁フトリコを立ち上げてボックスに引き入れて、新設押釦に接続取付とする。



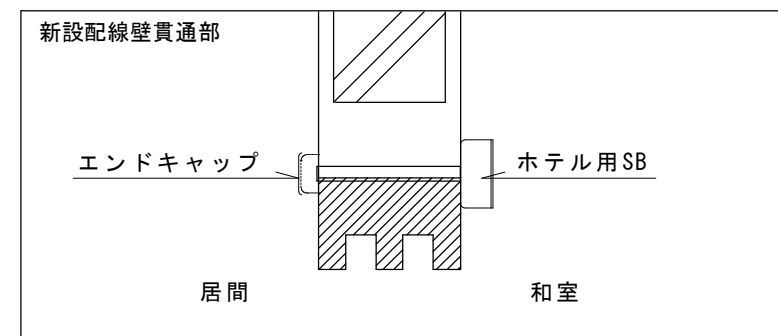
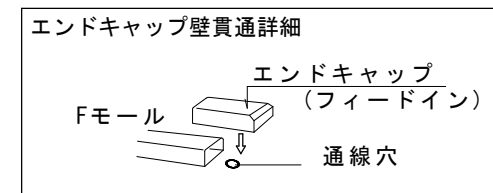
2号棟 1階～5階 1LDK-A-居間

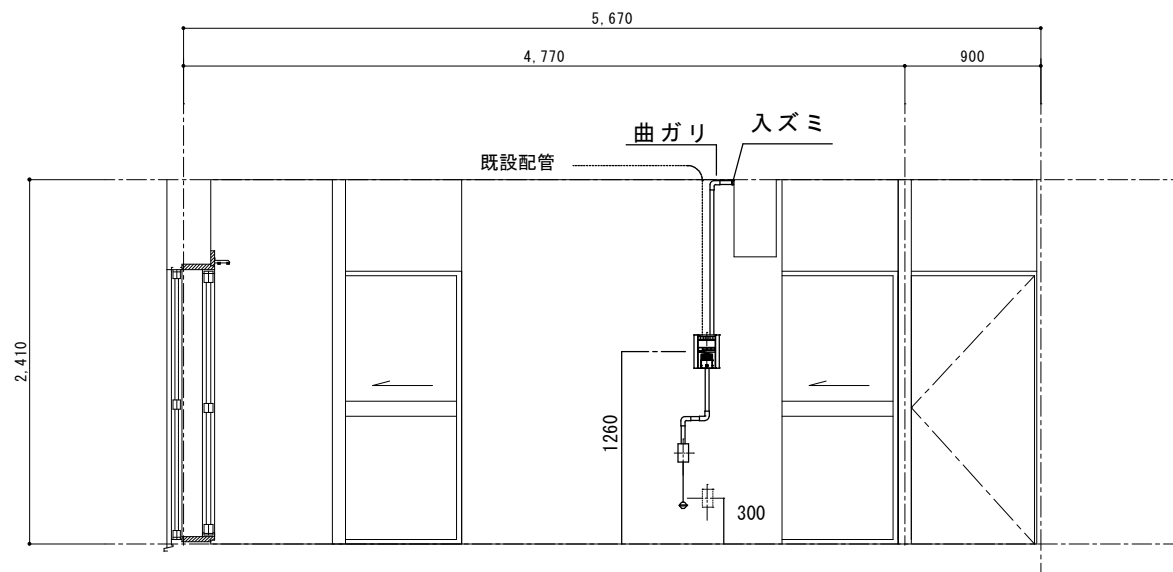


2号棟 1階～5階 1LDK-B-居間

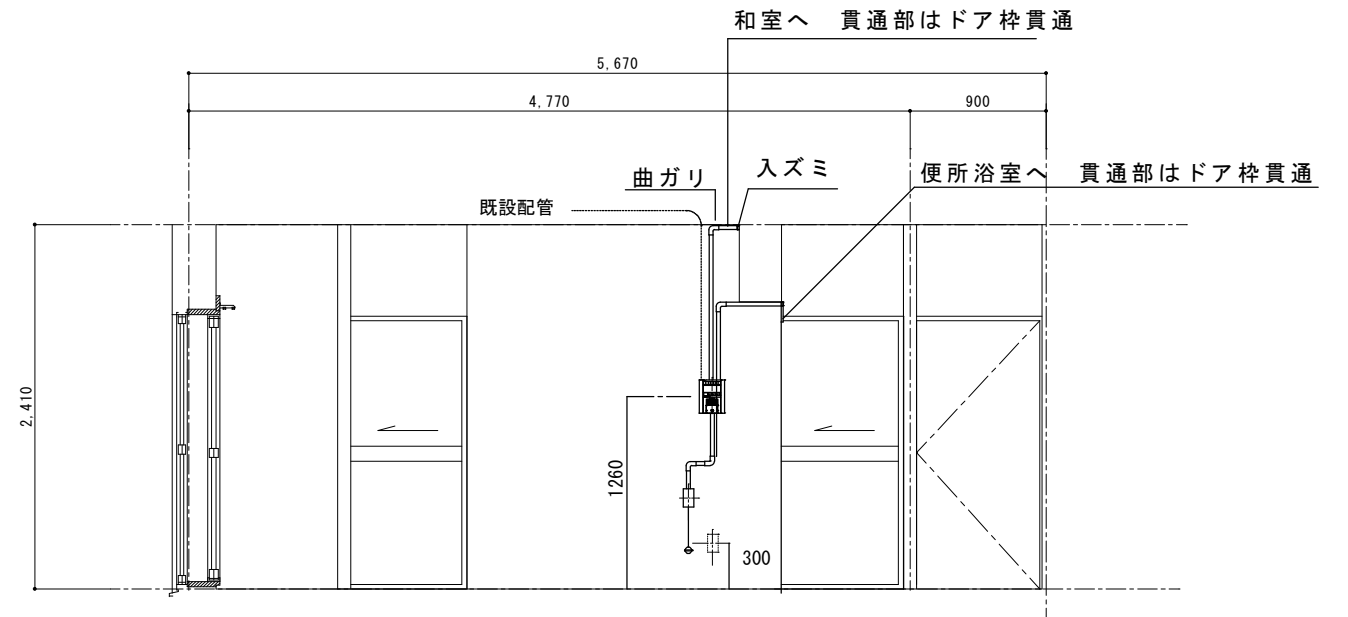


2号棟 1階～5階 2LDK-居間





2号棟 1階・2階 3LDK-居間



2号棟 3階～5階 3LDK-居間

